

1. これまでの検討経緯

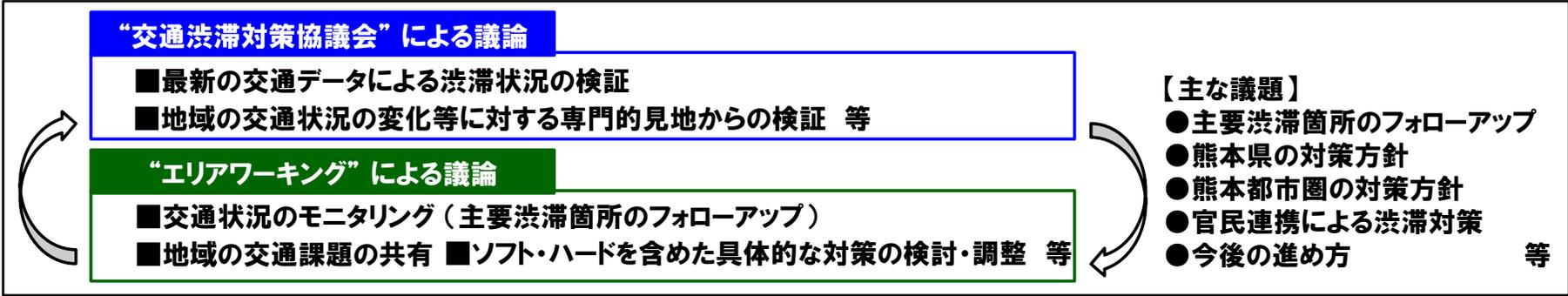
(1) これまでの経緯

平成24年度
平成27年度～令和5年度

主要渋滞箇所(309箇所)の選定・公表(H25.1)

[主要渋滞箇所数]

309箇所



26箇所
解除

283箇所

令和6年度(昨年度)

- 第1回熊本都市圏エリアワーキング (R6.8.28)
 - 主要渋滞箇所のフォローアップ/熊本県の対策方針/熊本都市圏の対策方針/熊本西環状道路を活用したルートマネジメント施策/セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策/主要渋滞箇所の追加手法/官民連携による渋滞対策/熊本都市圏の渋滞解消に向けた熊本県・熊本市の連携/今後の進め方
- 第1回熊本県交通渋滞対策協議会 (R6.9.10)
 - 主要渋滞箇所のフォローアップ/熊本県の対策方針/熊本都市圏の対策方針/熊本西環状道路を活用したルートマネジメント施策/セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策/新たな混雑発生交差点の評価検討/官民連携による渋滞対策/熊本県渋滞解消推進本部の取組み/今後の進め方
- 第2回熊本都市圏エリアワーキング (R6.10.17)
 - 新たな混雑発生交差点の評価検討/各主要渋滞箇所に対する対策状況/その他
- 第3回熊本都市圏エリアワーキング (R6.11.28)
 - これまでの検討経緯と今後の進め方/熊本都市圏の対策方針/新たな混雑発生交差点の評価検討
- 第2回熊本県交通渋滞対策協議会 (R6.12.16)
 - 熊本都市圏の対策方針/新たな混雑発生交差点の評価検討/今後の進め方
- 第4回熊本都市圏エリアワーキング (R7.2.5)
 - これまでの検討経緯と今後の進め方/熊本県・熊本市調整会議の結果/主要渋滞箇所に対する対策/朝ピークの交通特性の分析

10箇所
解除

273箇所

12箇所
追加

令和7年度(今年度)

- 第1回 熊本都市圏エリアワーキング (R7.8.6)
- 第1回 熊本県交通渋滞対策協議会 (R7.9.22)
- 第2回 熊本都市圏エリアワーキング (R8.●.●)
- 第2回 熊本県交通渋滞対策協議会 (R8.●.●)

285箇所

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

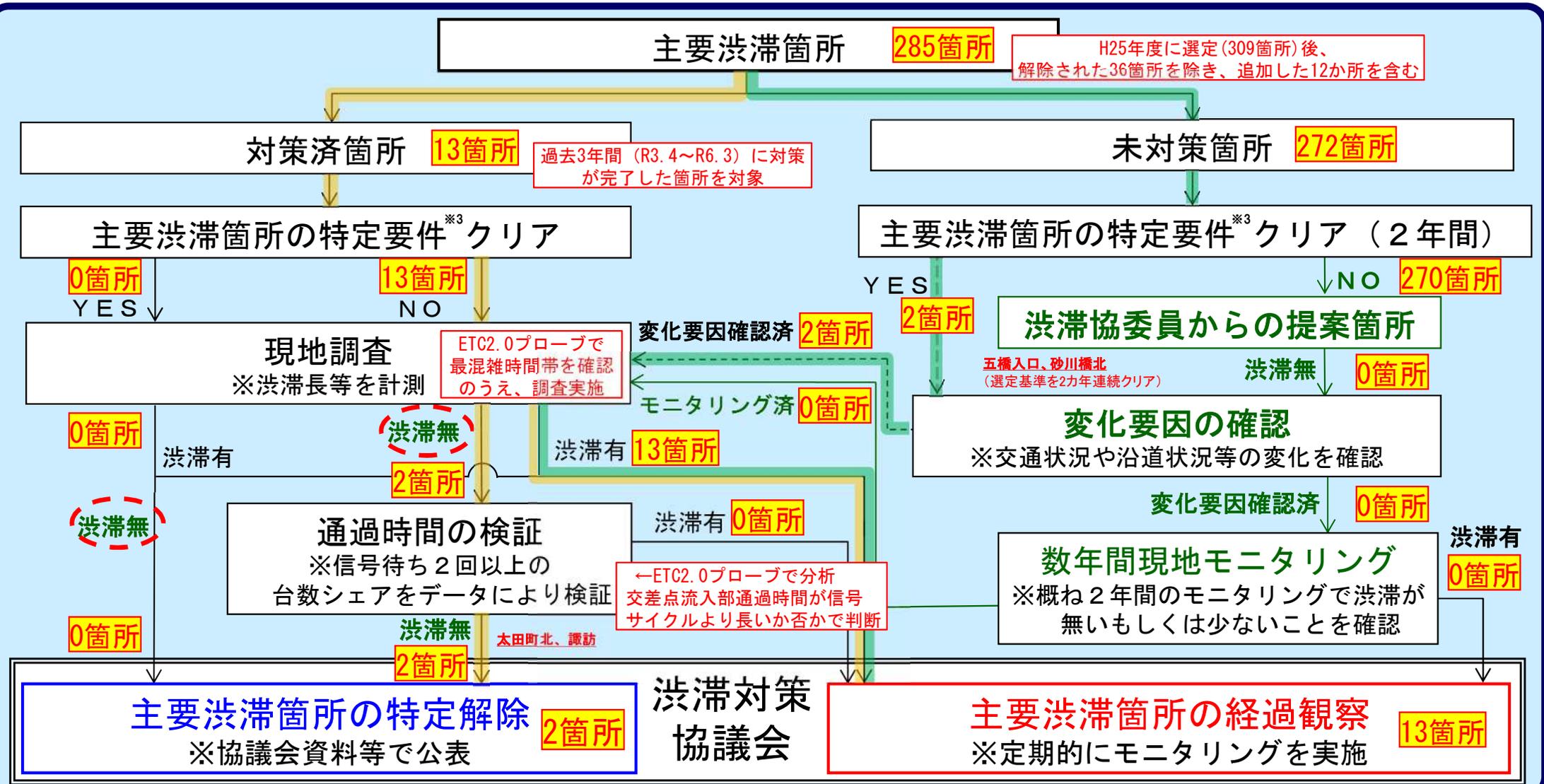
(1) 主要渋滞箇所のフォローアップ結果

- 最新(R6.4~R7.3)のデータを用いてモニタリングを実施した結果、2箇所にて特定要件のクリアを確認した。
- モニタリングを踏まえたフォローアップの結果、**対策済の主要渋滞箇所2箇所を解除候補箇所として抽出**した。(次頁以降、詳細なフォローアップ結果を示す)

※1モニタリング: 主要渋滞箇所の選定基準の該当状況を確認すること
 ※2フォローアップ: 主要渋滞箇所の解除フローに基づき、渋滞対策を行った主要渋滞箇所の効果検証を行うこと

※3主要渋滞箇所(一般道)の特定要件⇒

曜日・時間帯	選定基準
平日 朝 (7時~9時)	平均速度20km/h未満 ※いずれか一方でも該当する箇所
平日 夕 (17時~19時)	
休日 昼 (7時~19時)	



(渋滞無)の定義については次頁参照 ※緑部分が令和5年度に変更した箇所

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(1) 主要渋滞箇所のフォローアップ結果

- 「渋滞無」の判断は、令和5年度 第2回 熊本県交通渋滞対策協議会にて決定した新しい定義に基づき実施する。
- 熊本県内の主要渋滞箇所には信号交差点の他、押しボタン式信号交差点などがあるため交差点運用に応じて「渋滞無」の判断を行っている。

①交差点運用に応じて「渋滞無」を判断する

信号交差点
または
感應式信号付交差点
(該当交差点250箇所)

概要	判断基準の設定
従道路の信号待ち回数 2回なら「渋滞無」とする。	<p>➤ <u>現地確認で従道路の信号待ち回数が2回まで、かつ、主道路の渋滞長が観測されない場合『渋滞無』と判断。</u></p> <p>※現地確認は最も混雑する1時間帯に実施する。</p> <p>判断基準①: 従道路の信号待ち回数2回</p> <p>判断基準②: 主道路の渋滞長0m</p>

押しボタン式信号交差点
または
信号無交差点
(該当交差点35箇所)

概要	判断基準の設定
信号制御のない交差点 で主道路の渋滞がない 場合を「渋滞無」とする。	<p>➤ <u>信号制御されていないまたは押しボタン式の交差点、かつ、現地確認で主道路の渋滞長が観測されない場合『渋滞無』と判断。</u></p> <p>判断基準: 主道路の渋滞長0m</p>

②自治体ヒアリングの実施

✓ 渋滞に関する意見なし

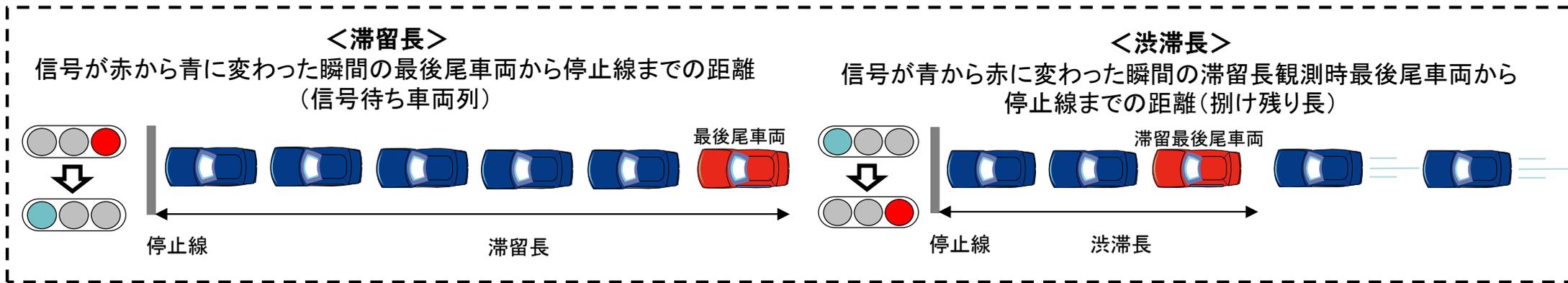
✓ 他道路事業に支障なし

渋滞無

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(1) 主要渋滞箇所のフォローアップ結果

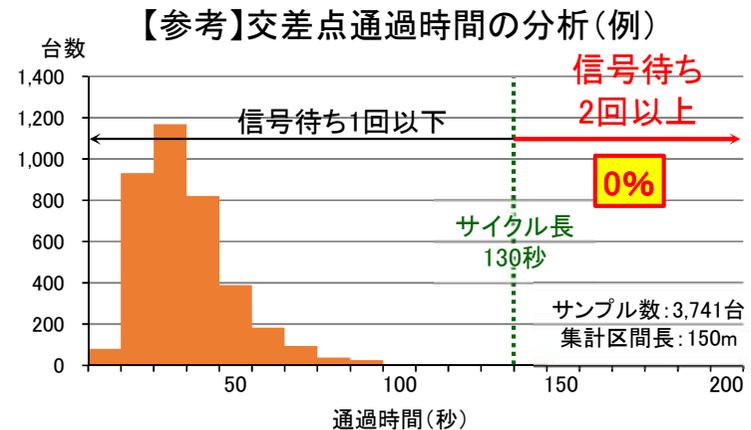
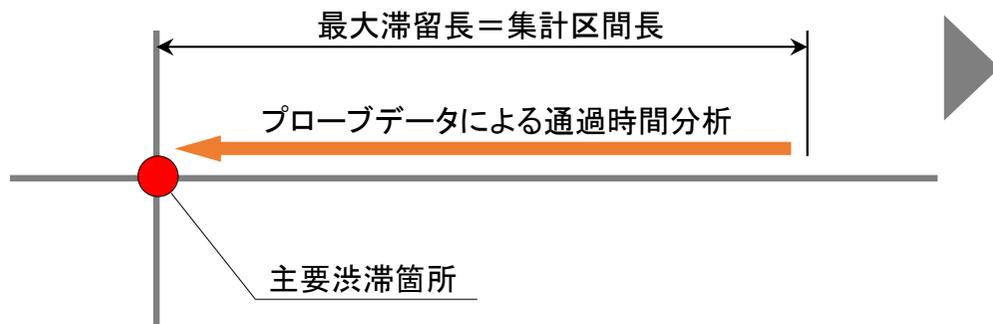
● 滞留長、渋滞長について



● 通過時間の検証について

(現地調査は、特定の1日の状況であるため、渋滞の有無をデータにより検証する)

- ① 特定要件をクリアしていない方向を対象として、現地調査で計測した最大滞留長の交差点通過時間をプローブデータから分析
- ② 交差点通過時間がサイクル長以上(信号待ち2回以上)となる車両の台数が無い(渋滞無し)ことを検証(基準:5%)



※平日朝(7-9時)
 平日夕(17-19時)
 休日昼(7-19時)
 を対象として分析

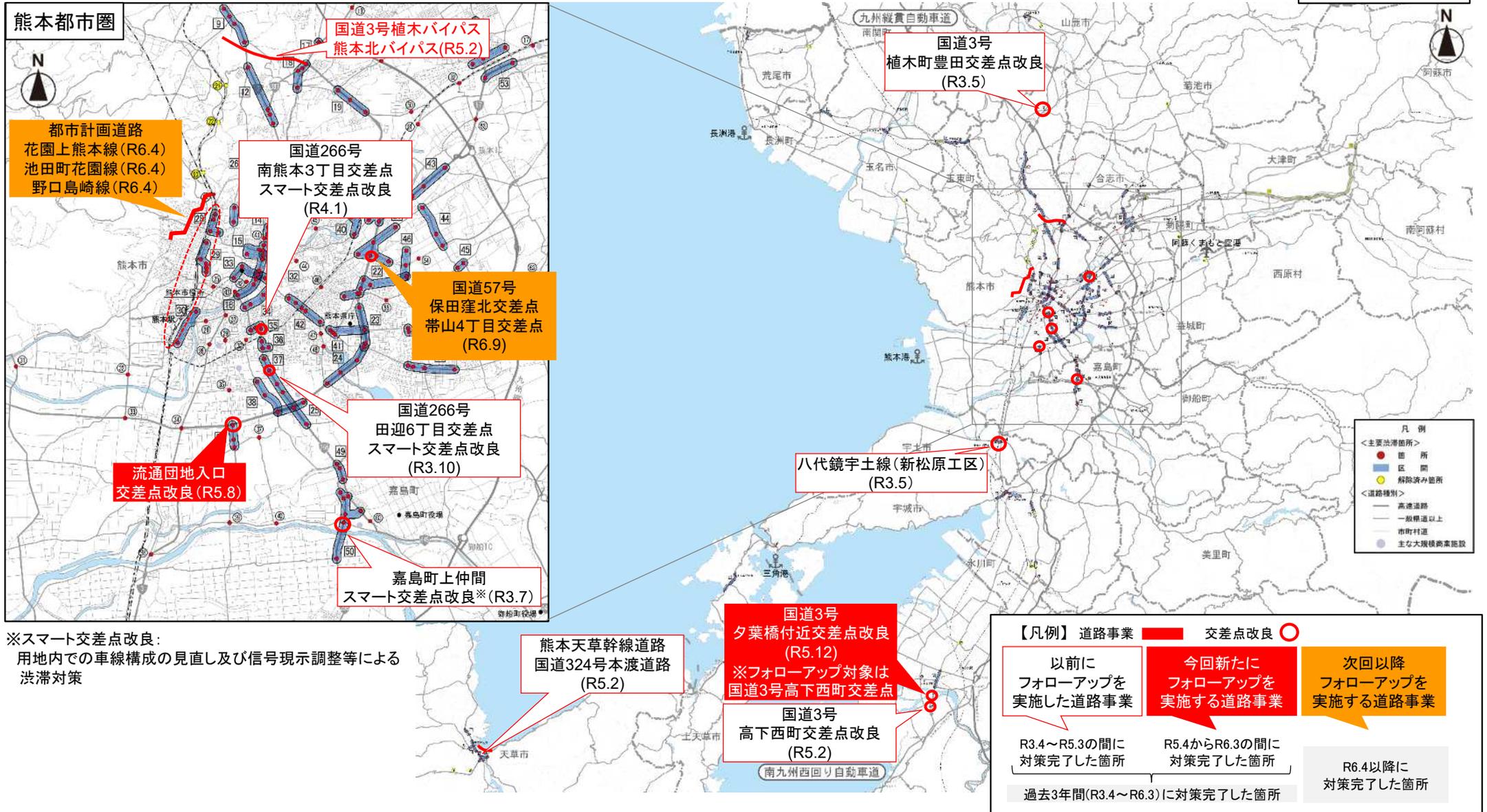
データ: プローブデータ

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2) 対策済み箇所のフォローアップ結果

○過去3年間(R3.4~R6.3)に完了した道路事業に関連する13箇所について主要渋滞箇所のフォローアップを実施。
 ○R6.4月以降に完了した事業に関連する箇所は、来年度以降主要渋滞箇所のフォローアップを行う予定。

▼過去3年間(R3.4~R6.3)に完了したフォローアップ対象となる道路事業 次回以降のフォローアップ対象箇所(R6.4以降に対策完了)も掲載



※スマート交差点改良:
 用地内での車線構成の見直し及び信号現示調整等による渋滞対策

【凡例】 道路事業 ■ 交差点改良 ○

以前に フォローアップを 実施した道路事業	今回新たに フォローアップを 実施する道路事業	次回以降 フォローアップを 実施する道路事業
R3.4~R5.3の間に 対策完了した箇所	R5.4からR6.3の間に 対策完了した箇所	R6.4以降に 対策完了した箇所

過去3年間(R3.4~R6.3)に対策完了した箇所

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2) 対策済み箇所のフォローアップ結果 (以前にフォローアップを実施(R5.3までに対策が完了)した11箇所)

- 以前にフォローアップを実施(R5.3までに対策が完了)した11箇所のうち、2箇所(太田町北交差点、諏訪交差点)は現地調査や自治体ヒアリング、通過時間の検証結果から渋滞無しの判断になるため「解除候補」とする。
- 残りの9箇所は現地調査で渋滞の発生が確認されたり、自治体ヒアリングで意見有りのため、「経過観察」とする。

●R3.4～R5.3の間に対策完了した主要渋滞箇所のフォローアップ結果(11箇所)

道路整備により速度向上が見込まれる方向

No	路線名	主要渋滞箇所名称	交差点運用 A:信号交差点 B:無信号交差点	所在地	対象事業名	事業主体	供用年次	方向	路線名	方角	①選定時平均旅行速度 (分析期間:H24.4-H24.8)			②最新平均旅行速度 (分析期間:R6.4.1-R7.3.31)			現地調査結果			通過時間の 検証結果	方針
											単位:km/h			単位:km/h			最大渋滞長	信号待ち回数	自治体ヒアリング		
											平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼					
1	国道3号	松原	A	宇土市	八代鏡宇土線(新松原工区)	県	R3.5	方向1	国3	北	22.0	19.1	18.8	13.9	13.4	14.1	0m	1回	/	/	主道路渋滞のため経過観察
								方向2	国57	西	8.6	12.7	14.7	7.9	6.8	8.0	650m	3回以上			
								方向3	国3	東	5.7	5.5	6.8	7.5	6.5	7.0	100m	2回			
								方向4	主14	南	18.4	16.6	19.4	16.1	12.7	13.5	0m	1回			
2	国道3号	植木町豊田	A	熊本市	国道3号植木町豊田交差点改良	国	R3.5	方向1	国3	北東	31.5	32.6	38.6	32.9	32.4	38.1	0m	1回	/	/	主道路渋滞のため経過観察
								方向2	主53	東	17.4	19.4	17.8	18.1	18.6	23.0	100m	2回			
								方向3	国3	南西	10.3	16.2	10.6	12.9	18.5	20.9	450m	2回			
								方向4	市道等	西	-	-	-	-	-	-	0m	1回			
3	国道266号	嘉島町上仲間	A	嘉島町	嘉島町上仲間スマート交差点改良 信号現示調整	県・市	R1.12 R3.7	方向1	国266	北	14.5	13.8	14.9	17.6	14.2	17.3	0m	1回	/	/	主道路渋滞のため経過観察
								方向2	主50	西	16.2	11.5	13.7	5.3	5.1	6.5	300m	3回以上			
								方向3	主50	東	6.4	12.5	18.1	7.0	7.3	11.8	300m	2回			
								方向4	国266	南	12.9	12.6	14.3	12.9	13.0	14.5	1600m	3回以上			
4	国道266号	田迎6丁目	A	熊本市	スマート交差点改良	市	R3.10	方向1	市道等	北西	12.0	14.7	14.8	14.7	11.5	13.9	0m	1回	/	/	主道路渋滞のため経過観察
								方向2	国266	北西	25.3	19.9	20.04	13.0	10.5	14.5	20m	2回			
								方向3	市道等	南西	7.3	4.2	4.7	8.0	5.4	6.0	80m	2回			
								方向4	国266	南東	11.7	7.6	8.3	11.6	11.3	14.1	40m	2回			
								方向5	市道等	南東	8.9	5.1	5.9	4.3	3.5	4.7	40m	2回			
5	国道266号	南熊本3丁目	A	熊本市	スマート交差点改良	市	R4.1	方向1	国266	北	31.5	26.9	25.1	19.2	16.3	18.1	0m	1回	/	/	従道路で信号待ち3回以上のため経過観察
								方向2	市道等	西	17.2	4.0	10.6	14.8	5.9	9.8	40m	2回			
								方向3	市道等	東	8.4	5.3	8.0	5.2	4.0	8.3	100m	3回以上			
								方向4	国266	南	8.4	6.1	8.0	8.0	8.0	9.1	0m	1回			
6	国道3号	北部消防入口	A	熊本市	植木バイパス開通 熊本北バイパス4車線化	国	R5.2	方向1	国3	北西	21.3	18.0	28.4	25.3	25.4	29.8	0m	1回	/	/	主道路渋滞のため経過観察
								方向2	県342	南西	18.9	21.5	19.3	9.5	9.5	10.3	0m	1回			
								方向3	国3	南東	23.7	21.4	26.3	13.2	25.5	29.5	510m	3回以上			
7	国道324号	港町	A	天草市	国道324号本渡道路開通 (熊本天草幹線道路)	県	R5.2	方向1	国324	北	25.7	17.6	22.5	20.1	20.3	21.7	0m	1回	意見有り	/	自治体ヒアリングより経過観察
								方向2	主24	西	9.4	8.6	11.4	8.9	8.9	10.0	20m	2回			
								方向3	県308	東	14.0	13.9	19.7	14.3	13.3	18.6	15m	2回			
								方向4	国324	南	40.2	24.8	30.9	23.3	19.8	16.7	0m	1回			
8	国道324号	太田町北	A	天草市	国道324号本渡道路開通 (熊本天草幹線道路)	県	R5.2	方向1	市道等	北	-	10.1	11.2	16.1	5.2	6.7	0m	1回	意見無し	/	渋滞無し 解除候補
								方向2	国324	北西	29.4	16.6	23.2	22.8	21.4	18.9	0m	1回			
								方向3	国324	南東	37.3	31.7	26.4	33.4	26.6	24.4	0m	1回			
9	国道266号	めいきばし 明亀橋	A	天草市	国道324号本渡道路開通 (熊本天草幹線道路)	県	R5.2	方向1	国266	北	24.4	21.8	22.4	21.8	20.0	23.4	0m	1回	意見有り	/	自治体ヒアリングより経過観察
								方向2	市道等	北西	6.5	4.8	9.7	14.2	12.2	13.4	0m	1回			
								方向3	市道等	南東	8.2	5.7	7.2	7.6	6.6	6.7	0m	1回			
								方向4	国266	南	33.1	23.6	33.9	36.0	32.9	36.2	0m	1回			
10	(主) 本渡下田線	諏訪	A	天草市	国道324号本渡道路開通 (熊本天草幹線道路)	県	R5.2	方向1	主44	北	15.2	12.5	13.2	14.0	12.8	13.9	0m	1回	意見無し	/	渋滞無し 解除候補
								方向2	主24	東	23.7	18.1	19.7	11.6	12.2	12.8	0m	1回			
								方向3	主24	南西	34.5	28.4	35.8	18.1	20.4	21.9	0m	1回			
								方向4	国324	北	17.2	16.5	16.8	12.5	11.7	14.7	0m	1回			
11	国道324号	大浜町	A	天草市	国道324号本渡道路開通 (熊本天草幹線道路)	県	R5.2	方向1	国324	北東	18.2	20.1	21.6	11.1	9.2	12.4	0m	1回	意見有り	/	自治体ヒアリングより経過観察
								方向2	市道等	北東	18.2	20.1	21.6	11.1	9.2	12.4	0m	1回			
								方向3	市道等	西	12.4	12.2	11.7	11.5	9.9	12.0	20m	2回			
								方向4	国324	南	27.0	22.0	24.6	24.6	17.4	22.5	0m	1回			

※①選定時平均旅行速度:プローブデータ、②最新平均旅行速度:ETC2.0プローブ情報を用いて算出。20km/h未満を赤塗り。

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2) 対策済み箇所のフォローアップ結果【⑧国道324号太田町北交差点(R5.2)】

- 令和5年2月25日に熊本天草幹線道路の一部を構成する国道324号本渡道路(延長1.3km)が開通。
- 昨年度は都市計画道路・太田町水の平線供用(R7.2)前のため「経過観察」としたが、**今年度は現地調査や自治体ヒアリング、通過時間の検証結果から渋滞無しの判断になるため「解除候補」とする。**
- なお、最新旅行速度が選定時より低下している要因として、交差点周辺では主要渋滞箇所特定後に新たな行政施設開業や病院の大規模化が行われており、これらの周辺地域への交通が増加しているためと考察される。

●整備概要 及び 解除候補2箇所



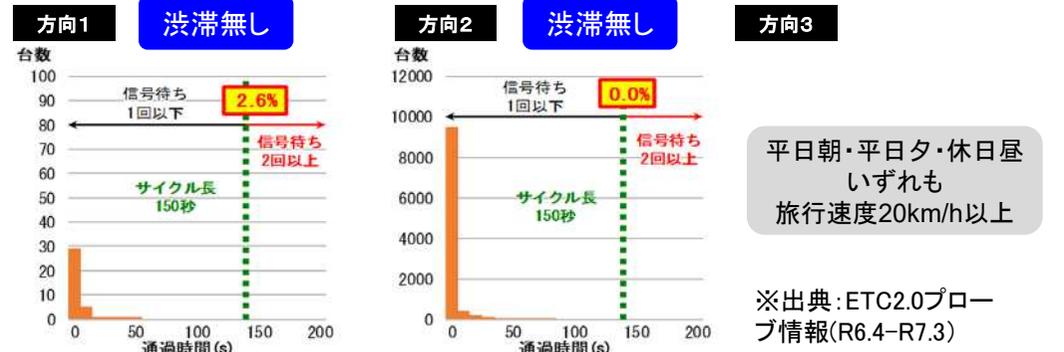
【位置図】



●フォローアップ・通過時間の検証結果(R7)

主要渋滞箇所名称	交差点運用 A: 信号交差点 B: 無信号交差点	方向	路線名	方角	①選定時平均旅行速度 (分析期間:H24.4-H24.8)				②最新平均旅行速度 (分析期間:R6.4.1-R7.3.31)				現地調査結果			通過時間の検証結果	方針
					単位: km/h		単位: km/h		最大渋滞長	信号待ち回数	自治体ヒアリング						
					平日夕	休日昼	平日朝	休日昼									
太田町北	A	方向1	市道等	北	-	10.1	11.2	16.1	5.2	6.7	0m	1回	意見無し	渋滞無し	解除候補		
		方向2	国324	北西	29.4	16.6	23.2	22.8	21.4	18.9	0m	1回	意見無し	渋滞無し			
		方向3	国324	南東	37.3	31.7	26.4	33.4	26.6	24.4	0m	1回	意見無し	渋滞無し			

※①選定時平均旅行速度:プロブデータ、②最新平均旅行速度:ETC2.0プローブ情報を用いて算出。20km/h未満を赤塗り。
 ※②の2段目は選定時と比較した旅行速度の変化。(青字:速度向上、赤字:速度低下)
 ※現地調査日時:R7.6.18(水)16時台



※出典:ETC2.0プローブ情報(R6.4-R7.3)

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2) 対策済み箇所のフォローアップ結果 【⑩主要地方道本渡下田線諏訪交差点 (R5.2)】

- 諏訪交差点についても昨年度は「経過観察」となっていたが、**今年度は現地調査や自治体ヒアリング、通過時間の検証結果から、渋滞無しの判断になるため「解除候補」とする。**
- なお、最新旅行速度が選定時より低下している要因として、速度低下が大きい方向②③の区間では、本渡道路開通により、交通が集中したためと考察される。

【位置図】



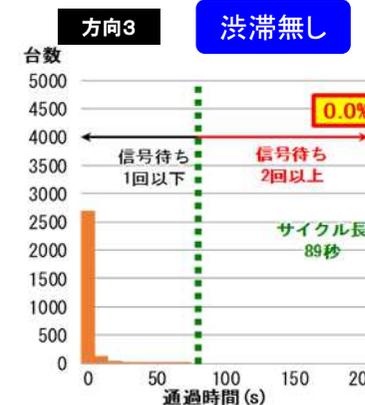
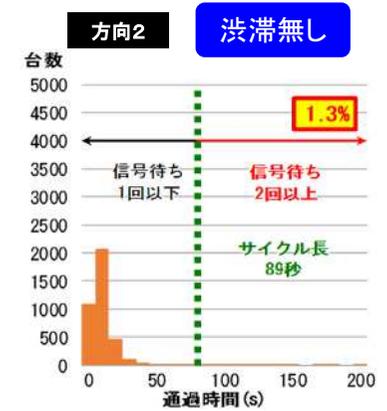
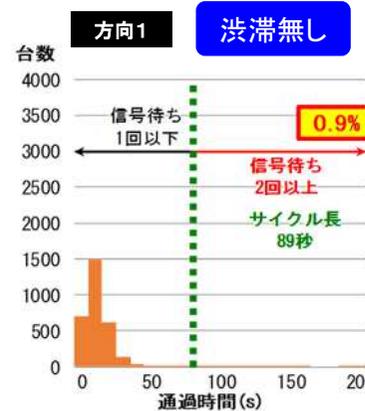
下図：(c)NTTインフラネット株式会社



●フォローアップ・通過時間の検証結果(R7)

主要渋滞箇所名称	交差点通用 A:信号交差点 B:無信号交差点	方向	路線名	方角	①選定時平均旅行速度 (分析期間:H24.4-H24.8) 単位:km/h			②最新平均旅行速度 (分析期間:R6.4.1-R7.3.31) 単位:km/h			現地調査結果			通過時間の 検証結果	方針
					平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	最大渋滞長	信号待ち 回数	自治体 ヒアリング		
					主道路を緑色で表示										
諏訪	A	方向1	主44	北	15.2	12.5	13.2	14.0	12.8	13.9	0m	1回	意見無し	渋滞無し	解除候補
		方向2	主24	東	23.7	18.1	19.7	11.6	12.2	12.8	0m	1回	意見無し	渋滞無し	
		方向3	主24	南西	34.5	28.4	35.8	18.1	20.4	21.9	0m	1回	意見無し	渋滞無し	

※①選定時平均旅行速度：プローブデータ、②最新平均旅行速度：ETC2.0プローブ情報を用いて算出。20km/h未満を赤塗り。
 ※②の2段目は選定時と比較した旅行速度の変化。(青字：速度向上、赤字：速度低下)
 ※現地調査日時：R7.6.18(水) 17時台



※出典：ETC2.0プローブ情報(R6.4-R7.3)

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2) 対策済み箇所のフォローアップ結果 (今回新たにフォローアップを実施(R5.4以降に対策が完了)した2箇所)

- R5.4以降に対策が完了した2箇所のうち、流通団地入口交差点については自治体ヒアリングで意見有り、高下西町については現地調査で渋滞の発生が確認されたため、いずれも「経過観察」とする。
- 今回新たにフォローアップを実施する箇所の対策事業詳細は次ページ以降に示す。

●R5.4からR6.3の間に対策完了した主要渋滞箇所のフォローアップ結果(2箇所)

道路整備により速度向上が見込まれる方向

No	路線名	主要渋滞箇所名称	交差点運用 A: 信号交差点 B: 無信号交差点	所在地	対象事業名	事業主体	供用年次	方向	路線名	方角	①選定時平均旅行速度 (分析期間:H24.4-H24.8)			②最新平均旅行速度 (分析期間:R6.4.1-R7.3.31)			現地調査結果			通過時間の 検証結果	方針
											単位: km/h			単位: km/h			最大渋滞長	信号待ち回数	自治体ヒアリング		
											平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼					
1	国道57号	流通団地入口	A	熊本市	交差点改良(右折延伸)	国	R5.8	方向1	市道等	北	15.8	10.7	15.7	18.2	9.6	17.2	0m	1回	意見有り	自治体ヒアリングより経過観察	
								方向2	国57	西	21.2	17.6	23.9	14.0	15.8	25.0	0m	1回			
								方向3	国57	東	18.7	18.9	21.6	16.8	19.7	23.3	0m	1回			
								方向4	県182	南	7.7	9.6	14.2	8.6	11.9	15.5	0m	1回			
								方向1	国3	北	34.0	32.0	33.6	28.3	28.5	35.9	0m	1回			
2	国道3号	高下西町	A	八代市	国道3号停止線の前出し夕葉橋付近交差点改良(上り右折車線設置)	国	R5.2 R5.12	方向1	国3	北	34.0	32.0	33.6	28.3	28.5	35.9	0m	1回	主道路渋滞のため経過観察		
								方向2	市道等	西	23.2	19.9	23.0	18.8	18.1	21.4	50m	2回			
								方向3	国3	南	35.9	28.4	32.3	32.5	23.4	30.4	20m	2回			

※①選定時平均旅行速度:プローブデータ、②最新平均旅行速度:ETC2.0プローブ情報を用いて算出。20km/h未満を赤塗り。

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(2) 対策済み箇所のフォローアップ結果【国道57号流通団地入口交差点(R5.8完了)】

- 国道57号流通団地入口交差点は主道路の上下線ともに右折車による後続車阻害が発生しているため、上下線間の用地を活用した**右折車線の改良**をR5.8月に実施。
- 現地確認では渋滞発生は確認できなかったものの、自治体ヒアリングでは意見有り(従道路で朝ピーク時間帯に渋滞が残存)**となっているため、引き続きモニタリングを継続する。

●整備概要



●フォローアップ結果

道路整備により速度向上が見込まれる方向

主要渋滞箇所名称	交差点運用 A: 信号交差点 B: 無信号交差点	方向	路線名	方角	①選定時平均旅行速度 (分析期間:H24.4-H24.8)			②最新平均旅行速度 (分析期間:R6.4.1-R7.3.31)			現地調査結果			通過時間の 検証結果	方針
					単位:km/h			単位:km/h			最大渋滞長	信号待ち 回数	自治体 ヒアリング		
					平日朝	平日夕	休日夜	平日朝	平日夕	休日夜					
流通団地入口	A	方向1	市道等	北	15.8	10.7	15.7	18.2	9.6	17.2	0m	1回	意見有り	自治体ヒアリングより経過観察	
		方向2	国57	西	21.2	17.6	23.9	2.4	-1.1	1.5	0m	1回			
		方向3	国57	東	18.7	18.9	21.6	-7.2	-1.8	1.1	0m	1回			
		方向4	県182	南	7.7	9.6	14.2	16.8	19.7	23.3	0m	1回			
							0.9	2.3	1.3	0m	1回				

※①選定時平均旅行速度:プローブデータ、②最新平均旅行速度:ETC2.0プローブ情報を用いて算出。20km/h未満を赤塗る。
 ※②の2段目は選定時と比較した旅行速度の変化。(青字:速度向上、赤字:速度低下)
 ※現地調査日時: R7.6.20(金)7時台



2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

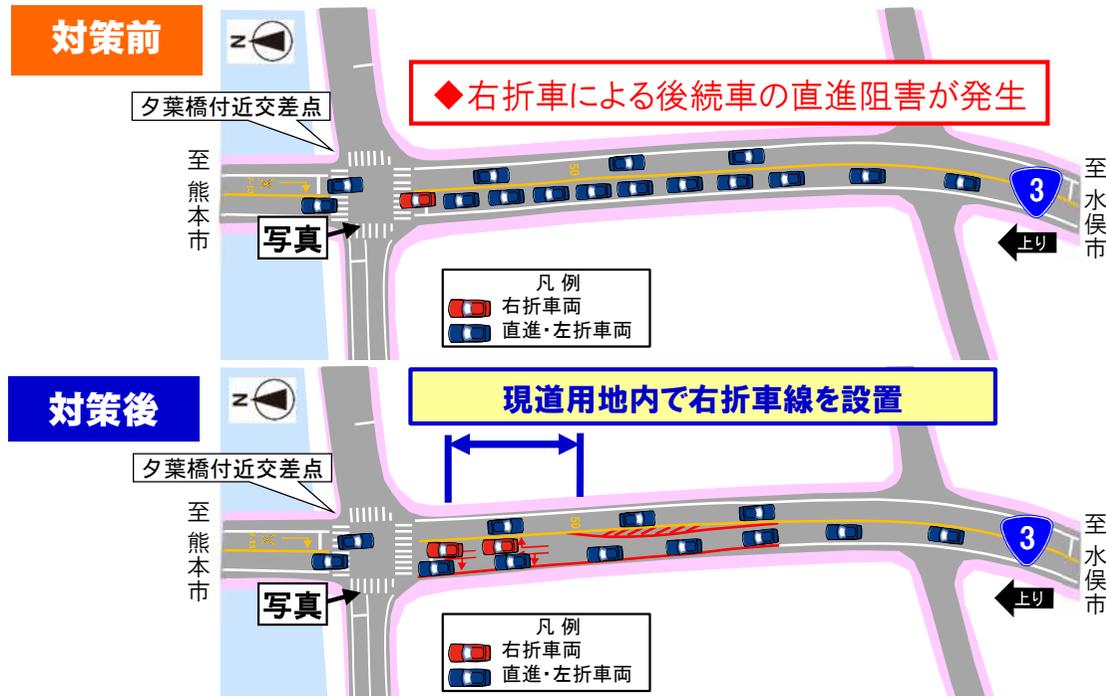
(2) 対策済み箇所のフォローアップ結果【国道3号高下西町交差点 (R5.12完了)】

- 国道3号高下西町交差点は水俣市方面から熊本市方面へ向かう直進車が多く渋滞が発生しており、**R5.2月に上り線の停止線の前出しを実施**。
- 近接する夕葉橋付近(夕葉橋南側)でも上り線の滞留が高下西町交差点まで影響する場合がありますため、**高下西町交差点の上り線の混雑緩和のため、夕葉橋付近交差点の上り線でR5.12月に右折車線設置を実施**。
- 両対策を実施した効果検証として、高下西町交差点で現地調査を行った結果、主道路の方向3で渋滞の発生を確認したため「経過観察」とし、引き続きモニタリングを継続する。

●位置図



●夕葉橋付近交差点改良内容



対策前

右折車によって後続車の直進阻害が発生



対策後

右折車が存在しても後続車の直進阻害は発生しない



●フォローアップ結果

道路整備により速度向上が見込まれる方向

主要渋滞箇所名称	交差点運用 A: 信号交差点 B: 無信号交差点	方向	路線名	方角	①選定時平均旅行速度 (分析期間: H24.4-H24.8) 単位: km/h			②最新平均旅行速度 (分析期間: R6.4.1-R7.3.31) 単位: km/h			現地調査結果			通過時間の検証結果	方針
					平日朝	平日夕	休日は	平日朝	平日夕	休日は	最大渋滞長	信号待ち回数	自治体ヒアリング		
					主道路を緑色で表示										
高下西町	A	方向1	国3	北	34.0	32.0	33.6	28.3	28.5	35.9	0m	1回		主道路渋滞のため経過観察	
		方向2	市道等	西	23.2	19.9	23.0	-5.8	-3.5	2.3	50m	2回			
		方向3	国3	南	35.9	28.4	32.3	32.5	23.4	30.4	20m	2回			

※①選定時平均旅行速度: プローブデータ、②最新平均旅行速度: ETC2.0プローブ情報を用いて算出。20km/h未満を赤塗り。
 ※②の2項目は選定時と比較した旅行速度の変化。(青字: 速度向上、赤字: 速度低下)
 ※現地調査日時: R7.6.20(金) 17時台

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(3) 未対策箇所のフォローアップ結果 (主要渋滞箇所の特定要件をクリア:2箇所)

○未対策箇所のうち、主要渋滞箇所の選定基準を2年間クリアした^{ごきょういりぐち}五橋入口交差点及び砂川橋北交差点では現地調査で渋滞の発生が確認されたため、「経過観察」とし、モニタリングを継続する。

●未対策箇所で主要渋滞箇所選定基準をクリアした箇所(2箇所)

No	路線名	主要渋滞箇所名称	市区町村	対象事業名	事業主体	供用年次	方向	路線名	方角	①選定時平均旅行速度 (分析期間:H24.4-H24.8)			昨年度平均旅行速度 (分析期間:R5.4.1-R6.3.31)			②最新平均旅行速度 (分析期間:R6.4.1-R7.3.31)			現地調査結果			通過時間の検証結果	方針						
										単位:km/h									単位:km/h					単位:km/h			最大渋滞長	信号待ち回数	自治体ヒアリング
										平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼			20m未満	20m以上	20m未満			
1	国道57号	五橋入口	宇城市	(未対策箇所) 道路管理者:国	-	-	方向1	国57	北西	44.3	45.1	38.5	24.3	25.5	26.3	24.7	25.7	26.4	0m	1回	主道路渋滞のため経過観察								
							方向2	国266	南西	28.9	34.3	28.2	34.3	34.0	34.4	33.4	33.6	33.2	0m	1回									
							方向3	国57	南東	23.4	20.6	18.6	25.3	25.1	24.6	27.3	27.7	27.4	20m	2回									
2	国道3号	砂川橋北	宇城市	(未対策箇所) 道路管理者:国	-	-	方向1	国3	北東	37.4	38.3	38.7	38.7	34.9	36.4	37.5	35.8	36.7	0m	-	主道路渋滞のため経過観察								
							方向2	国3	南西	28.1	27.1	23.0	29.1	25.2	23.7	29.1	25.5	23.6	20m	-									
							方向3	市道等	南東	32.4	-	-	-	-	-	-	-	-	0m	-									

※①選定時平均旅行速度:プローブデータ、②最新平均旅行速度:ETC2.0プローブ情報を用いて算出。20km/h未満を赤塗り。

▼未対策箇所で主要渋滞箇所選定基準をクリアした箇所



2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(4) 次回以降フォローアップを実施する箇所【熊本河川国道事務所 保田窪北交差点・帯山4丁目交差点(R6.9実施)】

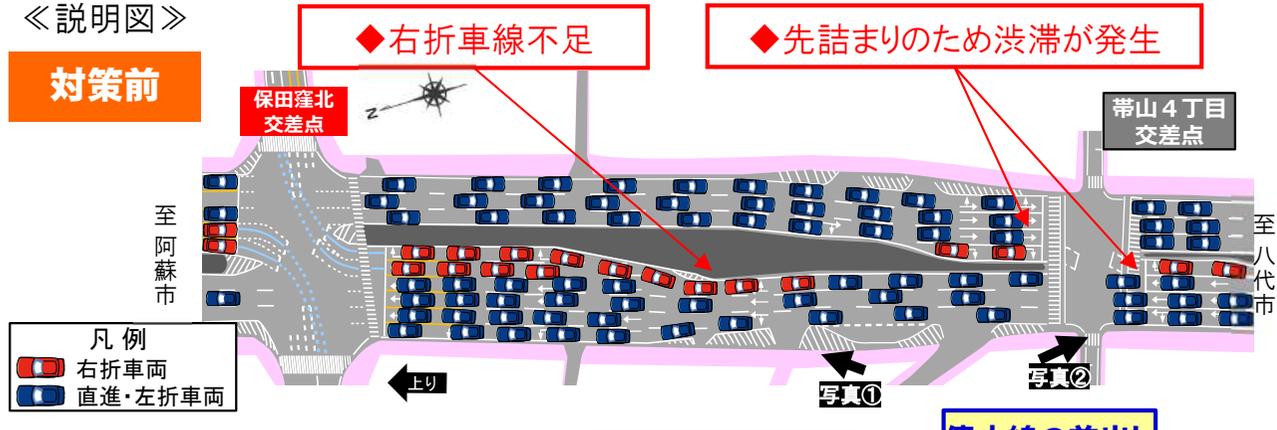
- 国道57号保田窪北交差点の上りは右折車が右折車線をはみ出すことで後続車阻害が発生していた。また、隣接する帯山4丁目交差点は上下線ともに交差点直進車が多いことから、渋滞が発生していた。
- 右折車線延伸(保田窪北交差点上りで60m)による後続車阻害の解消と帯山4丁目交差点の停止線前出しにより、平日夕方における旅行速度の向上の効果が確認された。

≪広域図≫

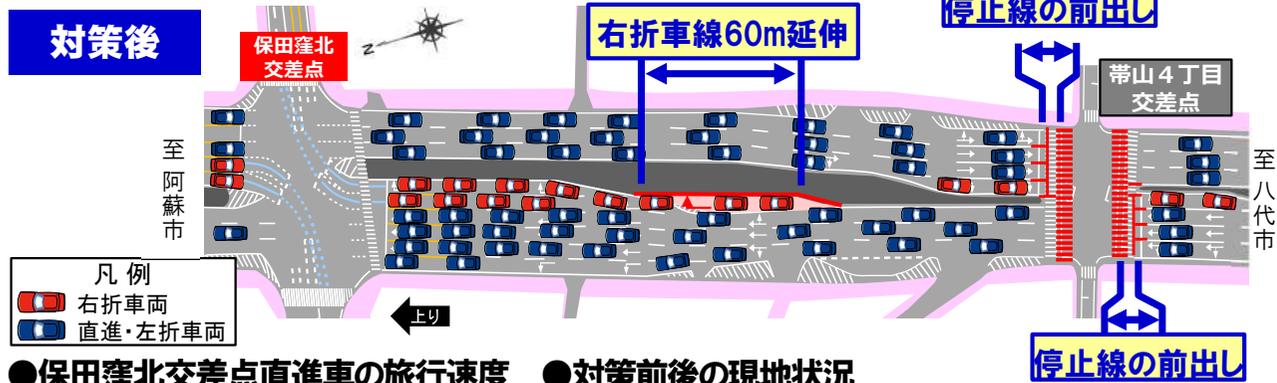


≪説明図≫

対策前



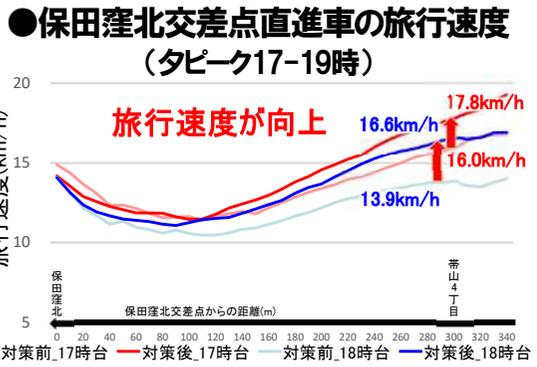
対策後



≪位置図≫



凡例
右折車両
直進・左折車両



●対策前後の現地状況



出典:ETC2.0プローブ情報(対策前:R5.10、対策後:R6.10)

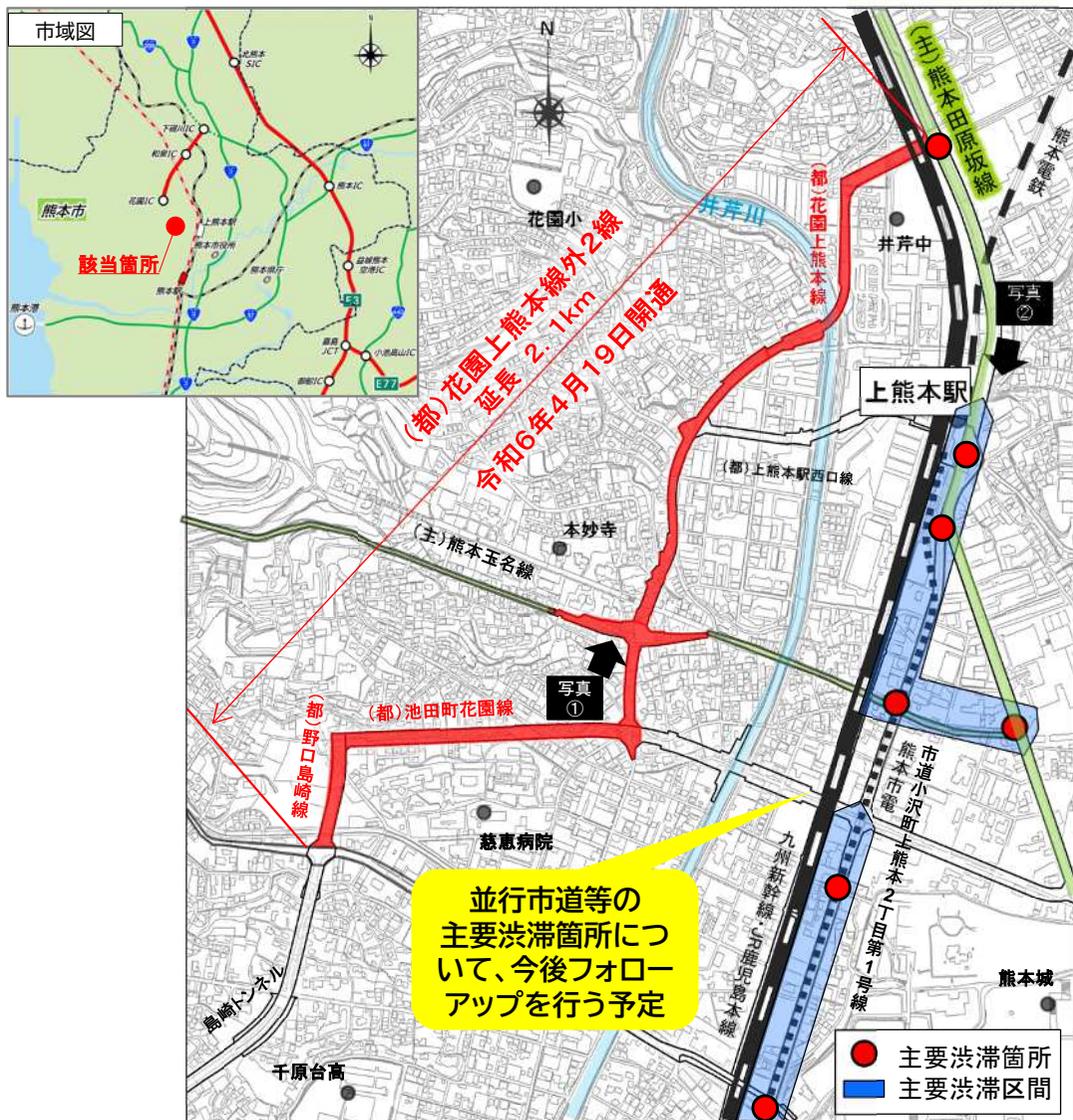
出典:現地調査結果【対策前】R6.5.31(水)【対策後】R6.12.5(木)

2. 主要渋滞箇所のフォローアップ

(4) 次回以降フォローアップを実施する箇所【くまもとたばろざかせん 熊本市 都市計画道路 はなぞのかみくまもとせんほか 花園上熊本線外2線 (R6.4完了)】

- 令和6年4月19日上熊本駅の西側に(主)熊本田原坂線と並行する都市計画道路 花園上熊本線外2線(延長約2.1km)が開通。
- 開通後の現地調査では、(主)熊本田原坂線の滞留長が縮小していることを確認。
- 花園上熊本線外2線に並行する市道小沢町上熊本2丁目第1号線等にある主要渋滞箇所は速度向上が見込まれるため次年度以降フォローアップを行う。

●位置図



●当該区間の開通状況



写真② (主)熊本田原坂線 上熊本駅前 中心市街地へ向かう車線の混雑状況



3. 熊本県の対策方針と取り組み状況

(1) 熊本県全体の対策の方向性

1. 熊本県の概況

概要	
熊本県の状況	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県は東西143km、南北127km、7,405km²の面積のうち、可住面積は37%であり、主として海岸沿いの国道3号沿線に県都・商都である熊本市、また玉名市、八代市、水俣市、人吉市などの中規模都市が連なる構造となっている。 流動方向は、国道3号や九州縦貫自動車道などの南北方向の他、国道57号、国道218号を軸とした東西方向に県を越える広域流動がある。また、熊本市から荒尾市方面への国道501号や天草方面への国道57号などの流動がある。 現在整備中の中九州横断道路、南九州西回り自動車道、九州横断自動車道延岡線等を活かした、さらなる交流圏域の拡大が期待されている。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 県民活動に著しい影響を与えている道路交通渋滞は、朝夕のピーク時や行楽シーズンの交通集中により、県内各所で発生している。 主要渋滞箇所は、熊本市、合志市、宇城市、菊陽町等に集中しており、特に熊本市は174箇所と全体の約6割が集中する。

2. 方向性

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <u>マイカーによる通勤、通学の公共交通・自転車へのシフト促進策は、地球温暖化対策としての自動車からの二酸化炭素排出抑制とも合致しており、こうした取り組みにより、ソフト対策としての交通渋滞軽減を進める。</u>
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 道路交通の円滑化を図るため、バイパスや環状道路の整備によるネットワークの充実や現道拡幅、交差点改良などのボトルネック(円滑な流動を妨げる隘路となる部分)対策を計画的に進める。

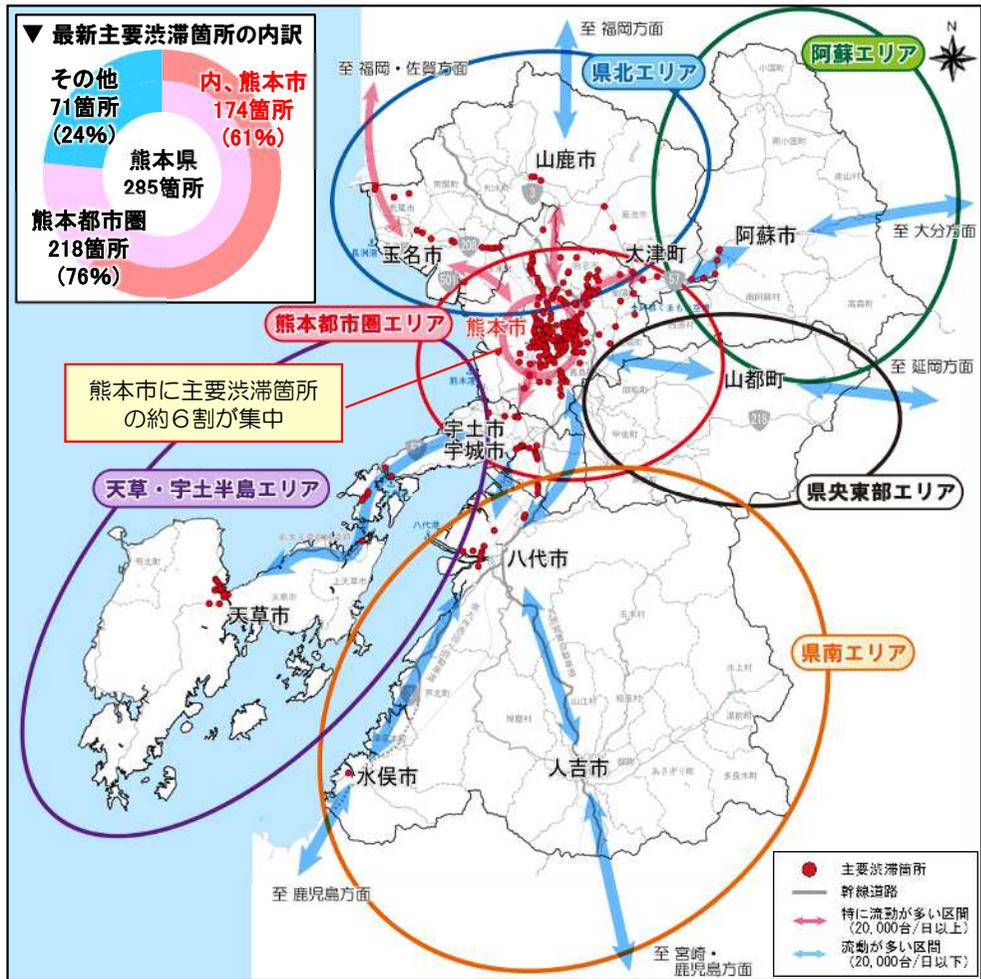
基本方針

■バイパスや環状道路等の整備による交通容量の拡大を図るとともに、**ソフト対策による渋滞軽減への取り組みを図り更なる対策検討及び対策効果を検証**してまいります。

■主要渋滞箇所全体の約6割が集中している熊本市周辺においては、道路管理者・県警・交通事業者等で構成する熊本都市圏エリアWGを活用し、主要渋滞箇所図等により、地域課題を共有し議論を進めます。

■他の地域の渋滞エリアでは、関係者ヒアリング等を実施し、必要に応じてエリアWGを設置し、交通課題について議論を進めます。

3. 熊本県全体の交通流動 (H27年度第1回渋滞協確認事項)



3. 熊本県の対策方針と取り組み状況

(2) 熊本県内における事業中箇所と主要渋滞箇所の対策実施状況

- 熊本県内では中九州横断道路や熊本天草幹線道路等の道路事業を進めており、**今年度においては、熊本環状連絡道路が新たに事業化**された。
- 上記のような大規模道路事業の他にも交差点改良やソフト対策等が進められており、**選定時より36箇所を主要渋滞箇所から解除、12箇所を追加、残存する主要渋滞箇所の内、約6割は対策済・対策案有(中)**となっている。
- 一方で、**残りの4割の箇所については今後もハード・ソフトの両面から対策の検討・実施が必要**である。
- また対策済(経過観察)の箇所についても対策後の交通状況等を踏まえたうえで状況に応じた検討を行う。

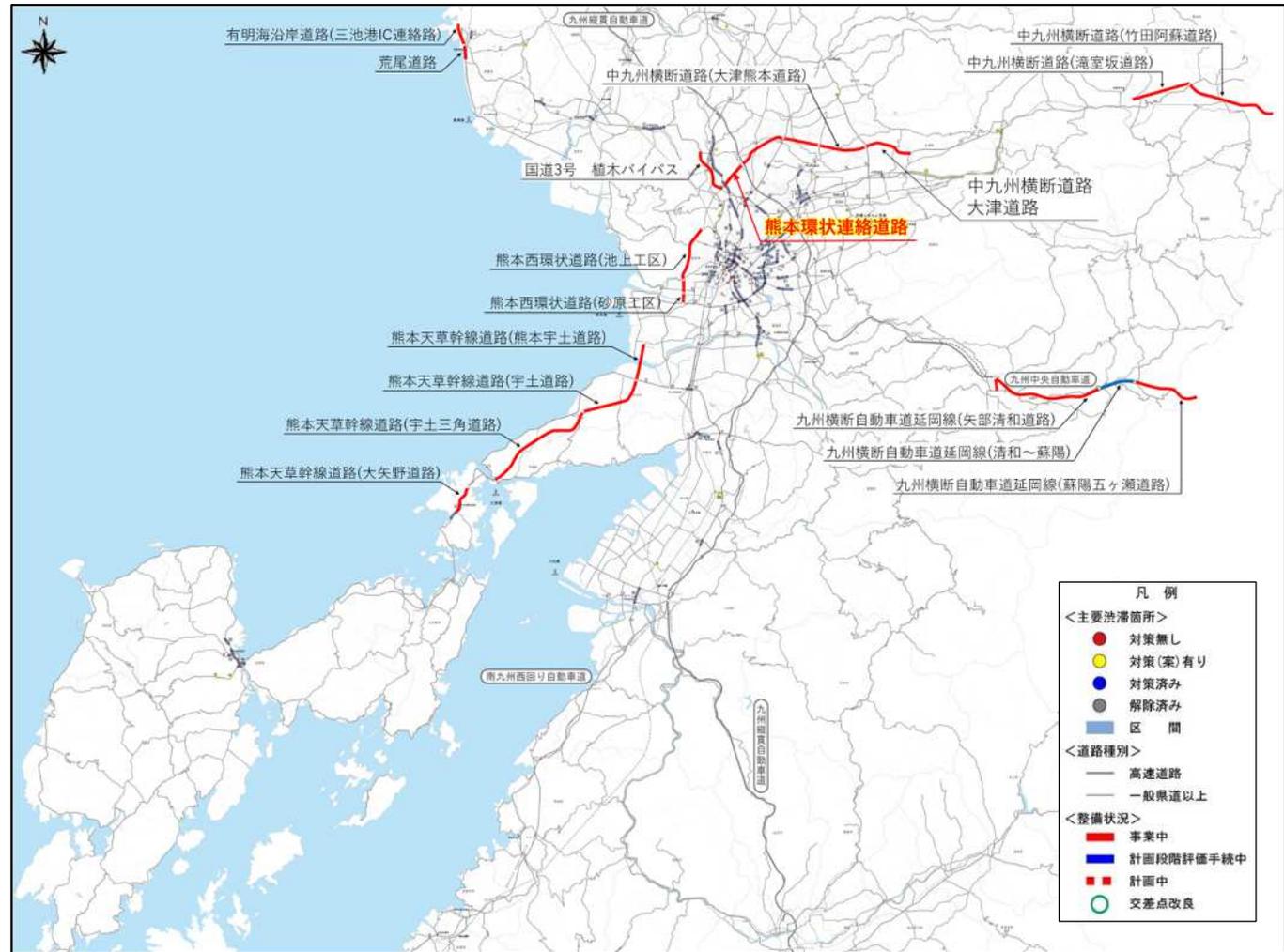
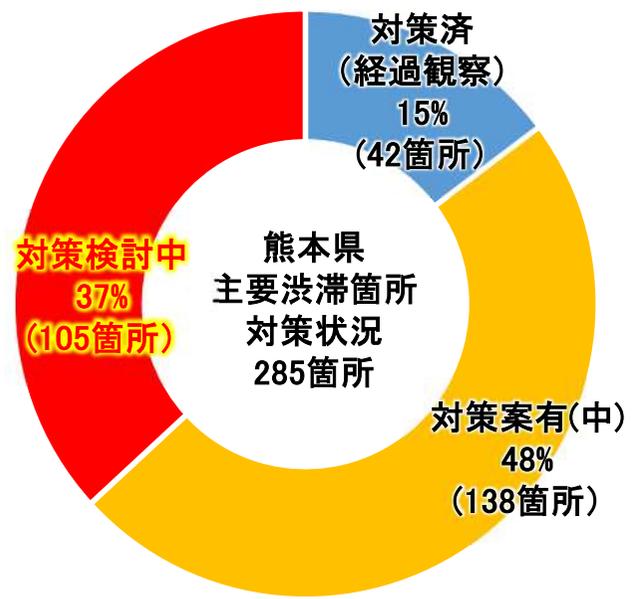
【熊本県内の主要渋滞箇所数】 (R7.8時点)

【主要渋滞箇所の対策状況及び主要な道路事業】 (R7.8時点)

主要渋滞箇所数		集約区間数	箇所数
当初	309箇所	64区間 (226箇所)	83箇所
現状	285箇所 (36箇所解除、 12箇所追加)	60区間 (213箇所)	83箇所 (うち12箇所は追加)

⇒選定時から24箇所減

【残存する主要渋滞箇所の対策状況】 (R7.7時点)



3. 熊本県の対策方針と取り組み状況

(3) 新たに着手した事業【中九州横断道路 熊本環状連絡道路】

- 中九州横断道路は、大分県大分市から熊本県熊本市に至る延長約120kmの高規格道路。このうち、熊本環状連絡道路は、熊本県合志市野々島から熊本県熊本市北区下硯川町に至る延長3.9キロの自動車専用道路。
- 当該区間の整備により、北の福岡方面と東の大分方面の玄関口となり、都市の骨格を形成し、国道3号や国道57号をはじめとする熊本都市圏の渋滞緩和が期待されるとともに半導体関連企業等の集積地と熊本中心部、交通拠点等を結び、安定した物流網を構築して地域経済を牽引し、日本の経済安全保障に貢献。また、速達性・高速性・定時性の向上により、救急医療活動や観光産業の活性化を支援。

●事業概要

《諸元等》

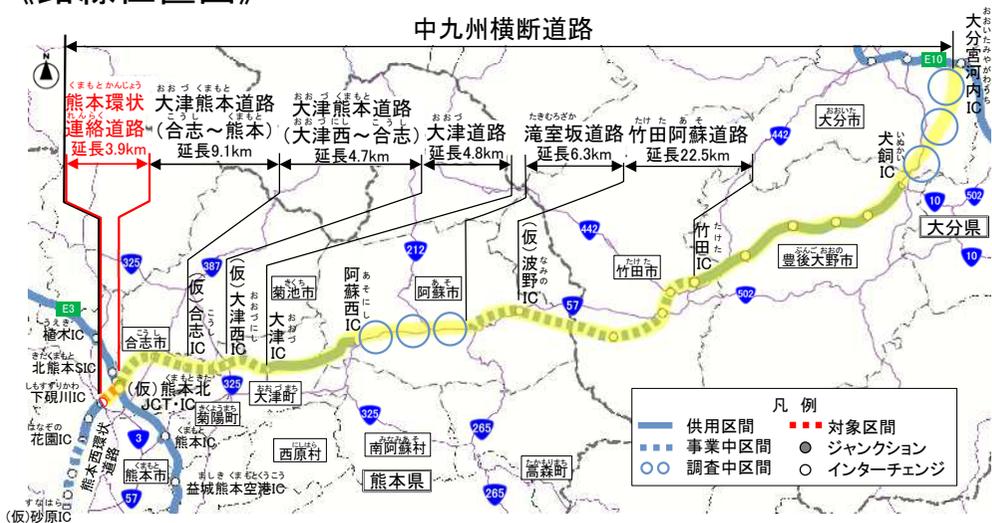
事業区間：熊本県合志市野々島
 ～熊本県熊本市北区下硯川町

延長：3.9km

全体事業費：920億円

計画交通量：約38,500台/日

《路線位置図》



●当該区間の課題と期待される効果

《整備効果》

- 第三次救急医療施設への搬送時間短縮により、地域で生活が営める環境を維持。
- 交通・物流拠点へのアクセス性向上により安定した物流網を構築。
- 観光施設への移動時間短縮により、周遊性の高い道路ネットワークを構築。



図6 半導体関連の製品・部品等の出荷ルート
 出典：九州半導体関連企業サプライチェーンマップ、経済産業省九州経済産業局(R4.3)、ヒアリング結果(R6.11)

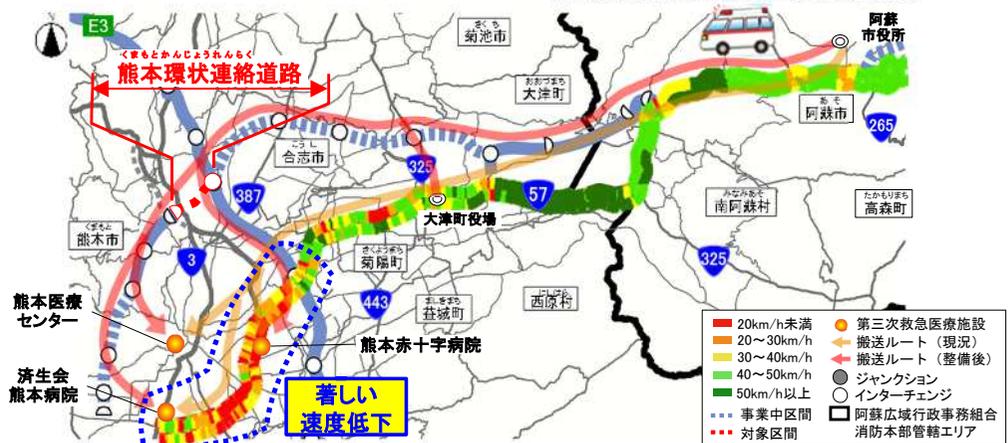


図3 第三次救急医療施設への搬送ルートと旅行速度(混雑時(朝ピーク))
 出典：ETC2.0フローデータ(R6.10.7～8時台)、ヒアリング結果(R6.11) ※出典：令和7年国土交通省関係予算概要

4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(1) 熊本都市圏エリアの対策の方向性

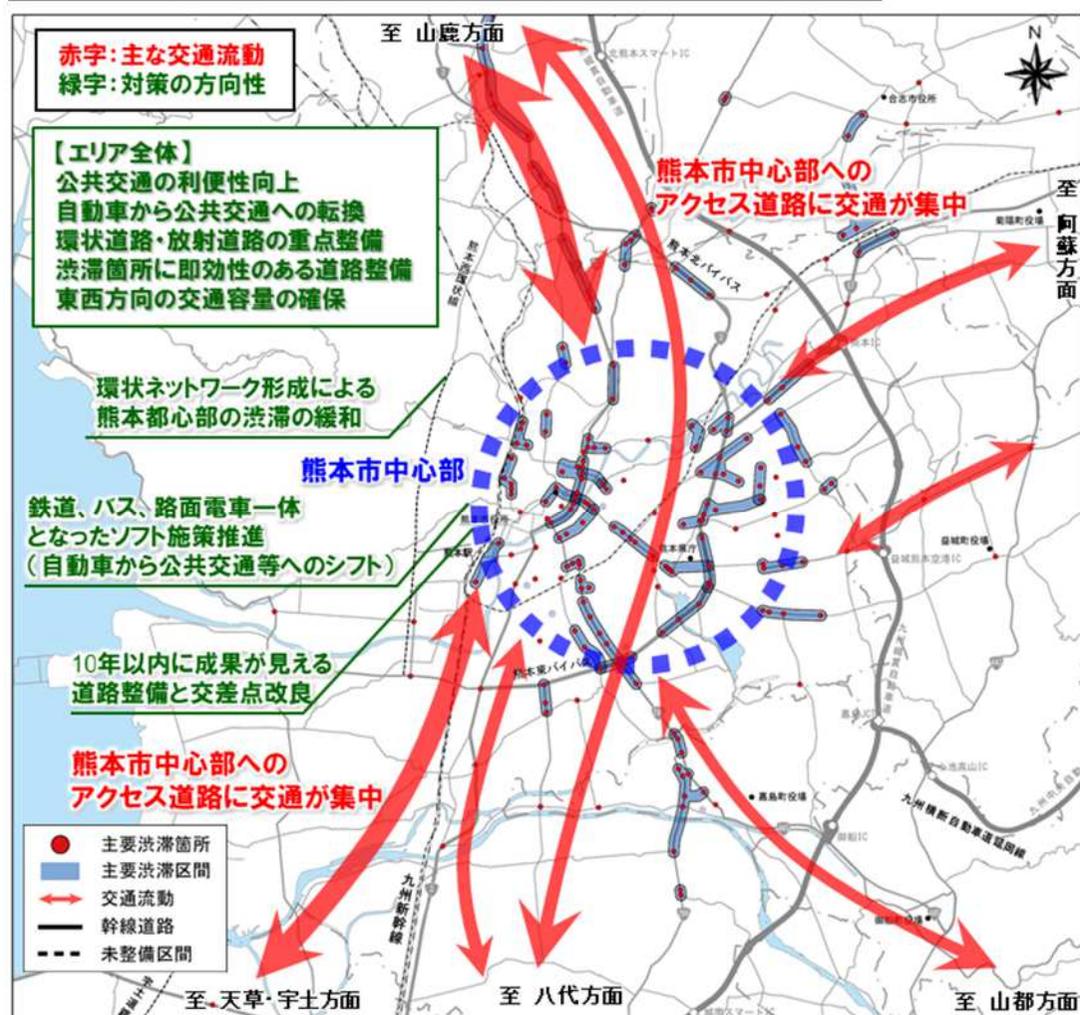
1. 熊本市の概況

	概要
市街地の状況	<ul style="list-style-type: none"> 熊本市街地は、県都・商都として都市機能が集積している。 南北軸を形成する九州縦貫自動車道、国道3号、JR鹿児島本線をはじめ、南北方向に交通網が発達。また、都心部では路面電車が整備されており沿線部を中心に市街地が形成されている。 現在整備中の九州横断自動車道延岡線や中九州横断道路等を活かしたさらなる交流圏域の拡大が期待されている。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 熊本市都心部の街路をはじめ、都心を縦貫する国道3号、市街地の東側外郭を環状型形成する国道57号に速度サービスの低下や渋滞が発生している。 都心部を中心に、放射道路となる国道266号や県道熊本益城大津線等は、周辺部から都心部へのアクセス道路となっており交通が集中している。

2. 現在の対策等

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 既存の公共交通の結節点強化、公共交通サービス改善、P&R等の機能強化を図り、公共交通の利便性の向上と自動車からの利用転換を目指す。 道路整備にあたっては、ITS技術の活用等により、自動車交通の円滑化を図る。 自転車を気軽に利用できる環境整備を目指す。 熊本西環状道路等の2環状11放射道路の重点整備をはじめ、都市圏各所で発生する渋滞箇所に対する即効性のある道路整備や交差点改良等の対策を実施する。 熊本市から阿蘇・熊本空港方面の東西方向の交通容量を確保する為の対策を進める。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 2環状(南北軸)11放射道路(都心アクセス軸)の重点整備等 熊本西環状道路、国道3号 植木バイパスの整備 概ね10年以内に成果がみえる道路整備(街路)((都)池田町花園線、(都)坪井龍田陳内線等)

3. 熊本市の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針

■植木バイパス、熊本西環状道路をはじめ、**2環状11放射道路等の整備**を進めるとともに、**公共交通の利便性の向上等**を図りつつ、熊本都市圏エリアWGにおいて「**ソフト・ハードの両面からの渋滞対策の検討**」や「**対策実施後の効果を検証**」してまいります。

4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(2) 熊本都市圏の新たな3つの高規格道路「10分・20分構想」

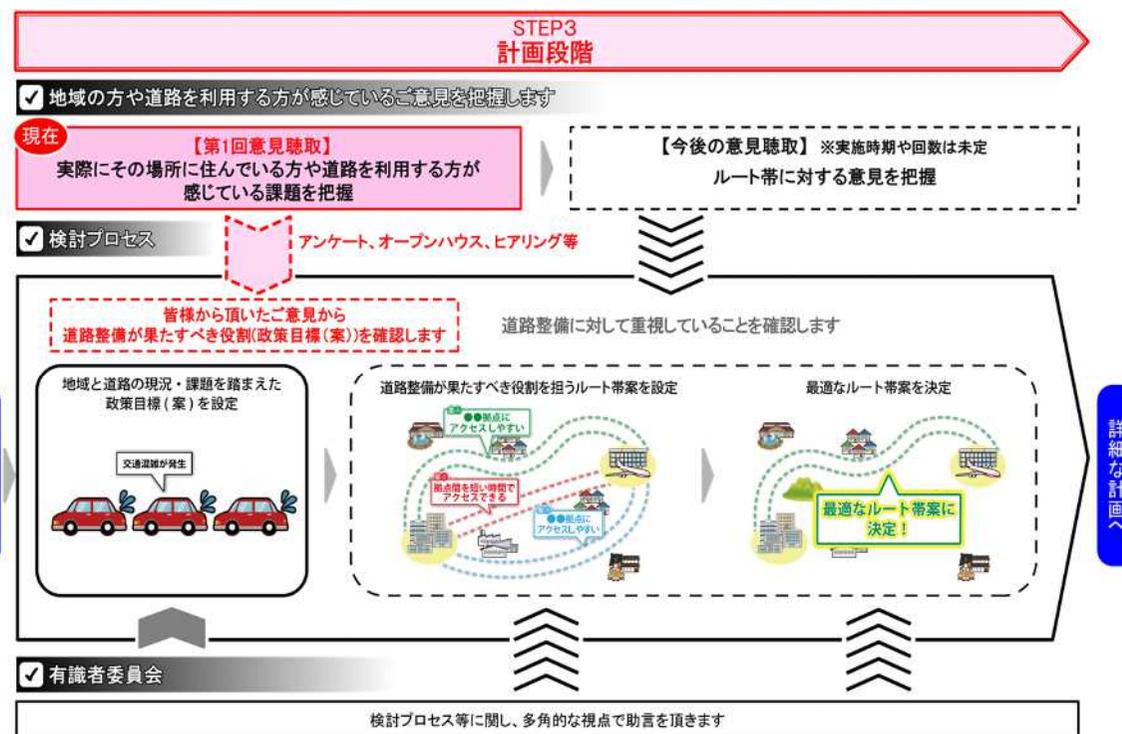
- 熊本都市圏においては、慢性的な交通渋滞により、熊本市中心部と九州縦貫道や阿蘇くまもと空港などの交通拠点のアクセス性が非常に悪く、住民生活や経済活動に深刻な影響を与えている。
- 熊本市中心部から高速道路インターチェンジまでを約10分、熊本空港までを約20分で結ぶ「10分・20分構想」を掲げ、新たな3つの高規格道路として「熊本都市圏北連絡道路」「熊本都市圏南連絡道路」「熊本空港連絡道路」を位置付けた。
- 令和5年11月30日に「第1回熊本都市圏3連絡道路有識者委員会」、令和7年3月25日に「第2回熊本都市圏3連絡道路有識者委員会」を開催し「住民参加型の道路計画検討」を進めている。
- 令和7年5月20日～8月31日で、住民・関係者の皆様へ地域や課題等に関して意見聴取を実施。

●熊本都市圏の新たな3つの高規格道路(熊本都市圏拡大版)



資料：令和5年度熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会資料を元に加工

●意見聴取から概略計画決定までの流れ



資料：熊本県HPを元に加工

4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(3) 事業中の対策【^{くまもと}熊本市 ^{くまもとにしかんじょう}熊本西環状道路 ^{いけのうえ}(池上工区)】

- 熊本西環状道路の池上工区は、熊本環状道路の西側約12km区間の一部を構成する道路であり、**令和7年10月19日(日)に開通予定**。
- 池上工区の整備により、**熊本市中心部の慢性的な交通渋滞を緩和**するとともに、熊本市西部地域の利便性向上、物流の効率化及び救急医療活動に伴うアクセス時間の短縮に期待。

●事業概要

《諸元等》

- 事業区間：^{くまもと}熊本県熊本市西区池上町～^{はなぞの}花園7丁目
- 延長：4.6km
- 全体事業費：313億円
- 計画交通量：23,600台/日(暫定2車線)

《路線位置図》



●当該区間の課題と期待される効果

《整備効果》

- 交通の転換による熊本市中心部の慢性的な交通渋滞の緩和
- 渋滞箇所の回避により、速達性や定時性が向上し、物流を効率化

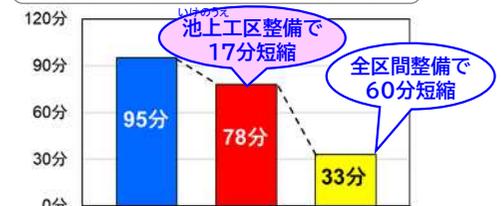


《現地状況写真》



▲写真① 国道3号渋滞状況

■道路整備により期待される所要時間
大津町(H社付近)→熊本港まで(片道)



資料：ETC2.0プローブデータ (R2.9~11) 混雑時旅行速度より算出(砂原四方奇線は設計速度)

4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(4) 継続的な公共交通・自転車の利用環境づくり(TDM施策):①バス・電車100円ウィーク (R6.2.5~2.11実施)

- 今後の効率的・効果的な施策展開を図るため、**一定期間の運賃を割り引く新たな実証実験「バス・電車100円ウィーク」**を令和6年2月5日~11日に実施。
- 利用回数は平時に比べ平日約1.1倍、休日約1.4倍の増加**。運賃の割引が公共交通の利用意欲の向上に繋がることが明らかとなったが、**料金面だけでなく、便数の増加など利便性の向上**を求める声も多い。

●取り組みの広報

バス・電車 100円ウィーク
令和6年 2/5月→2/11日祝

対象路線について
熊本市を一部でも通過する路線バス
熊本電鉄電車、熊本市電の全線
※ただし、以下の路線は対象外となります
●JR九州
●空港リムジンバス、熊本駅直行便(阿蘇くまもと空港→熊本駅前のみ)、阿蘇くまもと空港直行便
●県内快速バス(あまくさ号、たかもり号)
●県外高速・特急バス(ひのくに号、やまびこ号 など)

利用対象者について
熊本市民に限定しません

利用方法
●ICカード(IC定期、おでかけIC含む)については、通常時と同様にカードリーダーにタッチしてください
●現金・その他乗車券については、通常時と同様に整理券をお取りください(熊本市電・しろめぐりんについては整理券がありませんのでそのまま乗車ください)

実施内容
上記実施期間・対象路線において、**運賃を一律100円とするもの**
※運賃区分(小児・幼児・乳児・障がい者割引等)については、通常時と同様(例:小児運賃⇒大人運賃100円の半額50円)
※おでかけICカード①は一律10円、②は一律20円

参加事業者
九州産交バス、産交バス、熊本電気鉄道(バス・電車)、熊本バス、熊本都市バス、熊本市交通局

お問い合わせ ▶ 熊本市交通企画課 TEL 096-328-2510

●取り組みの結果概要

《公共交通の利用増加》



・100円ウィーク期間中の公共交通利用回数は、平時に比べ、**平日約1.1倍、休日約1.4倍**

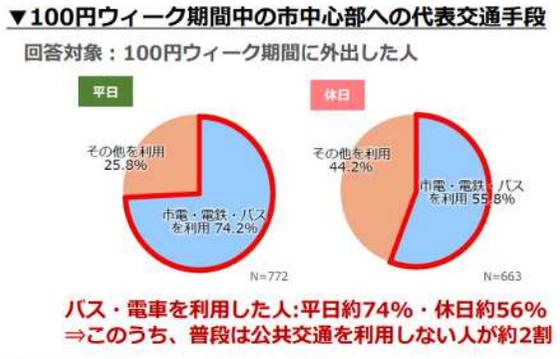
《利用定着状況》



・100円ウィーク前後の利用回数推移に着目すると、**事業実施時の増加は確認できるものの、前後であまり変化は見られなかった**

●アンケート結果(回答数:925件、調査期間:令和6年2月10日~3月31日、調査方法:熊本市HP及び各種SNS)

《利用者の移動交通手段》



バス・電車を利用した人:平日約74%・休日約56%
⇒このうち、普段は公共交通を利用しない人が約2割

・当日外出した人のうち、**バス・電車を利用した人は約6割**うち、**普段公共交通を利用しない人が約2割**

《公共交通の利用意欲》



・無料の日のアンケート結果と同様、**運賃の割引より便数の増加を挙げた人が最も多い**

※出典:自治体提供資料

4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(4) 継続的な公共交通・自転車の利用環境づくり(TDM施策):②バス・電車無料の日(R6.12.21実施)

- 公共交通利用促進とともに公共交通への転換による交通渋滞緩和に向けて、熊本市内の路線バス・熊本電鉄電車・熊本市電無料デーを令和6年12月21日に実施。
- 結果として公共交通利用者数は通常時の約1.5倍増。アンケートでは「便数の増加」や「定時性の向上」など多く挙げられており、当事業のような「運賃の割引」のみならず、運行サービスの向上が求められている。

●取り組みの広報

当日のおてかけは公共交通で!

バス・電車 無料の日

2024.12/21(土)

対象路線について

- 熊本連携中核都市圏を一部でも通過する全ての路線バス ※詳細は裏面
- 熊本電鉄電車、熊本市電の全線
- 一部のコミュニティ交通

ただし、以下の路線は対象外になります

- JR九州
- 南阿蘇鉄道
- 空港リムジンバス・熊本駅直行使・阿蘇くまもと空港直行使
- 快速バス(あまくさ号・たかもり号)
- 高速特急バス(ひのくに号・やまびこ号など)
- 路線バス「阿蘇火口線」

利用方法について

- バス・熊本電鉄電車
乗車時:整理券をお取りください。
降車時:整理券を指定の回収場所に
入れてください。
- 熊本市電・しろめぐりん
整理券がありませんのでそのまま
ご乗車ください。

熊本エリア限定
当日はチャリチャリ得得
キャンペーンも実施中!

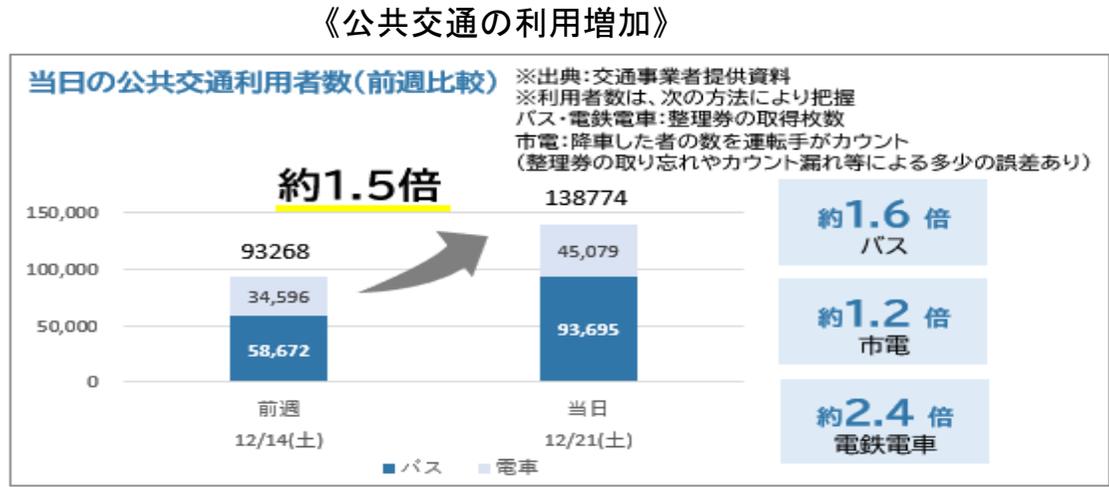
割引ライトチケットを
ゲットして街なかを
自由に巡ろう!

注意事項

- 当日はICカードをタッチしないでください。誤ってカードの金額を利用した場合や、現金を投入してしまった場合の返金対応はできません。
- 天候等の影響により、当事業は中止となる場合があります。

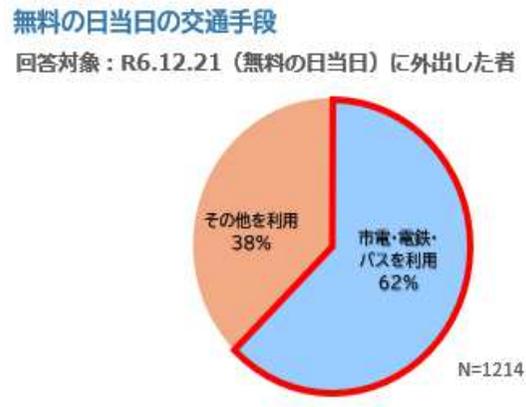
参加事業者:九州産交バス・産交バス・熊本電鉄(バス・電車)・熊本バス・熊本都市バス・熊本市交通局
主催:熊本市、五木市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、南阿蘇村、西原村、御船町、羅島町、益城町、甲佐町、山都町

●取り組みの結果概要

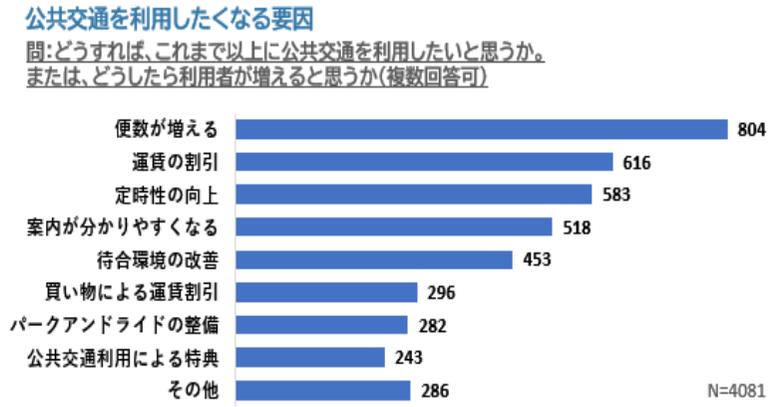


●アンケート結果(回答数:1588件、調査期間:令和6年12月21日～令和7年1月31日、調査方法:熊本市HP及び各種SNS)

《利用者の移動交通手段》



《公共交通の利用意欲》



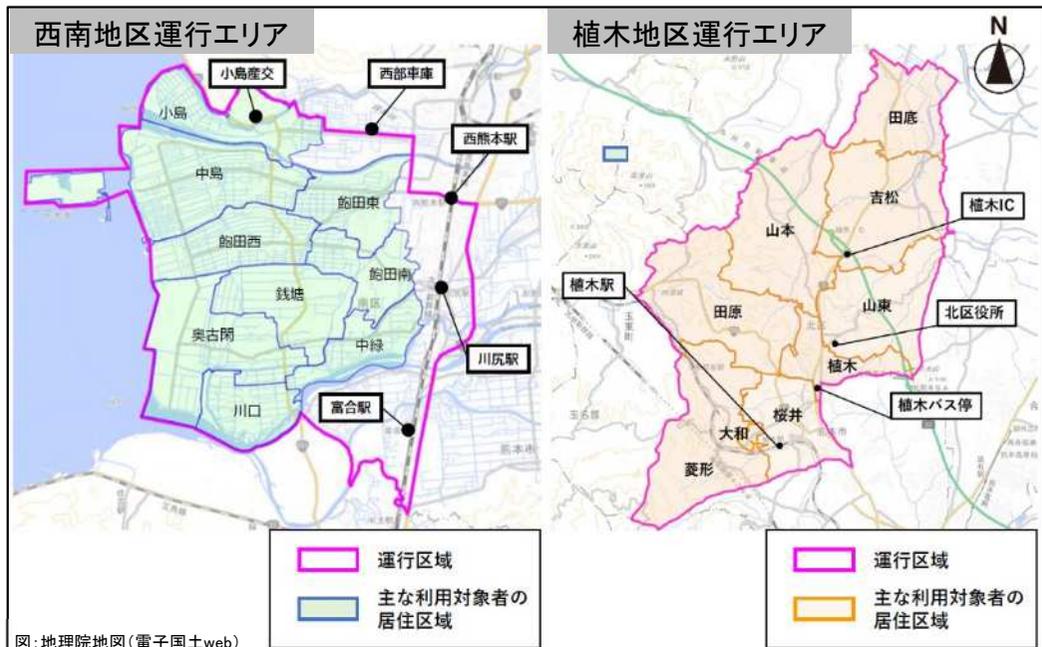
※出典:自治体提供資料

4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(4) 継続的な公共交通・自転車の利用環境づくり(TDM施策):③AIデマンドタクシー

- コミュニティ交通の利便性向上の取組として、令和6年7月1日より西南・植木の2地区において、新たな移動手段であるAIデマンドタクシーの本格運行を開始し、従来の乗合タクシーに比べ利用者が大幅に増加。
- 超高齢社会の本格化、路線バスの廃止・減便の深刻化により、コミュニティ交通の重要性が高まっており、引き続き適切なサービス水準に基づく持続可能なコミュニティ交通の実現に向けた取組を推進。

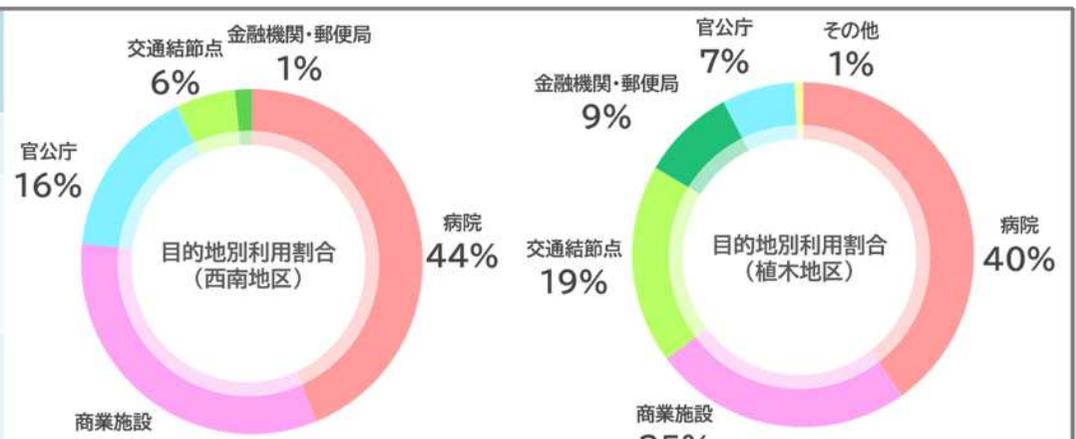
●本格運行の取組概要



AIデマンドタクシー運行概要	
運行時間	平日 7時～19時 土曜 9時～16時※日祝運休
停留所	住宅地 地域内の公民館やゴミステーション等
	目的地 運行エリア内のバス停、スーパー、病院等
予約方法	インターネット(24時間) 電話(平日:8時～16時、土曜:9時～16時) ※1週間前から予約可能
料金	大人:300円/日 小児・障がい者・高齢者・免許返納者:100円/日

R6年度 利用実績	西南地区 (チョイソクまもと西南)	植木地区 (チョイソクまもと植木)
運行期間	R6年7月1日～R7年3月31日(9ヶ月)	
利用件数	6,648件 乗合タクシー 671件 約10倍	7,147件 乗合タクシー 533件 約13倍
1日平均 利用件数	30.6件	32.9件

※従来の乗合タクシーはAIデマンドタクシー導入前の令和5年度(1年間)の実績



※出典:自治体提供資料

4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(4) 継続的な公共交通・自転車の利用環境づくり(TDM施策):④シェアサイクル事業

- 熊本市では快適な自転車利用環境に向けて、令和4年4月よりシェアサイクルの実証実験を開始。
令和6年4月より、シェアサイクルサービス「Charichari(チャリチャリ)」の本格運用を開始。
- 令和7年7月時点で自転車2000台、駐輪ポートは508箇所となり、**利用回数は実証実験開始時から22倍に増加した。**
- 今後も**エリア拡大と合わせて自転車の増車やポートの拡充**を行い、シェアサイクルの更なる利用促進を図る。

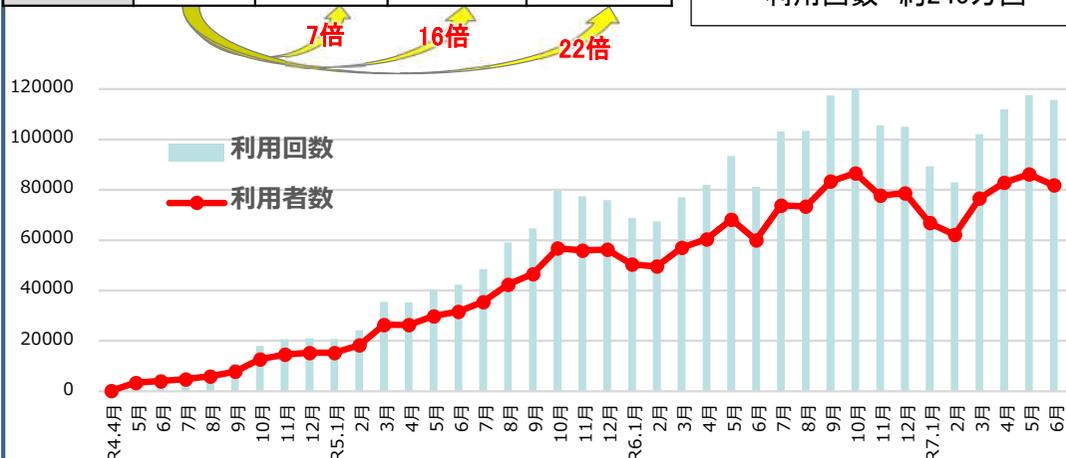
●取り組みの概要

1. 利用状況 (R4.4.28~R7.6.30)

平均	R4.5月	R5.4月	R6.4月	R7.4月
利用者数	110人	879人	2,013人	2,763人
利用回数	166回	1,174回	2,735回	3,734回

R7.6月末までの実績(1160日間)

- ✓ 利用者数 約179万人
- ✓ 利用回数 約245万回



2. 今後の展開

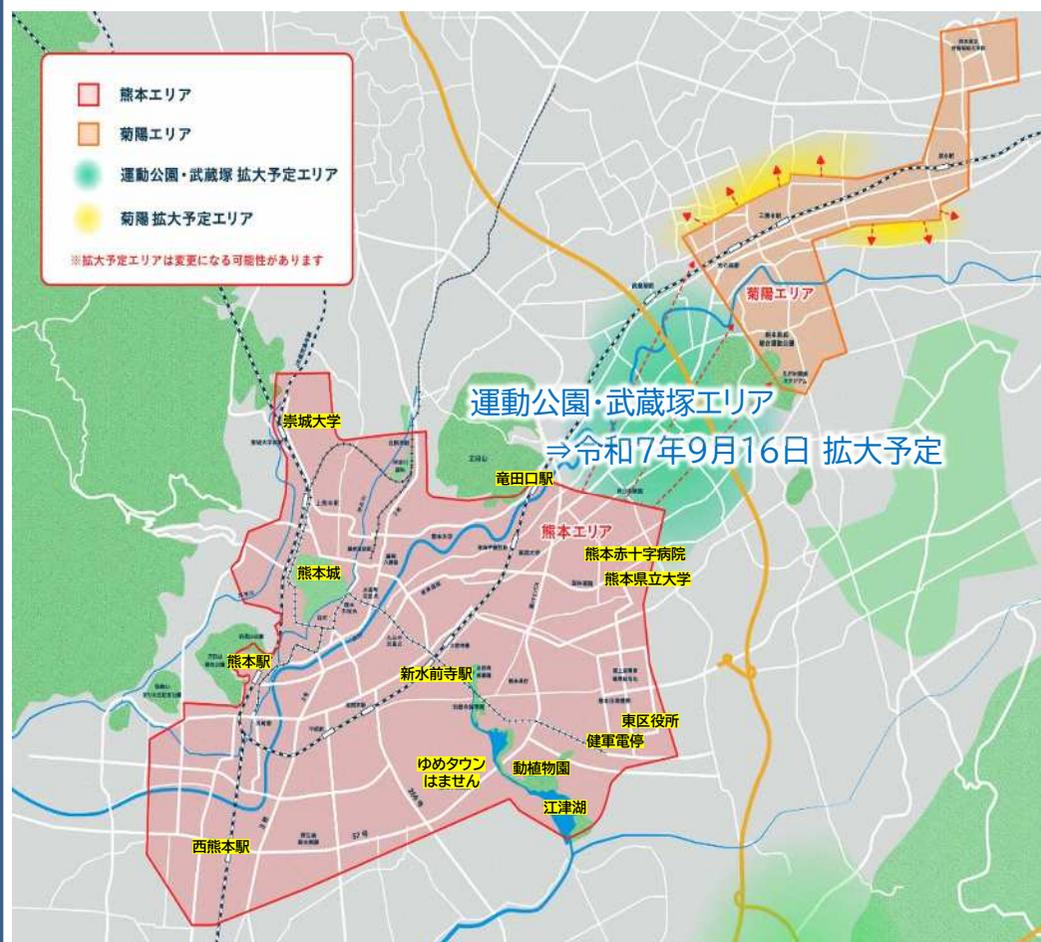
- ・令和7年5月に西熊本・はません方面にエリアを拡大し、令和7年9月16日には、運動公園・武蔵塚エリアへの拡大を予定
- ・自転車の増車やポートの拡充を行い、回遊性の向上や利便性の向上を図る。
- ・今後も、SNSを活用した広報を展開し、シェアサイクルのさらなる周知や利用促進を図る。



Charichari



3. 利用エリア



4. 熊本都市圏の対策方針と取り組み状況

(4) 継続的な公共交通・自転車の利用環境づくり(TDM施策):⑤ 渋滞なくそう！半額パス(R6.10-R7.2実施)

- 公共交通の利用促進・自動車抑制による渋滞解消を目的とした利便性向上策の実証実験として「渋滞なくそう！半額パス」の社会実験を令和6年10月から令和7年2月に実施。
- 実績としては 販売枚数は8034枚、利用者数は約66.7万人であった。自動車削減による推定される経済効果は約1.0億円、外出増により推定される経済効果は約1.8億円、合計 約2.8億円の経済効果があったと試算される。

● 取り組みの広報

実証実験 2024.10.01~2025.02.28

月数回乗れば元が取れる。
みんなが喜ぶサービスの実証実験を始めます！

渋滞なくそう！半額パス

県内路線バス + 電鉄電車 + 熊本市電

会員費 **2,500円** (税込)
通常運賃 **半額**
期間中ずっと

“渋滞なくそう！半額パス”3つのメリット

- 公共交通が半額
- 熊本県内全エリア利用可能
- 土日祝は(大人1名まで、小人は別格でも)さらに同伴の方も対象

お一人でも、家族でも、お得にお出かけ！

- 9時以降に出勤の方や、時差出勤を考えている方
- 休日に家族でおでかけしたり、お酒を楽しみたい方
- お買い物など普段の移動が9時以降の方

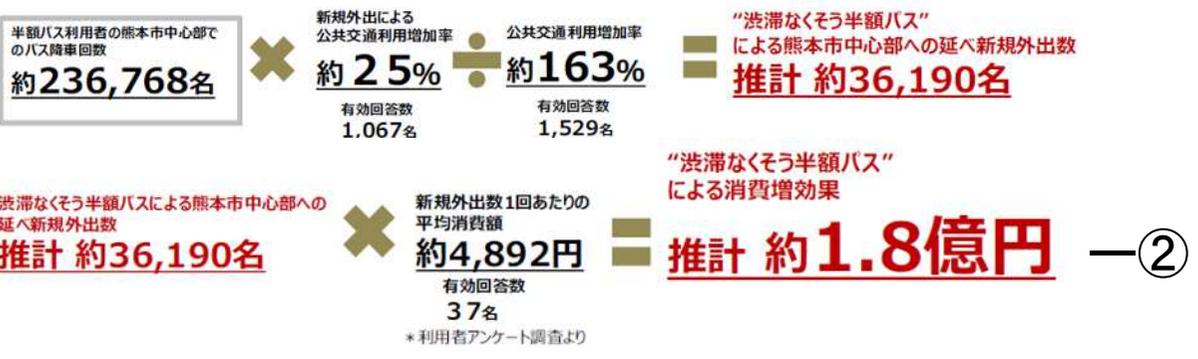
● 取り組みの結果概要

実績 ⇒ 販売枚数：8034枚、利用数：約66.7万人

《自動車削減により推定される経済効果》



《外出増により推定される経済効果》



(①+②) 経済効果はあわせて約2.8億円と試算される

※出典：自治体提供資料

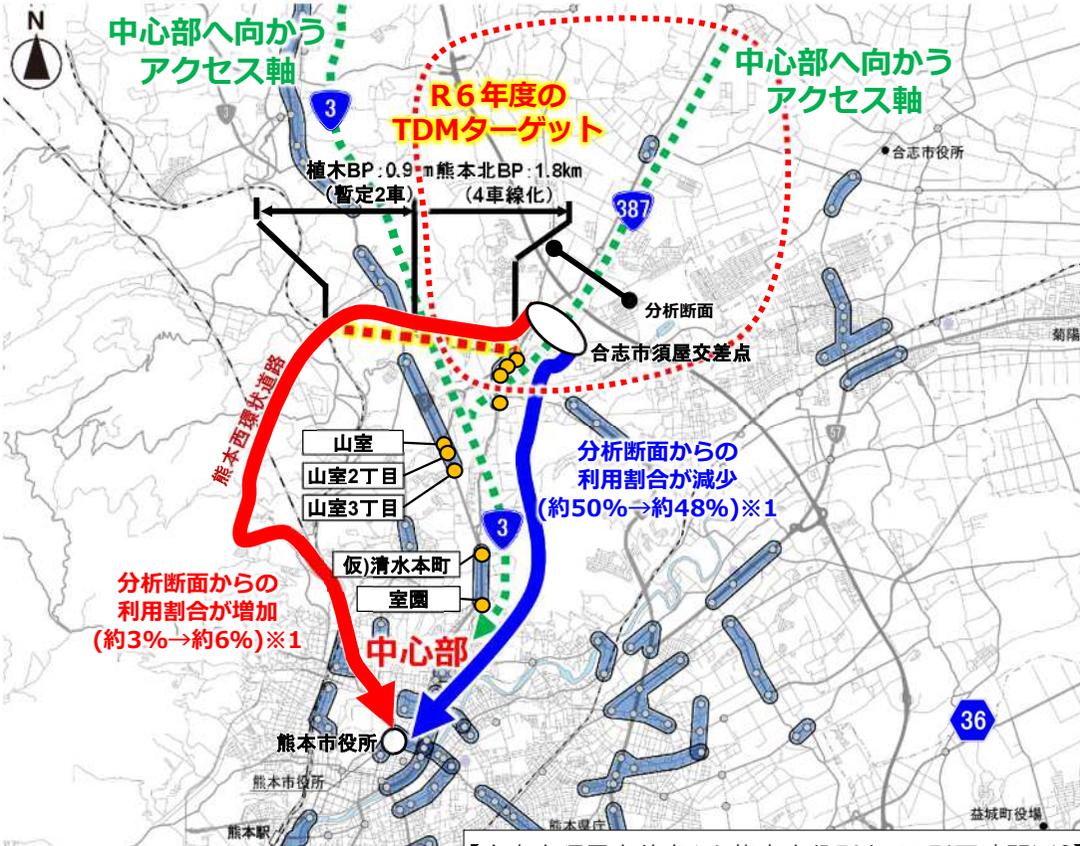
5. 熊本都市圏におけるTDM施策

(1) 令和6年度における施策概要

- 国道3号や国道387号を利用し熊本市中心部へ通勤している方を対象に「西環状道路への経路転換」と「時差出勤」の2手法を組み合わせた施策をR6年5月から展開。
- R6年5月17日に熊本河川国道事務所HPに動画等を公表し、その後周辺自治体のHPや広報紙により広報を実施。

● 植木BP・熊本北BP供用後における主要渋滞箇所の交通状況

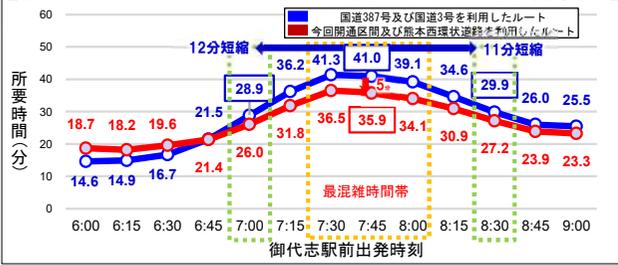
● 令和6年度に開始した取り組み内容



【ポスター】

取り組み周知内容(実施結果)	
①チラシ配布 ポスター設置	熊本河川国道事務所、熊本県庁、熊本市役所、合志市役所、菊池市役所、警察署、SA・PA、コンビニ
②SNS	X(熊本河川国道事務所・熊本市)、Facebook・LINE(熊本市)
③関係団体HP	熊本河川国道事務所、熊本県、熊本市、合志市、菊池市

【合志市須屋交差点から熊本市役所までの所要時間※2】

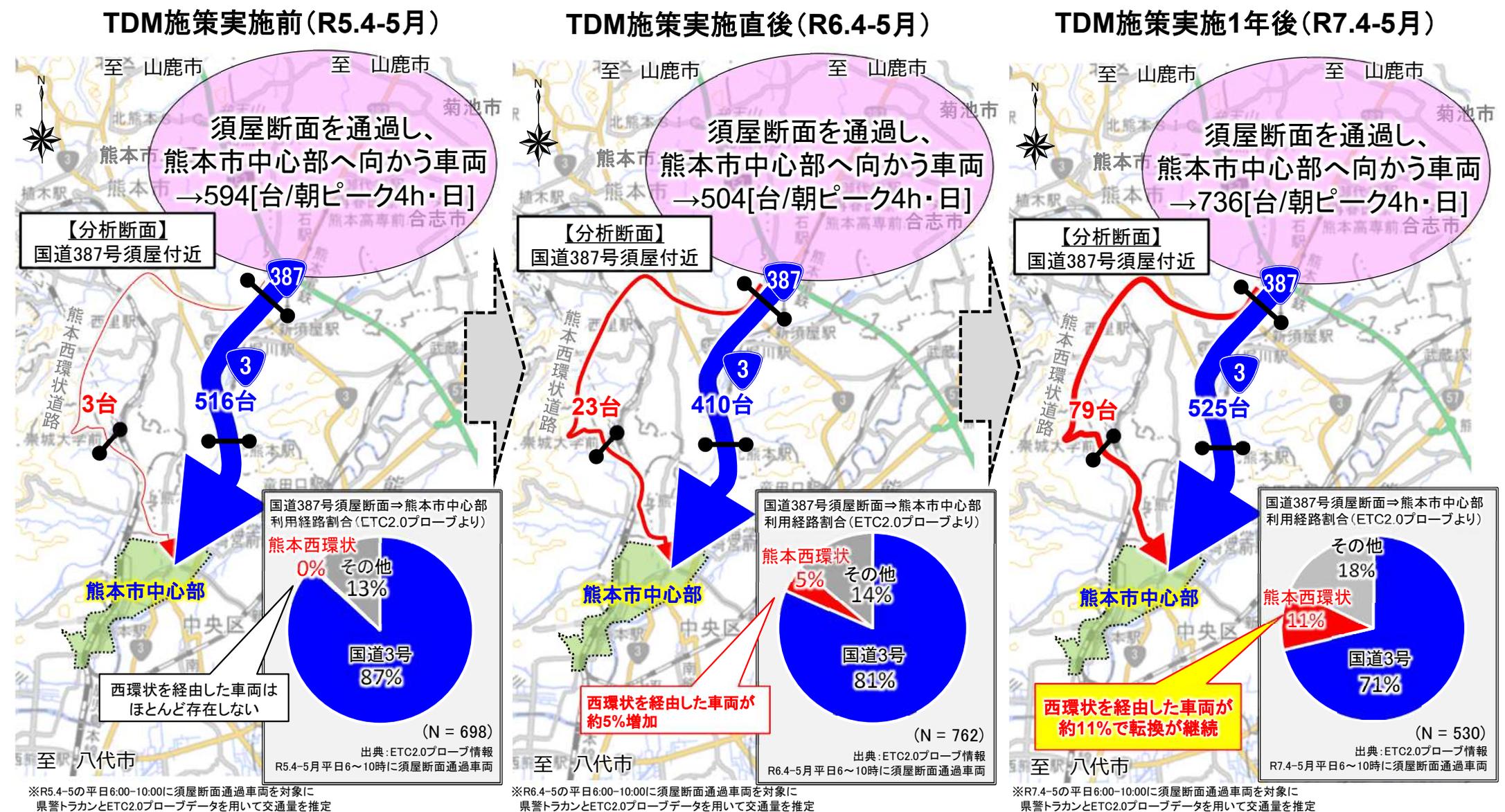


※1:ETC2.0フロー情報(供用前:R5.1.16-R5.2.3、供用後:R5.2.6-R5.2.24)
 ※2:ETC2.0フロー情報(R5.10月)

5. 熊本都市圏におけるTDM施策

(2) 経路転換施策の効果

- 須屋断面を通過し、熊本市中心部へ向かう車両について経路分析を行った結果、**TDM施策実施中の西環状道路を利用した車両は施策実施前よりも5%(約20台/4h)増加した。**
- また直近のR7.4-5月においても**西環状道路の利用割合が11%と経路転換の効果が継続**していると想定される。



※R5.4-5の平日6:00-10:00に須屋断面通過車両を対象に
県警トラカンとETC2.0プローブデータを用いて交通量を推定

※R6.4-5の平日6:00-10:00に須屋断面通過車両を対象に
県警トラカンとETC2.0プローブデータを用いて交通量を推定

※R7.4-5の平日6:00-10:00に須屋断面通過車両を対象に
県警トラカンとETC2.0プローブデータを用いて交通量を推定

下図:国土地理院地図(電子国土Web)。熊本市中心部とは、熊本市中心市街地活性化基本計画における中心地

5. 熊本都市圏におけるTDM施策

(3) 住民WEBアンケートによる効果分析(実施概要)

- TDM施策の効果について定性的に把握するために、周辺住民に対してWEBアンケート調査を実施した。
- 設問項目は、施策に対する認知、取り組み内容、勤務開始/自宅出発時間/変化、取り組みによる効果、属性等。

●実施概要

実施手法	Webモニター登録をしている一般住民 (登録モニター数が国内最多の楽天インサイト社で実施予定)
対象居住地域	熊本市北区、菊池市、合志市、大津町、菊陽町
目標回収数	54サンプル(施策を知っている人/知らない人で各27サンプル回収)
実施時期	令和7年3月6日(木)配信、3月10日(月)回収



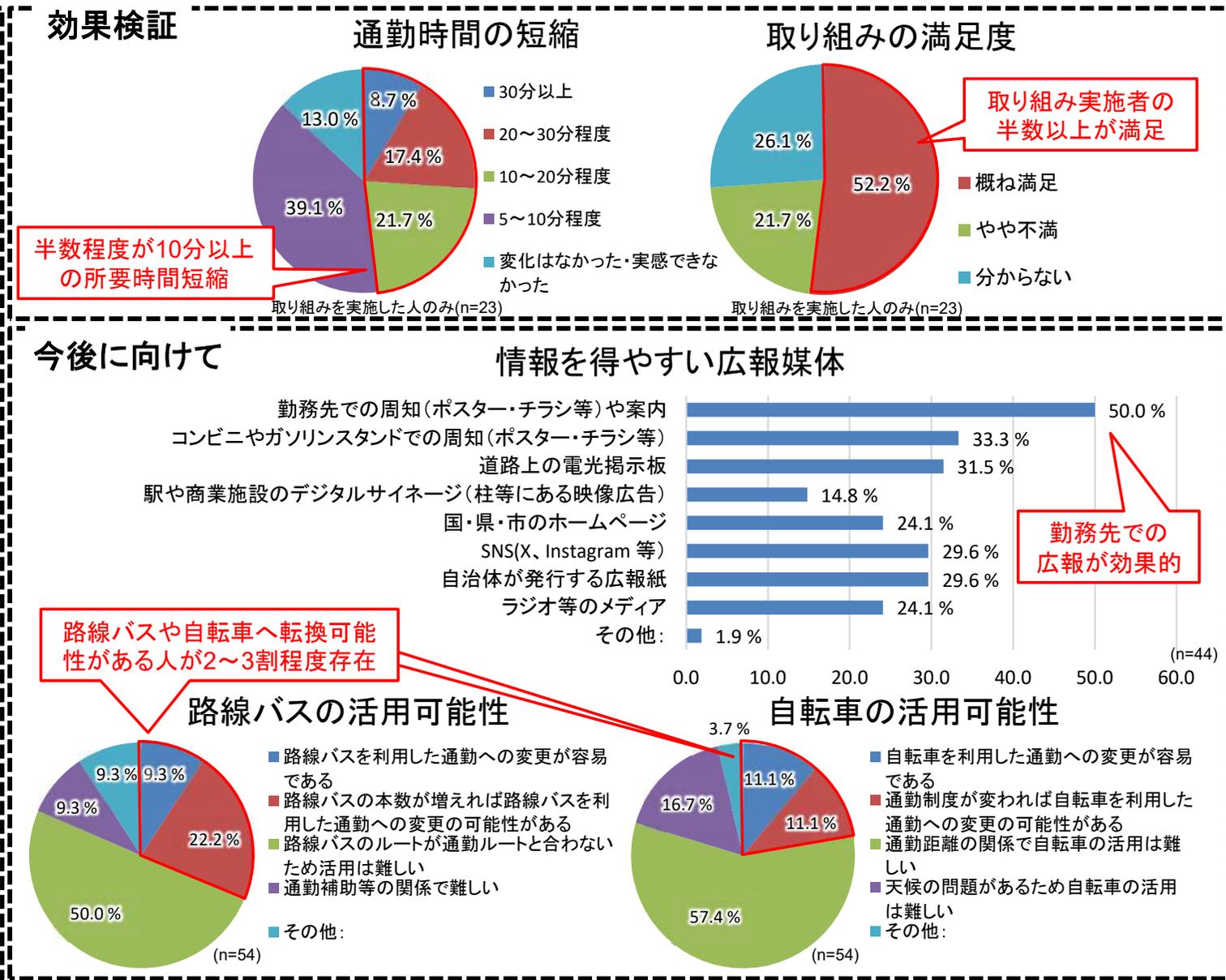
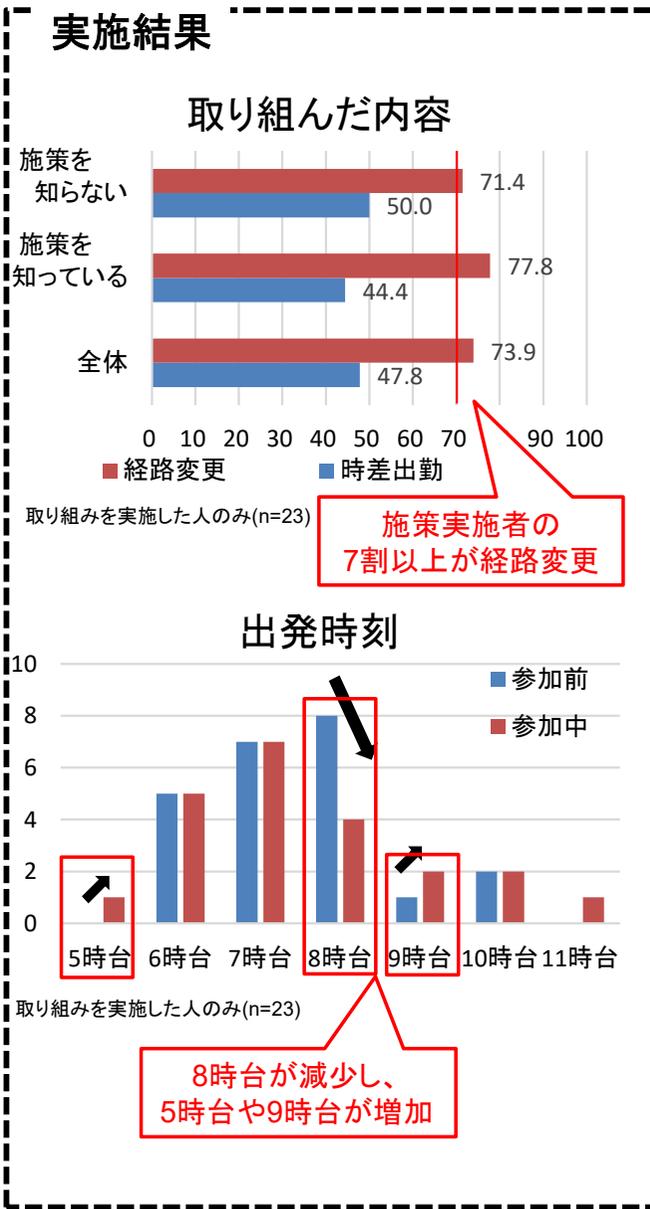
●設問項目

分類	設問	把握したい内容
基本属性	性別、年代、居住地	資料掲載用の属性
	自動車による通勤頻度	
施策に対する認知	取組みについて知っているか	
内容	取組みについて知った理由/取組み参加の動機/内容	伝わりやすい広報手段、取組みやすい内容
生活スタイル	取組み前後の勤務開始時刻/自宅出発時刻	生活スタイル等の変化
取組み効果	取組み前後の所要時間/生活のメリット/デメリット/満足度/今後の継続意思	取組みによる効果
参加しなかった理由	参加しなかった理由/どの仕組みがあれば参加するか	参加しない人からの意見を今後の施策に活用

5. 熊本都市圏におけるTDM施策

(3) 住民WEBアンケートによる効果分析(結果)

- 住民WEBアンケート調査の結果、施策に取り組んだ人の7割以上が経路変更に取り組み、出発時刻の幅が広がった。
- 取り組み実施者は、通勤に要する時間短縮の効果を実感しており、半数以上の人取り組みに満足している。
- 今後の施策展開に向けて、勤務先での周知や路線バス等の公共交通への転換が有効である。

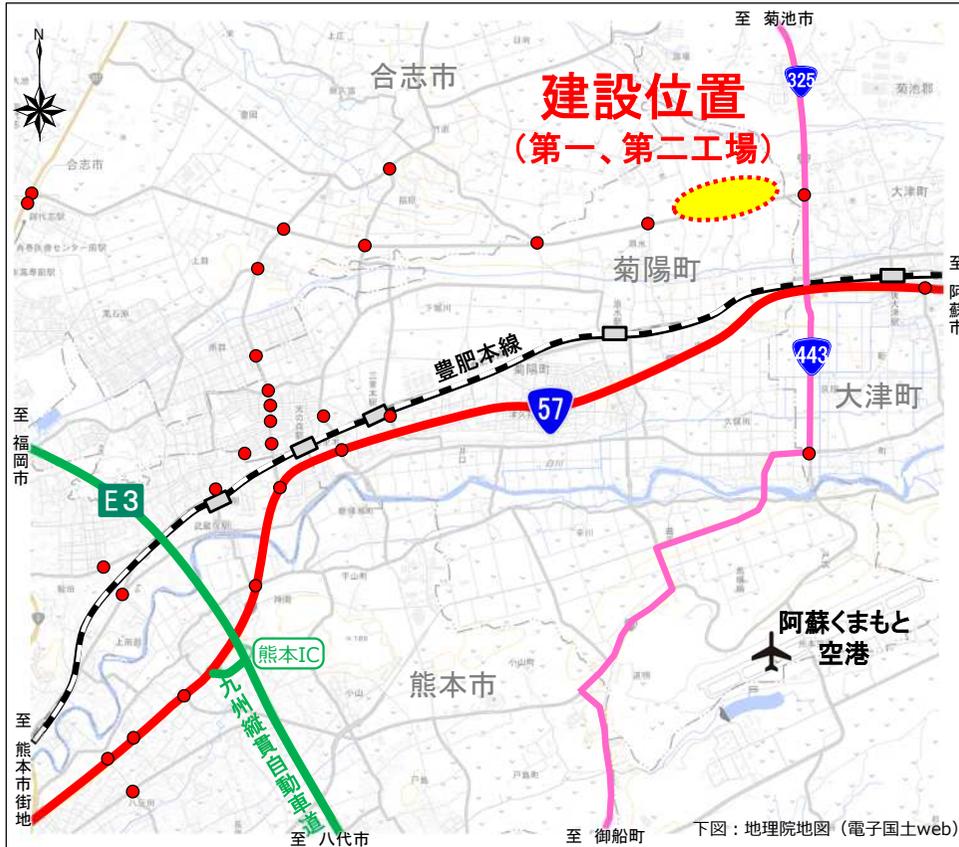


6. セミコンテックパーク周辺の渋滞対策 6-1. 半導体工場の進出

○半導体受託生産で世界シェアトップのTSMC社が熊本県菊陽町に半導体工場を建設。国内企業等が出資する、**子会社JASM(株)*が工場を建設し、令和6年12月までに操業開始した。**

○2つの工場への投資額を3.2兆円と仮定した上で、**半導体産業集積による熊本県への2030年まで10年間の経済波及効果は10.5兆円**と試算されている(九州経済調査協会より)。 ※正式名称:Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社

●JASM社工場の建設位置



- 【凡例】**
- : 主要渋滞箇所
 - : 高速道路
 - : 直轄国道
 - : 補助国道

●JASM社新工場概要



JASM社外観(事務局撮影)

	第1工場	第2工場
建設開始	2022年4月	2024年末まで
生産開始	2024年10~12月	2027年末
生産品目	12~28ナノメートルのロジック半導体	6~40ナノメートルのロジック半導体
敷地面積	21.3ha	32.1ha
月間生産能力(300 ^{sq} ウエハ換算)	計10万枚以上	
設備投資額	計200億米ドル超(日本円で約3兆円)	
雇用	約3,400人以上	
JASM株式保有割合	TSMC:約86.5%、ソニーグループ:約6% デンソー:約5.5%、トヨタ:約2%	
経済効果	半導体産業集積による熊本県への2030年までの10年間の経済波及効果は10.5兆円 ※九州経済調査協会の試算(2つの工場への投資額を3.2兆円と仮定)	

出典：熊本第2工場 年内着手 . 熊本日日新聞 2024-02-07, 朝刊, p. 1. 「経済効果10兆円」現実へ. 熊本日日新聞. 2024-02-07, 朝刊, p. 1.

6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-2. 道路の混雑状況

(1) 周辺道路の混雑状況 ① 平日朝(7時台)の速度低下及び向上区間

○周辺道路の速度低下状況をH28.4月(企業立地増加前)、H31.4月(コロナ前)及びJASM量産開始前後(R6.4とR7.4月)と比較した。
 ○セミコンテクノパークに向かう方向はJASM量産開始後も速度低下が発生。南方交差点周辺は交差点改良で速度向上したことを確認。



国道57号横断図(A-A'断面)	
対策前	歩道 路肩 本線 本線 中央帯 本線 本線 路肩 歩道 樹帯 ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 樹帯



国道57号(A-A'断面)	
対策後	歩道 路肩 本線 本線 中央帯 本線 本線 左折 路肩 歩道 樹帯 ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 樹帯

※矢印(←····)は1つ前の時期と比較して速度低下した箇所

【利用データ】ETC2.0プローブ情報 【分析期間】H28.4月・H31.4月・R6.4月・R7.4月 いずれも平日朝7時台

6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-2. 道路の混雑状況

(1) 周辺道路の混雑状況 ②平日夕方(18時台)の速度低下及び向上区間

○夕方は JASM量産開始後もセミコンテクノパーク周辺路線で速度低下を確認。
 ○町道南方大人足線では、南方交差点周辺は交差点改良により、熊本市方面に向かう方向で速度向上。

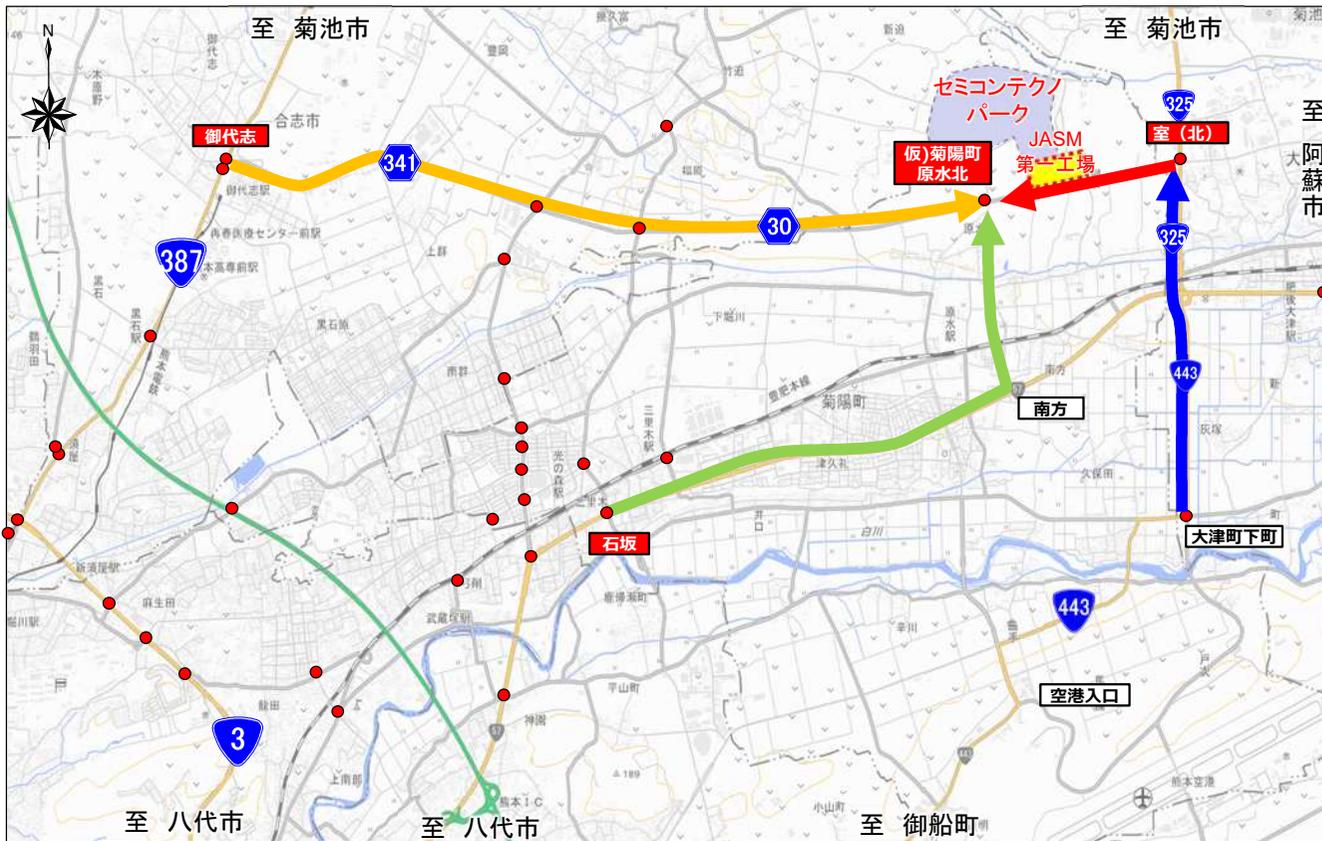


※矢印(←····)は1つ前の時期と比較して速度低下した箇所

6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-2. 道路の混雑状況

(1) 周辺道路の混雑状況 ③所要時間(朝ピーク時間帯)

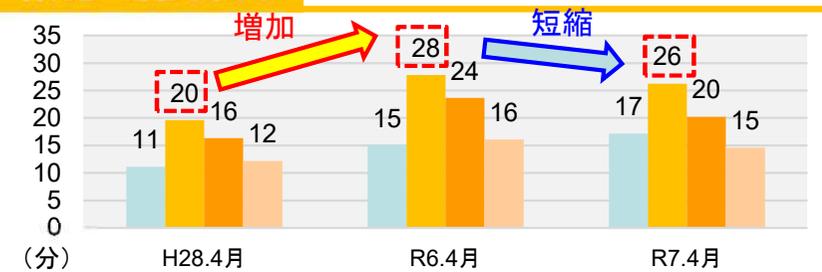
- 面的速度図にてH28年度以降に速度低下が発生している区間(県道341号及び県道30号、国道57号、国道443号)の所要時間変化を分析した。
- 御代志から菊陽町原水北に向かう県道341号及び30号では8時台の所要時間がR6年には28分まで増加したのち、R7年には26分へ短縮。
- 大津町下町から室(北)に向かう国道443号及び325号では、8時台の所要時間がR6年4月には19分まで増加したが、R7年には13分まで短縮。
- H28→R6の所要時間増加要因としては企業進出が考えられ、R6→R7の所要時間短縮については、周辺企業の時差出勤の効果が想定される。



下図: 地理院地図(電子国土web)



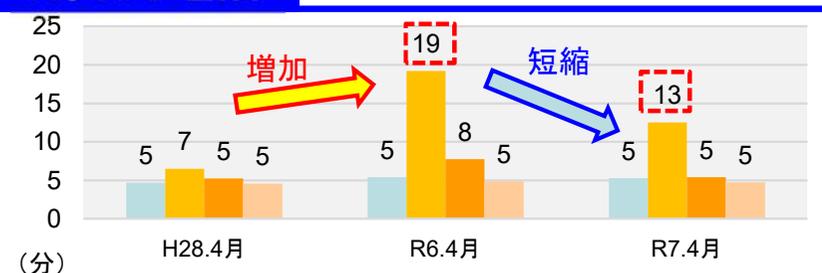
御代志⇒菊陽町原水北 > 7・8時台ではR6年度悪化⇒R7年度短縮



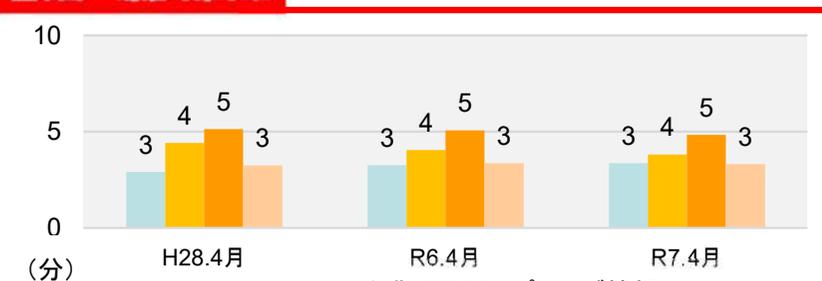
石坂⇒菊陽町原水北 > 7・8時台の所要時間が徐々に増加



大津町下町⇒室(北) > 7・8時台ではR6年度悪化⇒R7年度短縮



室(北)⇒菊陽町原水北 > 経年ではあまり変化がない

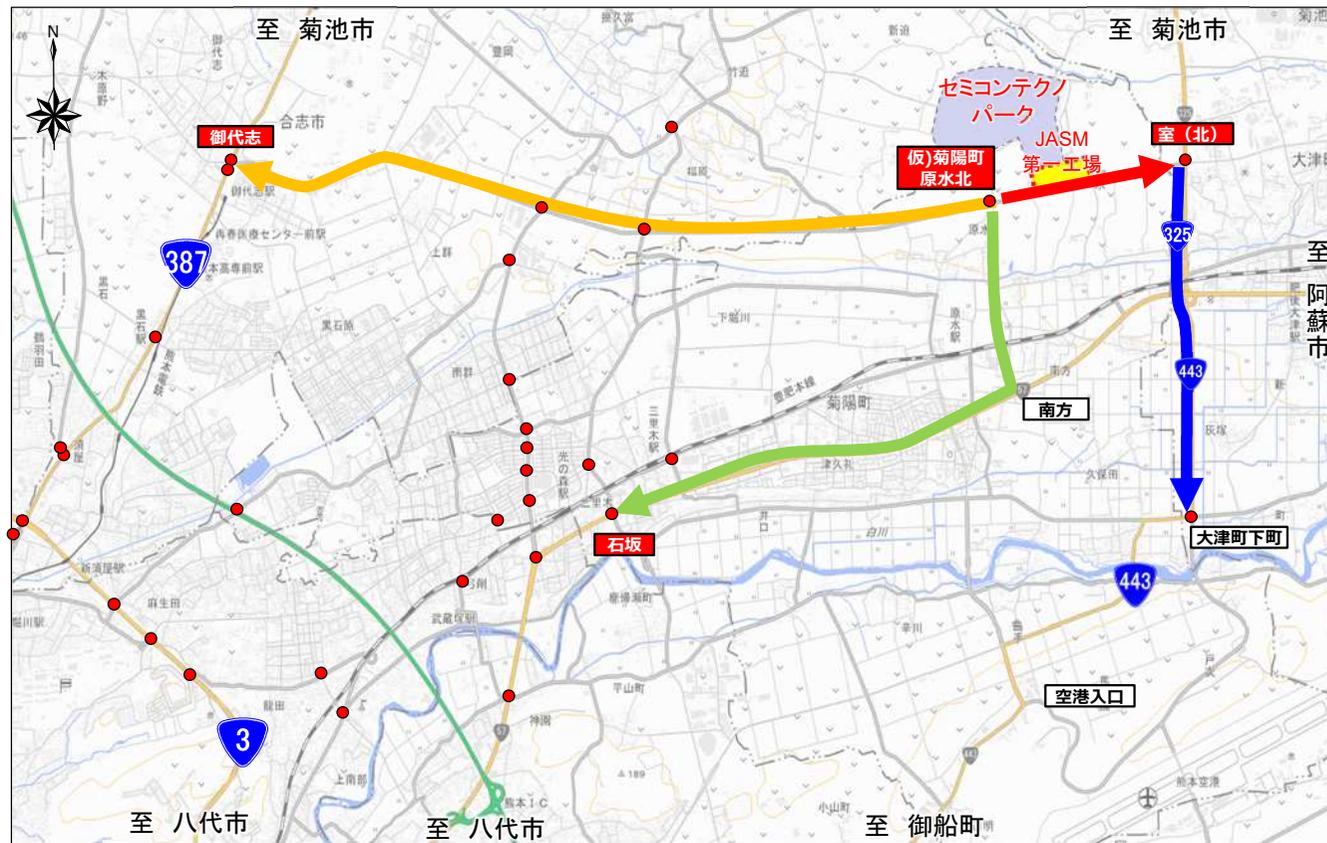


出典: ETC2.0プローブ情報
(各年4月の平日6~9時台の平均旅行速度)

6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-2. 道路の混雑状況

(1) 周辺道路の混雑状況 ④所要時間(タピーク時間帯)

- 菊陽町原水北交差点から室(北)や石坂に向かうルートでは17時台や18時台で徐々に所要時間が増加している。
- 菊陽町原水北から石坂に向かう町道や国道57号では、17時台の所要時間がR6年4月には19分まで増加し、その後も横ばい。

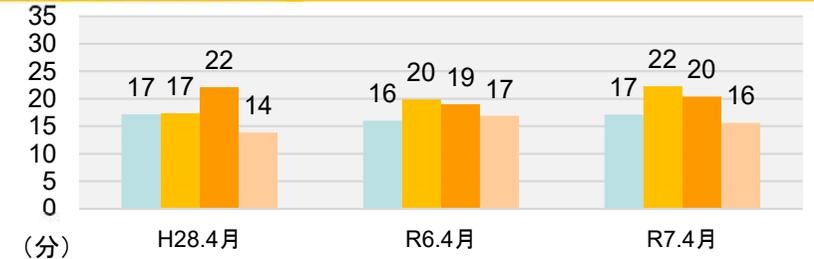


下図: 地理院地図(電子国土web)

凡例



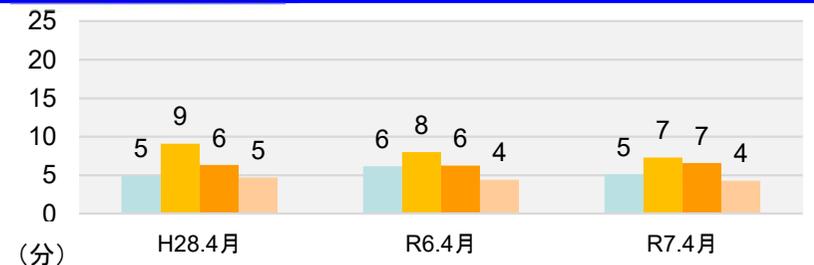
菊陽町原水北⇒御代志 > 概ね20分程度で移動できる。



菊陽町原水北⇒石坂 > 17・18時台の所要時間が徐々に増加



室(北)⇒大津町下町 > 概ね10分程度で移動できる。



菊陽町原水北⇒室(北) > 17・18時台の所要時間が徐々に増加



出典: ETC2.0プローブ情報
(各年4月の平日16~19時台の平均旅行速度)

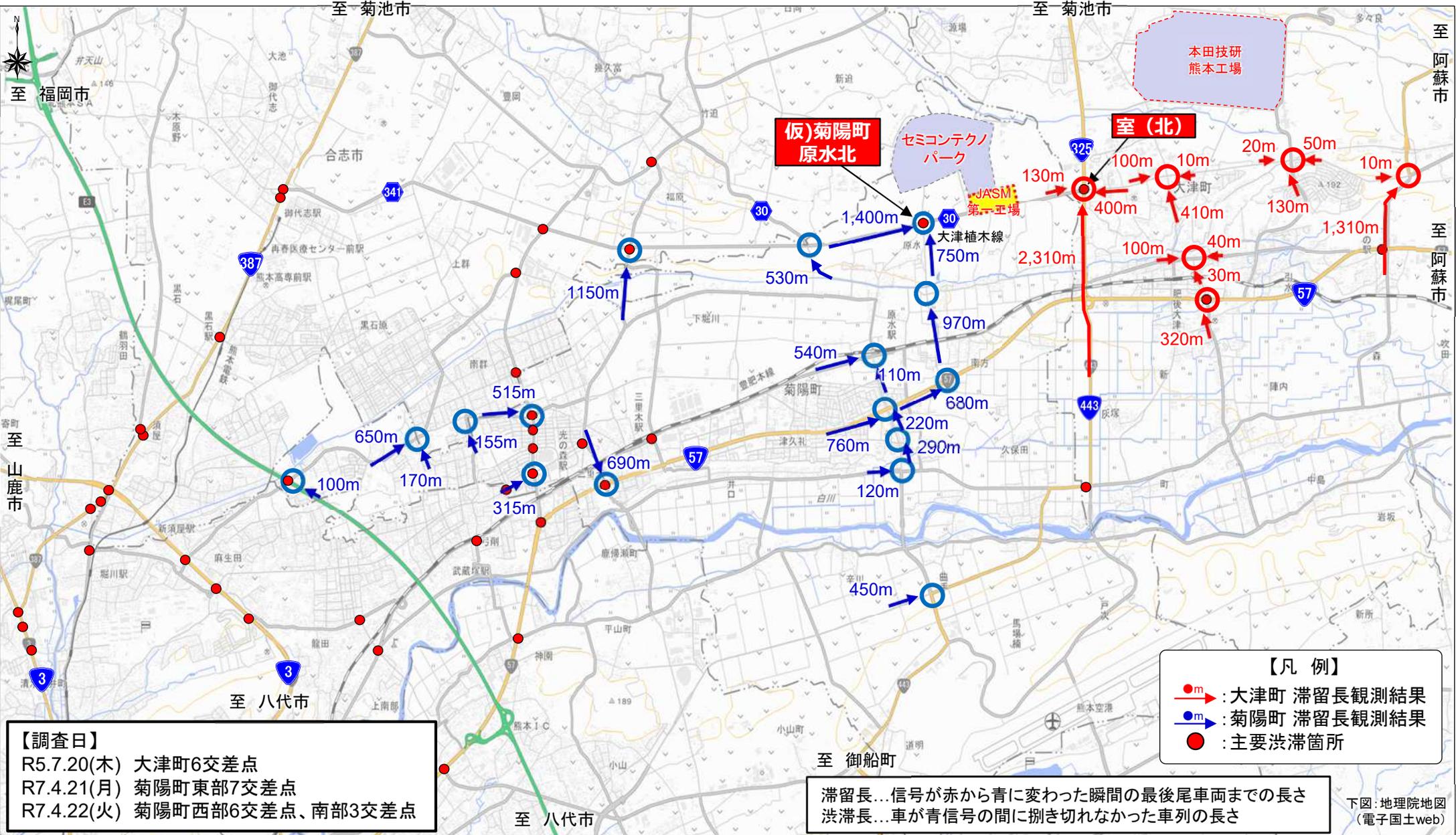
(2) セミコンテクノパーク周辺における近年の交通状況調査箇所 ①交通状況調査箇所一覧

【国】交通量調査:6交差点(大津植木線、南方大人足線、竹迫・第二テクノ線、福原原水線) R7.2月実施
 【菊陽町】滞留長調査:朝20箇所、夕22箇所 R7.4月21日~22日
 【大津町】交通量・渋滞長調査:5箇所、交通量調査:4箇所、渋滞長・滞留長調査2箇所、R5.7月実施



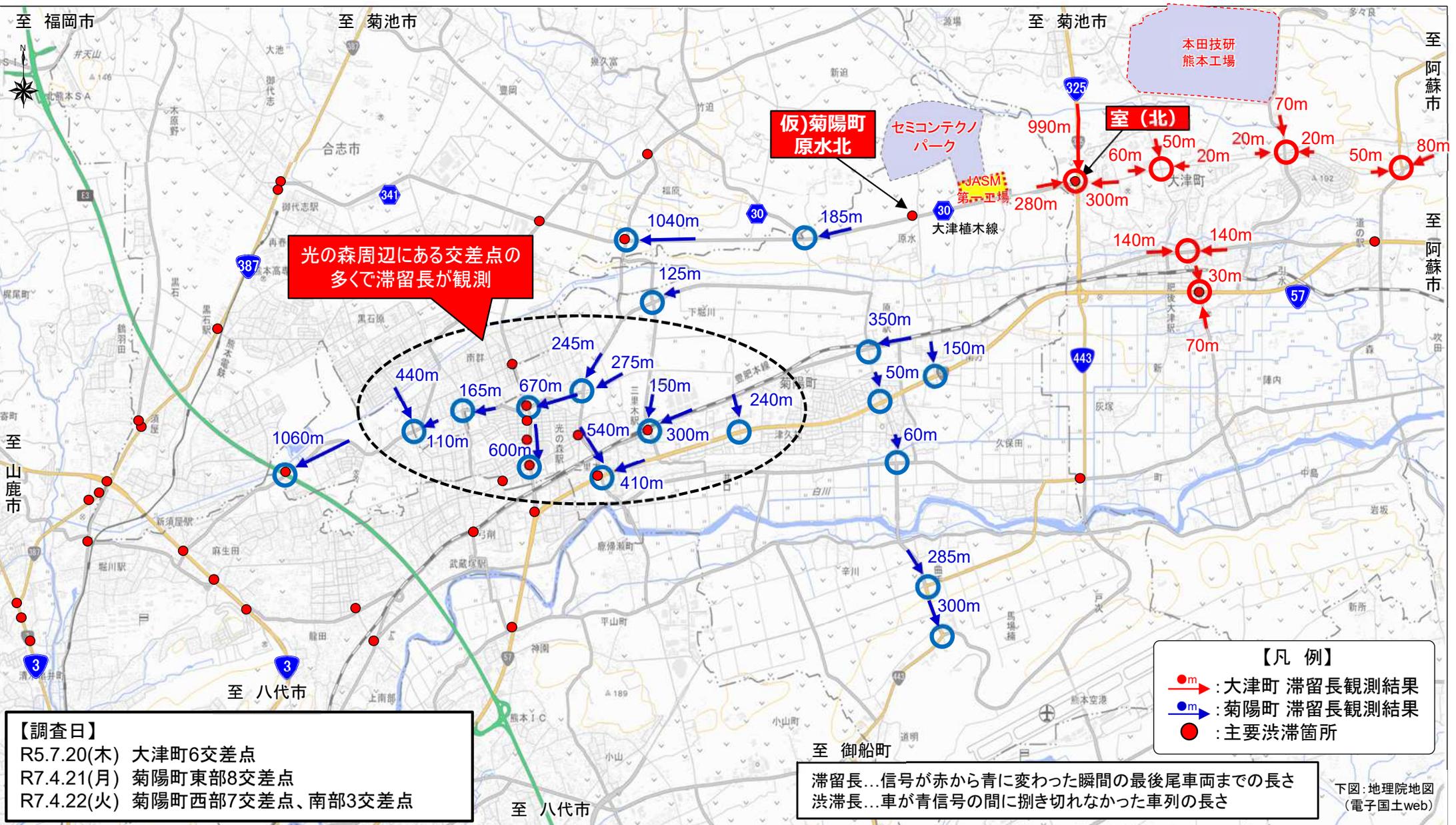
(2) セミコンテクノパーク周辺交通状況調査結果 ②交通状況調査結果(朝ピーク時の滞留長)

○朝ピーク時の交通状況を確認するとセミコンテクノパークに向かう方向で長い滞留が発生。
 ○特に県道30号大津植木線の仮)菊陽町原水北交差点や国道325号室(北)交差点では滞留長が1,000mを超えている。



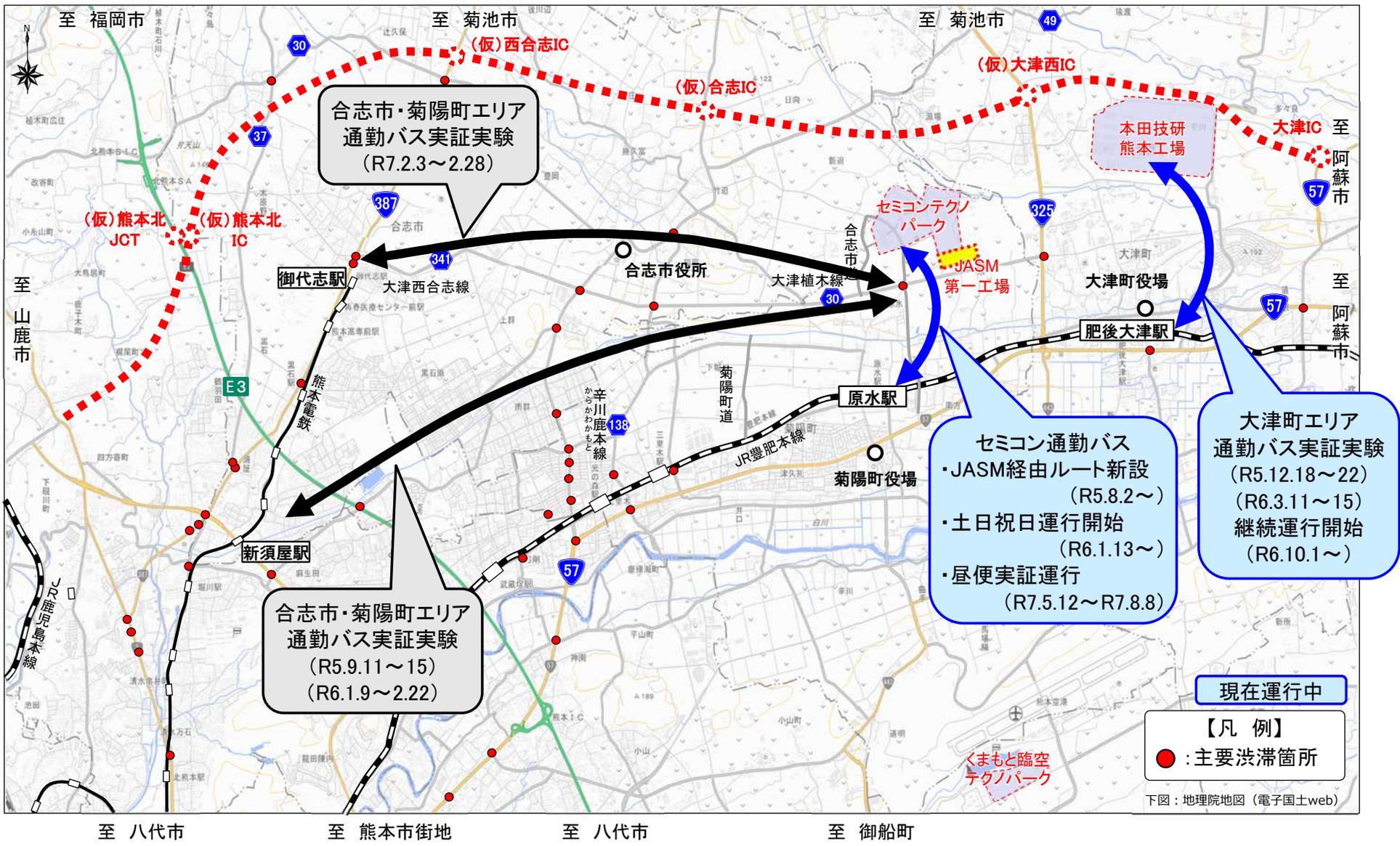
(2) セミコンテクノパーク周辺交通状況調査結果 ②交通状況調査結果(夕ピーク時の滞留長)

○夕ピーク時の交通状況を確認するとセミコンテクノパーク周辺では朝ピーク時同様、国道325号室(北)交差点では滞留長が約1,000m観測されているほか、光の森周辺にある交差点の多くで滞留長が観測されている。



(1) ソフト施策の取り組み状況一覧

○セミコンテクノパーク周辺のソフト施策としては平成27年度からセミコン通勤バス運行が原水駅発着で運行されており、令和5年度には通勤バスの実証実験が新たに2路線で行われるなど、混雑緩和に向けた取り組みが進んでいる。
 ○現在はセミコン通勤バスの他、大津町エリアの通勤バスが昨年10月から継続運行している。



(2) ソフト施策の取り組み状況 【①セミコン通勤バス(菊陽町)】

表 セミコン通勤バスの利用状況(平成27年度以降の利用実績)

	運行期間	運行日数	利用者数(延べ)		運行内容(増便の経過)
			総数	1日平均	
平成27年度	7月~3月	181日	16,235人	90人	朝4便・夕8便
平成28年度	1年間	249日	36,530人	147人	朝5便・夕8便
平成29年度	1年間	244日	83,302人	341人	7月:朝5便→7便
平成30年度	1年間	243日	116,988人	481人	6月:朝7便→8便
令和元年度	1年間	244日	132,277人	542人	朝8便・夕8便
令和2年度	1年間	244日	82,515人	338人	朝8便・夕8便
令和3年度	1年間	246日	107,968人	439人	朝8便・夕8便
令和4年度	1年間	248日	166,536人	672人	6月:朝8便→11便、9月:夕8便→10便 2月:朝11便→12便
令和5年度 (平日のみ)	1年間	244日	266,488人	1,092人	7月:朝12便→13便、夕10便→11便 8月:朝13便→19便、夕11便→16便 10月:朝19便→21便、夕16便→17便 1月:土日祝日運行開始(朝3便、夕3便)
令和6年度 (平日のみ)	1年間	241日	334,801人	1,389人	4/1~臨時便を朝夕各3便増便 ※以後利用者減に応じて臨時便を減便 8/1 朝24便・夕20便 計44便 3/17 朝26便・夕20便 計46便

(人/日)

表 利用者数の推移(1日平均)



6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-3. ソフト施策の取り組みについて

(2) ソフト施策の取り組み状況【②通勤バス実証実験(熊本県)】

- 通勤バス実証実験は、第1弾(R5.9.11～9.15:無償)と第2弾(R6.1.9～2.22:有償)の2段階で実施。
- 熊本県、セミコンテクノパーク企業(セミコン協議会)、関係市町(合志市、菊陽町)、バス事業者で構成する関係者連絡会議を開催し、運行サービスや利用促進等の検討を進めながら実証を実施。

▼通勤バス実証実験 実施スケジュール(R5年度)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実証事業		第1弾(無償)				第2弾(有償)		
運行内容等の検討	●	●	●	●	●	●	●	●
効果検証		●					●	
関係者連絡会議	●		●	●●	●	●		●

▼通勤バス実証実験 周知・利用促進等の活動実績

チラシ (企業内メールで配信)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1弾：事前告知、運行内容 ・第2弾：事前告知、運行内容 ・LINEともだち登録募集 ・利用促進強化キャンペーン
LINE公式アカウント	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信(運行内容、利用方法、利用実績など)：計24回、ともだち登録数318名
公式マスコット	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数に応じて成長するキャラクターを作成 ・利用者からネーミングを募集して“ばすっち”と命名
サイクル&ライド	<ul style="list-style-type: none"> ・第2弾で実施。沿線施設5施設が参画。
利用促進強化キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> ・第2弾(2/8～9、2/16～22)で実施。 ・利用者にパンやスコーン、クッキーとドリップコーヒーを配布。

▼通勤バス実証実験 関係者連絡会議 開催実績

日程	議題
第1回 (8月22日)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1弾実施に向けた準備の進捗状況 ・路線バスで運行した場合の費用積算の進捗・考え方
第1弾実証運行(R5.9.11～R5.9.15)	
第2回 (10月12日)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1弾実施結果報告、継続運行に向けた検討
第3回 (11月7日)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続運行に向けた検討 ・第2弾実施方針について
第4回 (11月30日)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2弾実施内容の決定
第5回 (12月13日)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2弾実施に向けた準備の進捗状況
第2弾実証運行(R6.1.9～R6.2.22)	
第6回 (1月31日)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2弾実施状況中間報告 ・利用促進追加策について
第7回 (3月19日)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2弾実施結果報告

(2) ソフト施策の取り組み状況【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※運行概要

- 大津町はセミコンテクノパークの西側エリアを中心として、従前から通勤時間帯の交通渋滞が慢性化。
- 更に、JASMをはじめとする半導体関連企業の集積によって更なる混雑が懸念されることから、時間のかかるハード対策のみならず、短期的な対策が急務であり通勤バス実験を開始。

背景・課題

- ①セミコンテクノパーク周辺の菊池南部地域は、従前から通勤時間帯の交通渋滞が慢性化
- ②TSMCをはじめとする半導体関連企業の集積が続くことが予想され、更なる混雑が懸念される
- ③様々なハード対策が発表されているが実現には時間を要するため、短期的な対策が急務

短期的取組: 通勤手段の選択を新たに確保
『従業員向けの通勤バスの運行』

目的

- 主に本田技研工業熊本製作所の従業員(約4,000名)を中心に、その周辺の企業従業員をターゲットとした通勤バスの運行可能性について調査研究
- 利用者数や運行体制等を検討し、継続した通勤バスの運行可能性など、次年度実施する実証運行のために必要な情報を明らかにする

(2) ソフト施策の取り組み状況 【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※運行概要

○大津町渋滞対策プロジェクトチームが主体となり、2回の実証実験を経て10月から継続的に通勤バスを運行中。

《これまでの実証実験》

- 第1弾：令和5年12月18日(月)～12月22日(金) 平日5日間 ※発着場所：肥後大津駅 南口 ※運賃無料
 延利用者：1,589人 ◆平均利用者：朝便 163人・夕便 155人 (1日あたり318人)
- 第2弾：令和6年3月11日(月)～3月15日(金) 平日5日間 ※発着場所：肥後大津駅 北口 ※運賃無料
 延利用者：854人 ◆平均利用者：朝便 91人・夕便 80人 (1日あたり171人)

《継続的運行概要》

- 【実施期間】令和6年10月1日(水)～当面3年間
- 【対象】本田技研工業(株)を主軸とした周辺企業の従業員のうち、主にJR豊肥本線沿線に居住の在住者
- 【設定ルート】肥後大津駅北口～本田技研工業(株)熊本製作所構内
 ※本田技研工業(株)敷地内に停留所3箇所を新規に設置
- 【運賃】180円～250円
- 【財源】令和6年度共創MaaSプロジェクト事業活用(国土交通省)



出典：国土地理院ウェブサイト

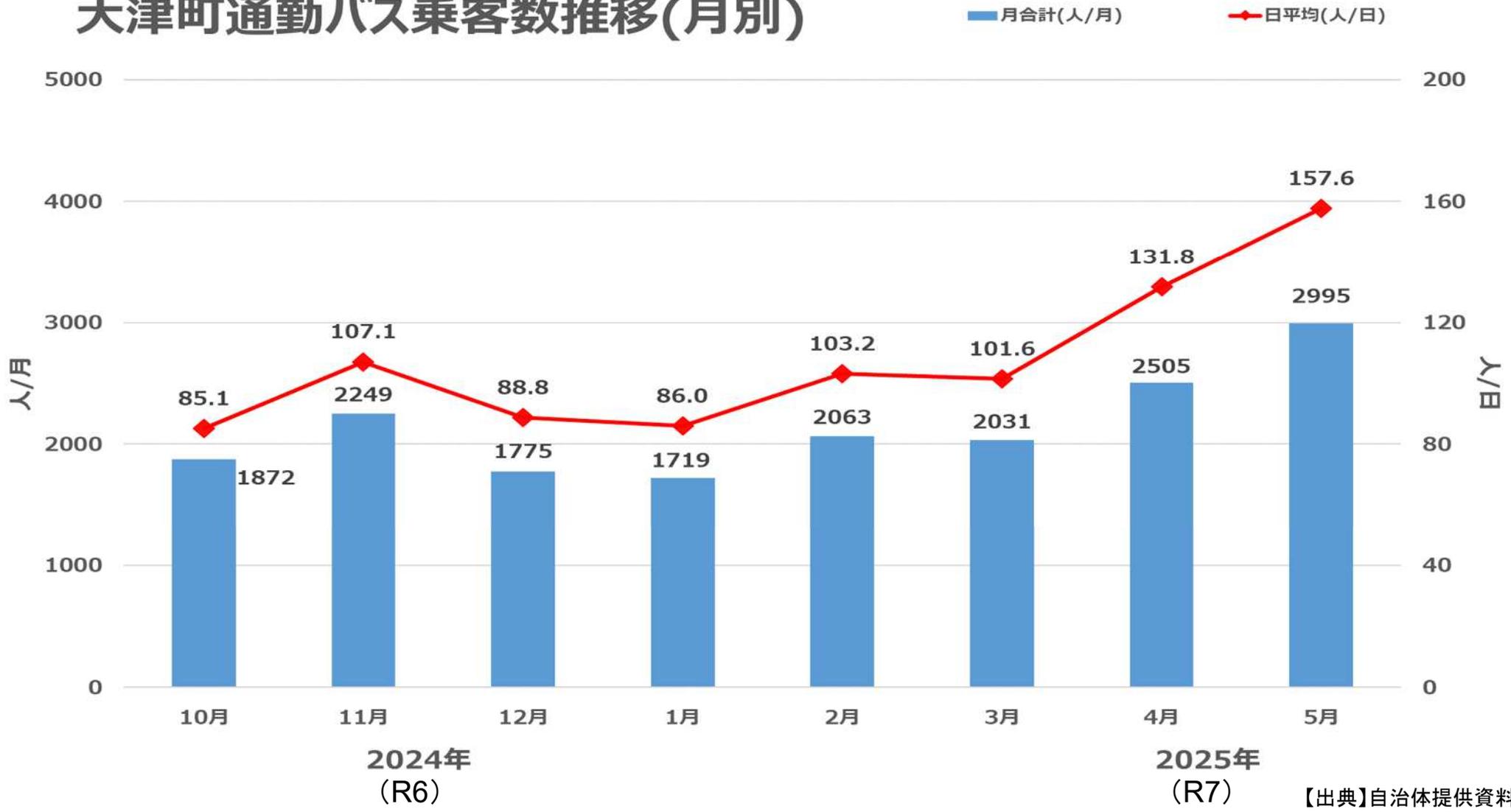
【出典】自治体提供資料

(2) ソフト施策の取り組み状況 【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※利用者数

○運行当初は平均85人/日の利用であったが、令和7年4月以降、利用者が急増し、200人/日を超える日もある。
 令和6年10月:朝 平均48人、夕 平均37人 計 85人
 令和7年 5月:朝 平均87人、夕 平均71人 計157人 ※約1.8倍の増

○増加の主な要因は、人事異動に伴う転勤者及び高校生の新規利用、出張者の利用が挙げられる。

大津町通勤バス乗客数推移(月別)

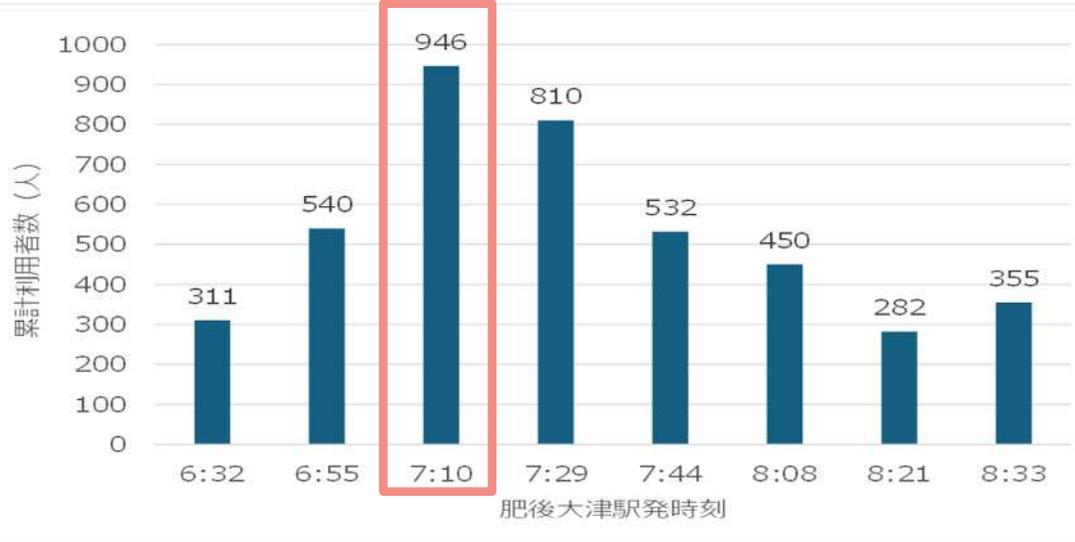


【出典】自治体提供資料

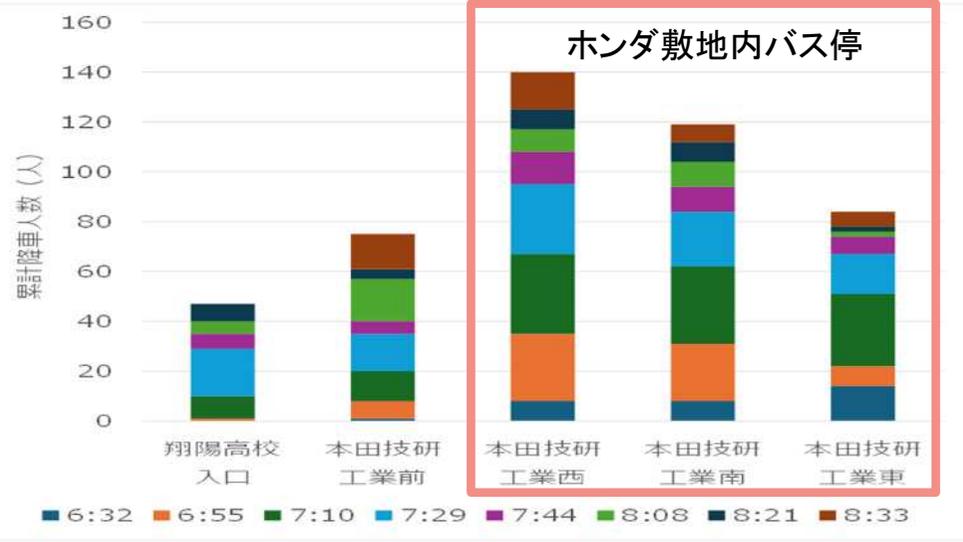
(2) ソフト施策の取り組み状況 【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※利用状況

- 朝便は7時10分肥後大津駅発、夕便は17時15分本田技研工業東発の便の利用が最も多い。
- 乗降バス停は、新たに新設した本田技研工業(株)敷地内が最も多い。

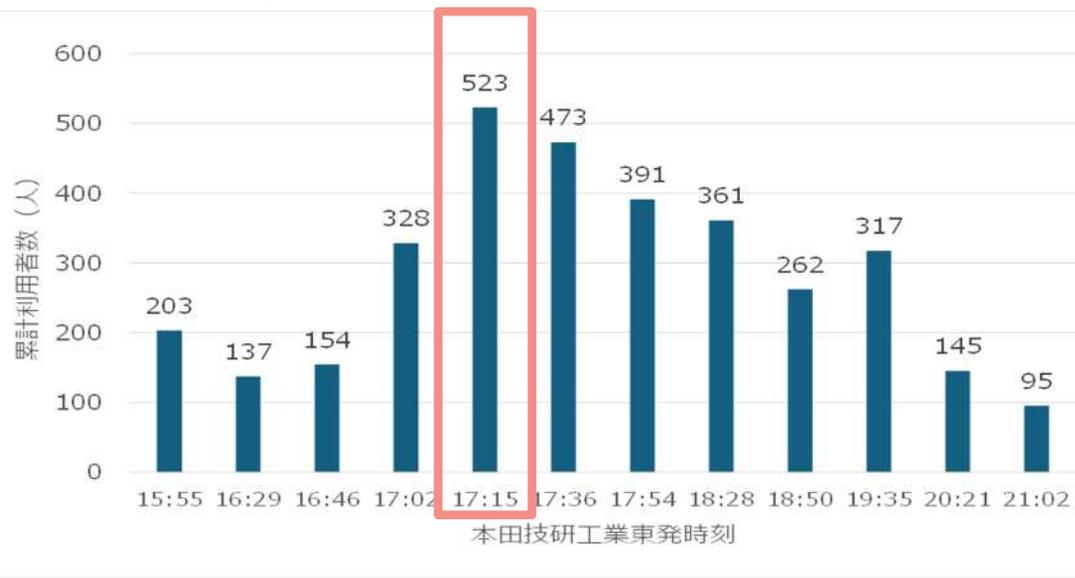
【朝便：時間帯別】



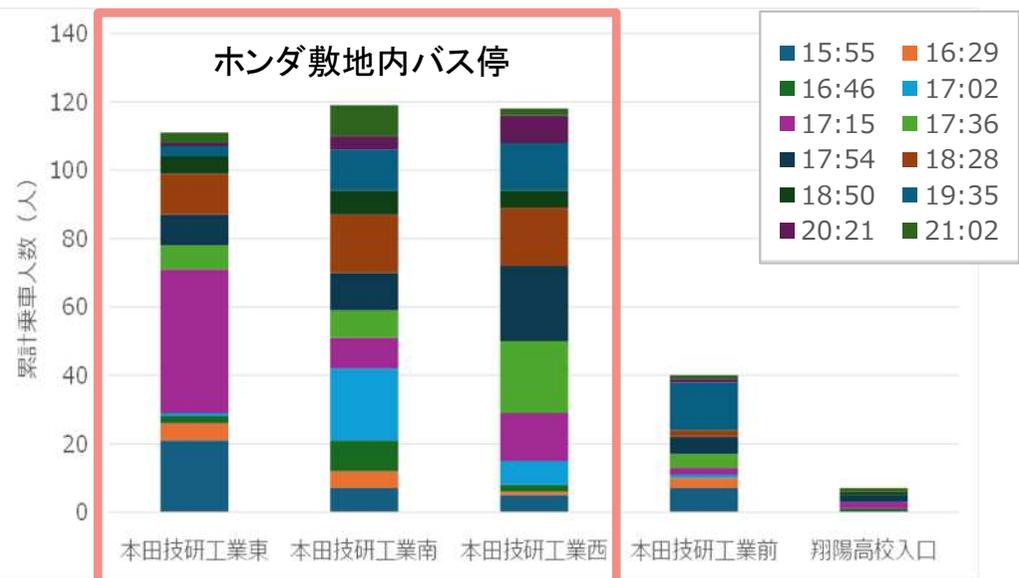
【朝便：降車バス停別】



【夕便：時間帯別】



【夕便：乗車バス停別】



※便別の利用者数調査時期：R6.10～R7.1月の運行日

※停留所別の利用者数調査時期：R7.1.20～R7.1.31

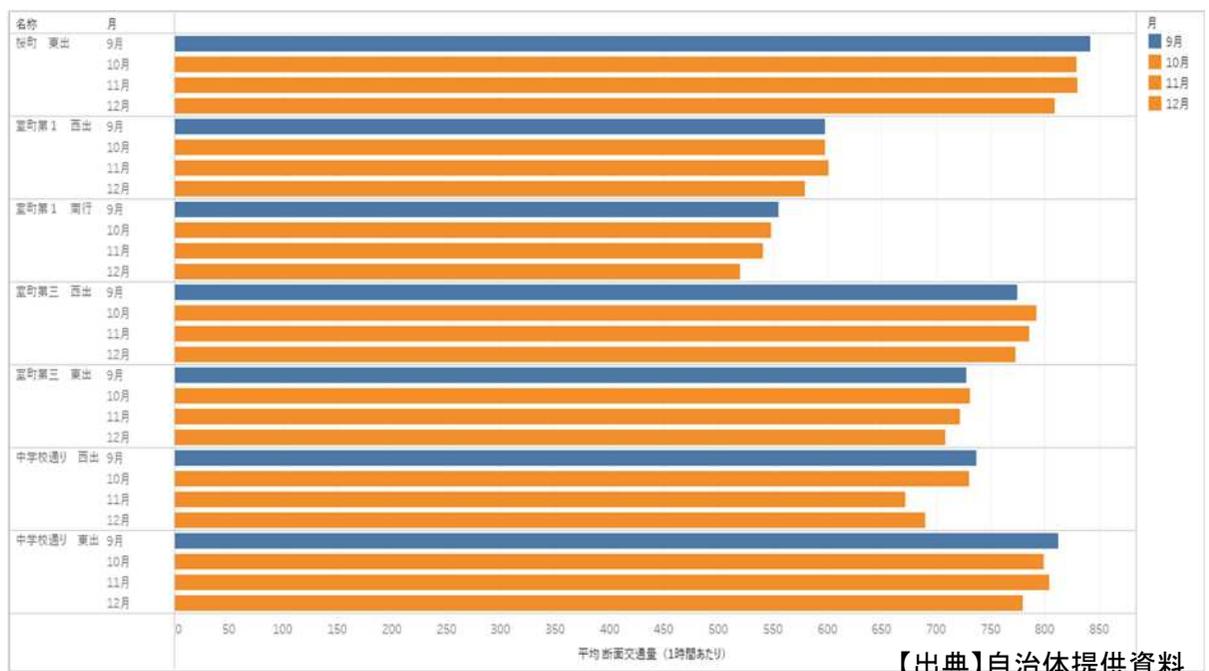
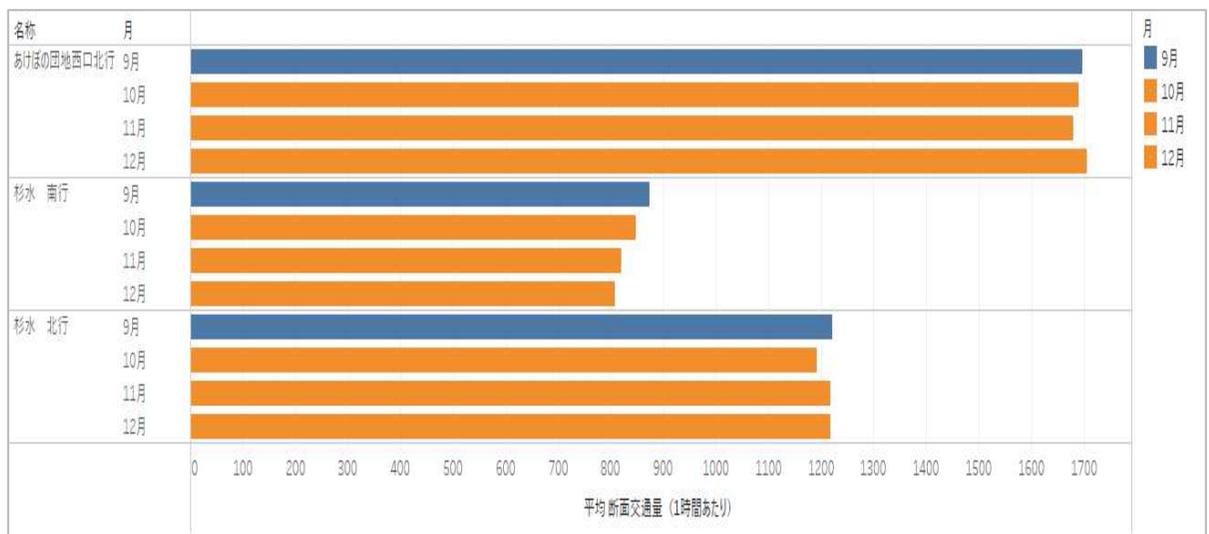
【出典】自治体提供資料

(2) ソフト施策の取り組み状況 【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※渋滞状況

○通勤バスの運行時間帯における、大津町内の国道325号、国道57号の交通量の傾向を見ると、区間によってはR6年9月よりも実証実験期間中のR6年10月、11月、12月の方が交通量が少ない傾向がみられる。



通勤時間帯（6時～9時）における断面交通量



※背景地図として国土地理院地図を加工したものを使用。

(2) ソフト施策の取り組み状況 【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※従業員向けアンケート結果

○通勤バスの運行ルート周辺に位置する企業の従業員等を対象に、WEBによるアンケート調査を実施

調査対象：本田技研工業(株)及び大津町企業連絡協議会の室支部・北部支部の会員企業

調査対象者数：約8,600名(うち、主な調査対象である本田技研工業(株)の従業員数は約2,600名)

調査日時：2024年11月19日～12月13日 (調査方法：Webアンケート)

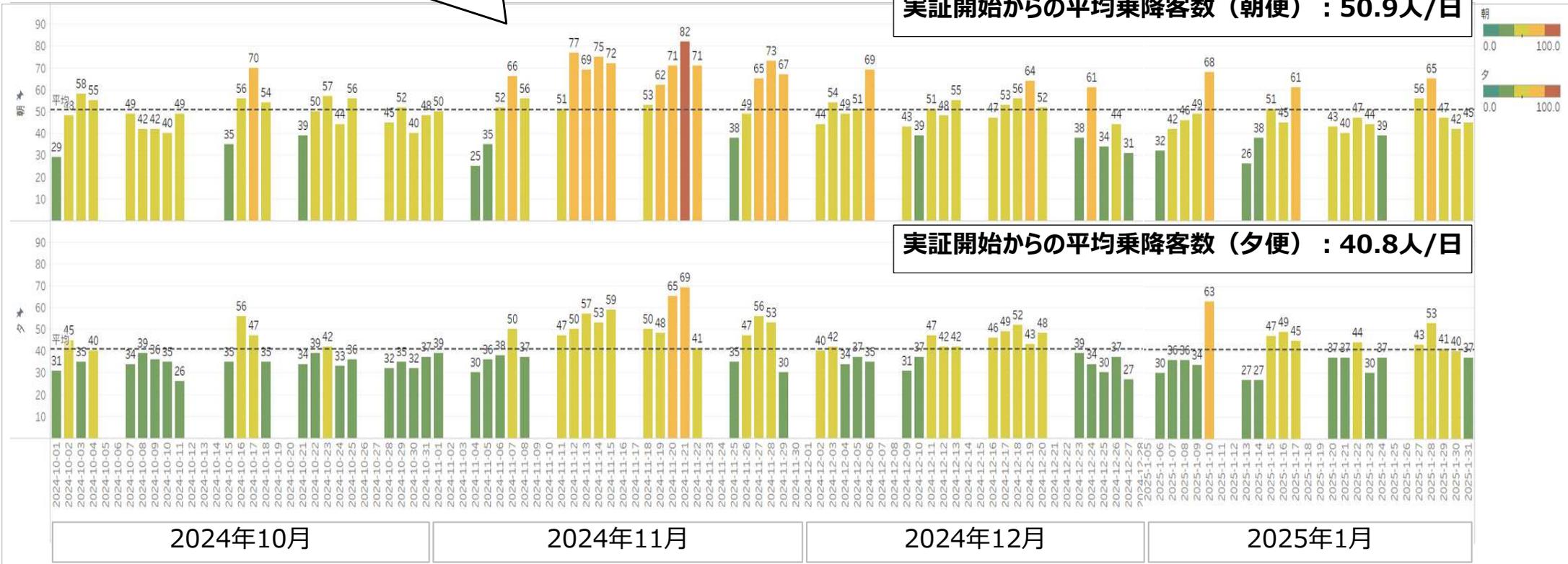
回収数：419(5%)

○通勤バスに乗った理由として多いのは「本田技研工業(株)内にバス停が新設されたから」「飲み会等で車を利用できないから」であった。

週後半の方が利用客数が多い

実証開始からの平均乗降客数(朝便)：50.9人/日

実証開始からの平均乗降客数(夕便)：40.8人/日



(2) ソフト施策の取り組み状況 【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※従業員向けアンケート結果

- 通勤バス利用時の方が通勤時間が短縮した方は全体の18.2%(12名/66名)であった。
- 本田技研工業から遠い方が通勤バス利用時の通勤時間が短縮するという結果となった。
最寄り駅・バス停が本田技研工業の正門付近から
～10km圏内の方の通勤時間：平均10分短縮
10km～20km圏内の方の通勤時間：平均17分短縮
- 他方で、通勤バス利用時の方が通勤時間が延長した方は全体の57.6%(38名/66名)であった。
- 通勤時及び退勤時ともに、本田技研工業から離れている場所が出発地もしくは目的地の場合は、車利用時よりも公共交通利用時の方が短い可能性があるということが分かった。
仮に、通勤バスの利用を促進する地域を検討する場合は、当該地域が候補になると考えられる。

通勤時間の短縮時間

～10km圏内の方の通勤時間：平均10分短縮

番号	最寄り駅・バス停	通勤時間の短縮時間
1	肥後大津駅	10分
2	原水駅	10分
3	三里木駅	10分
4	永江団地	20分
5	光の森駅	5分
6	光の森駅	5分
7	武蔵塚駅	10分

10km～20km圏内の方の通勤時間：平均17分短縮

番号	最寄り駅・バス停	通勤時間の短縮時間
1	水前寺駅	15分
2	平成駅	5分
3	南熊本駅	10分
4	南熊本駅	30分
5	熊本駅	25分

※ 最寄り駅・バス停が本田技研工業の正門付近から～10km圏内の方7名と、10～20km圏内の方5名について、車通勤時と比較して、通勤バス利用時において通勤時間が何分短縮したかを算出し、それぞれの平均を算出した。

(2) ソフト施策の取り組み状況 【③大津町通勤バス実証実験(大津町)】 ※まとめ

【まとめ】(抜粋)

- 通勤バス利用による通勤時間の変化に着目すると、出発・到着駅が本田技研工業から離れると、車利用時に比べて通勤バス利用時の場合の方が通勤時間が短い可能性があることが明らかとなった。
- つまり、**本田技研工業及びその周辺（勤務先）から離れた駅の利用者ほど、時間短縮効果及び便益の増加が期待でき、このような利用者が通勤バスへの利用転換を促す対象の候補になると考えられる**（ただし、自宅から駅までの所要時間は別途考慮する必要がある）。

【大津町通勤バス実証実験の意義】

- **公共交通によって通勤する場合は、通勤時間を有効活用することも可能であるため、時間短縮かつ時間の有効活用による経済効果も期待できる。**
- また、本実証事業の対象地域においては、人材不足が懸念されているところ、**公共交通によって通勤できる環境を整えることは、車や免許を有しない若者や都市圏からの移住者の雇用に寄与するものであると考えられ、こうした点からも本実証事業がもたらす効果は大きい**と言える。

渋滞緩和のため、持続可能な継続運行を目指す

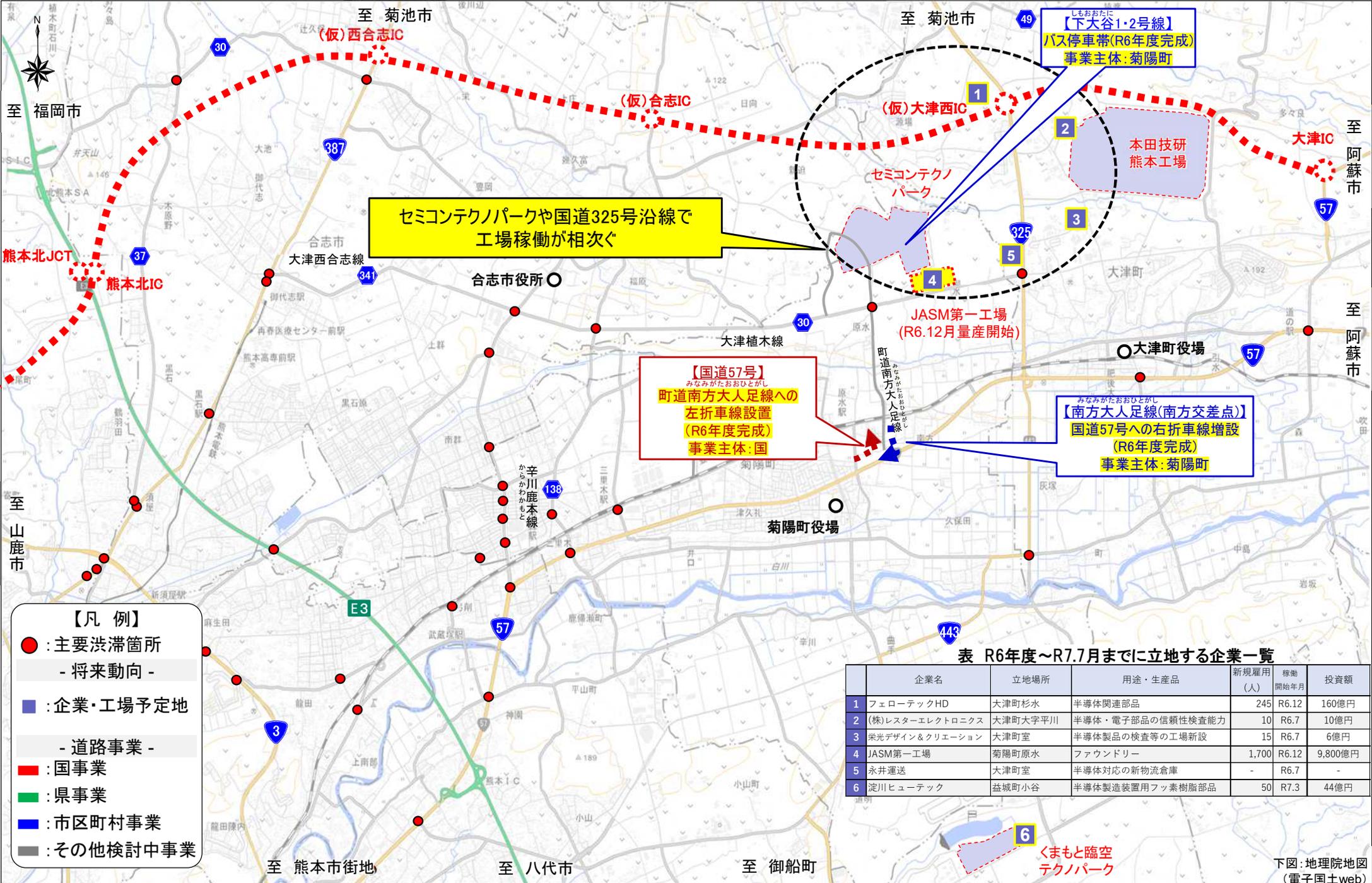


※大津町通勤バス用のラッピングバス(R7.2.14～運行中)



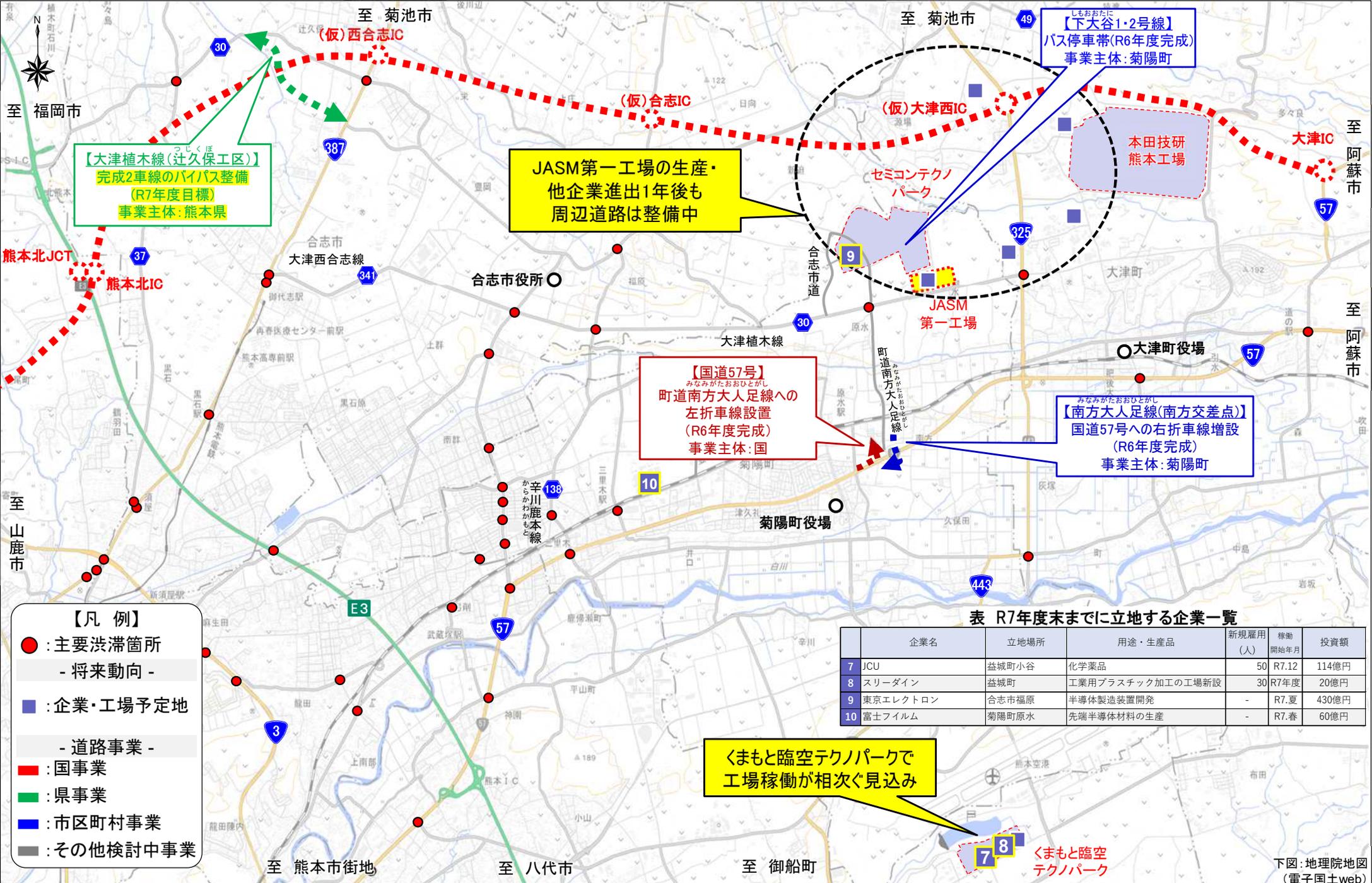
【出典】自治体提供資料

(1) セミコンテクノパーク周辺将来動向【①現況・R7年7月時点】



6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-4. 将来動向

(1) セミコンテクノパーク周辺将来動向【②R7年度末(今年度末)】



【大津植木線(辻久保工区)】
完成2車線のバイパス整備
(R7年度目標)
事業主体:熊本県

JASM第一工場の生産・
他企業進出1年後も
周辺道路は整備中

【国道57号】
みなみがおおひとがし
町道南方大人足線への
左折車線設置
(R6年度完成)
事業主体:国

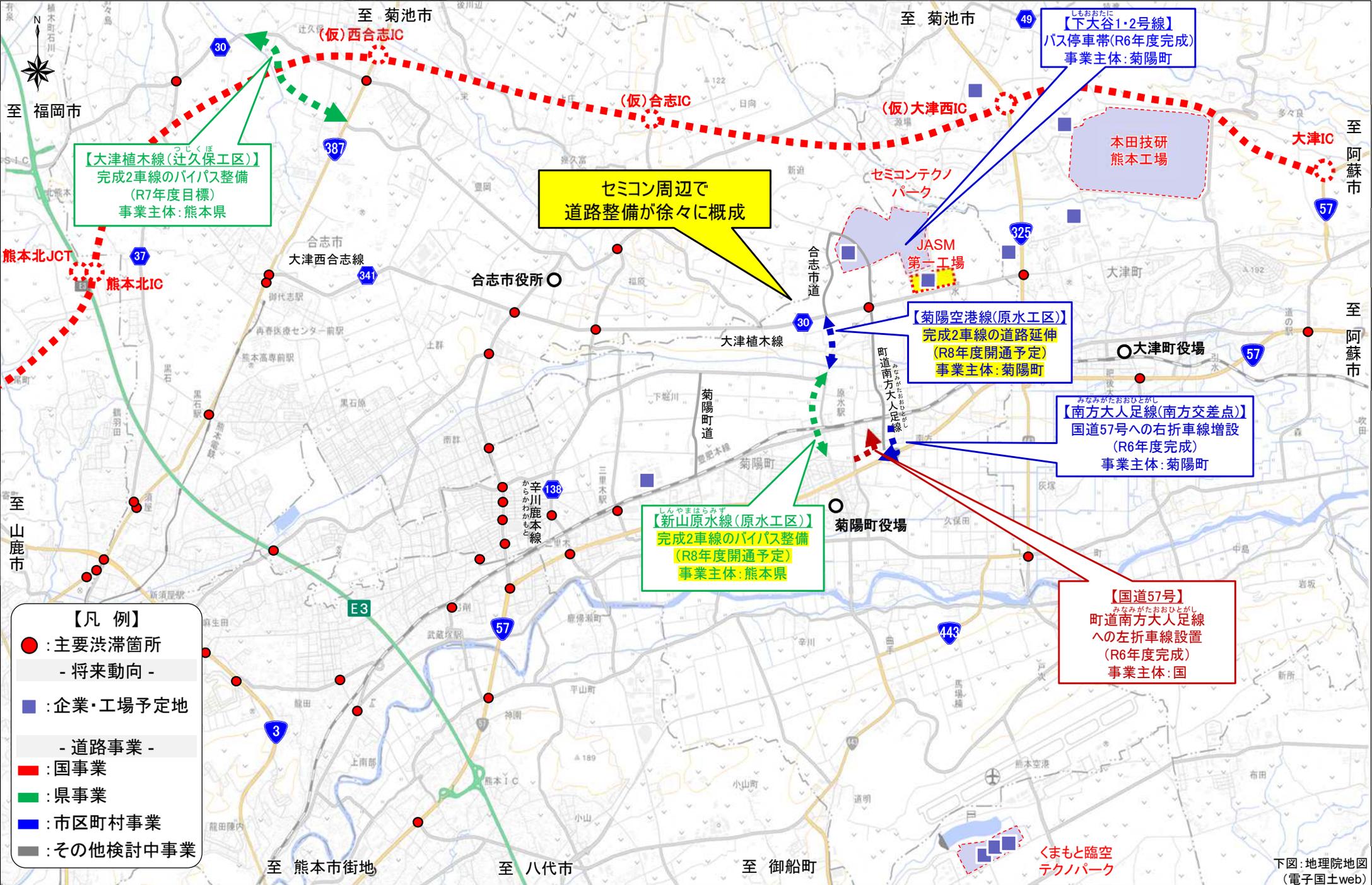
【南方大人足線(南方交差点)】
国道57号への右折車線増設
(R6年度完成)
事業主体:菊陽町

【下大谷1・2号線】
バス停車帯(R6年度完成)
事業主体:菊陽町

くまもと臨空テクノパークで
工場稼働が相次ぐ見込み

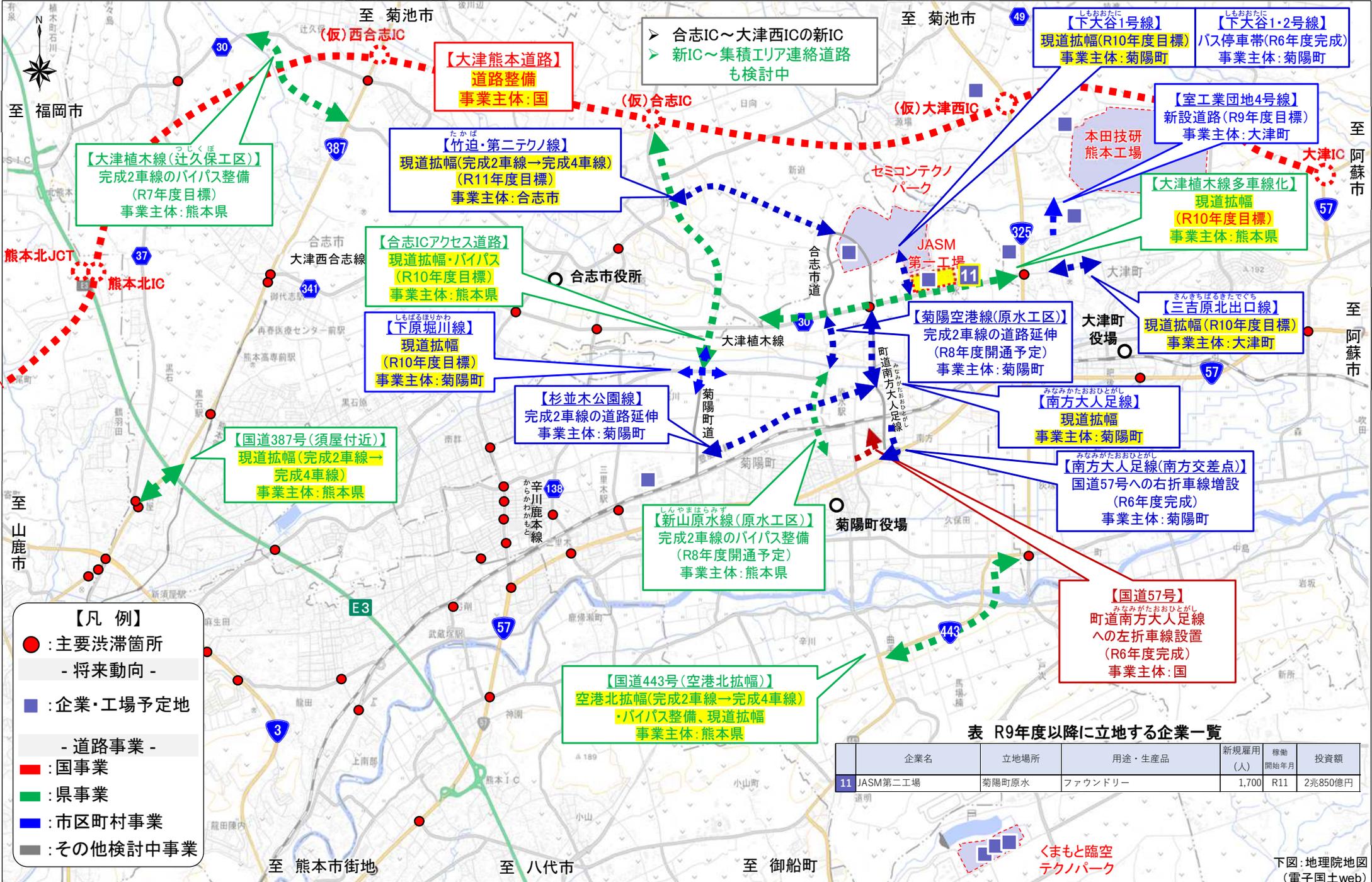
6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-4. 将来動向

(1) セミコンテクノパーク周辺将来動向 【③R8年末】



6. セミコンテクノパーク周辺の渋滞対策 6-4. 将来動向

(1) セミコンテクノパーク周辺将来動向【④R9年以降】



		短期:3年程度 (JASMや企業進出が完了)				中長期:4年後~ (道路事業鉄道が徐々に概成)				備考	
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11~	対策時期未定		
開発計画	合志市	■ 関連企業の進出・宅地造成				■ 企業進出の継続					
	菊陽町	JASM工場	● 第一工場建設	● 第一工場生産開始	■ 第二工場建設	● 第二工場稼働目標	● JR新駅設置			● 第二工場は2029年上半期稼働予定	
	大津町	■ 関連企業の進出				■ 企業進出の継続					
	周辺地域	■ 産業用地造成				■ 企業進出操業開始					
道路事業の展開	熊本河川国道	熊本河川国道	● 南方交差点左折レーン設置 ● 新山原水線 ● 大津植木線 開通予定 ● 合志ICアクセス道路 開通予定(目標)							● 国道387号拡幅 ● 国道443号 空港北側拡幅	
	熊本県	熊本県	● 交差点改良(短期施策)19箇所 ● バスベイ整備(短期施策)10箇所				● 大津植木線多車線化(目標) ● 合志ICアクセス道路 開通予定(目標)				● 県道大津植木線の主要交差点の立体化 ● 新IC~集積エリアの連絡道路
	合志市	合志市	● 竹迫・第二テクノ線 開通予定(目標)								
	菊陽町	菊陽町	● 南方交差点右折レーン増設 ● 下大谷1・2号線バス停車帯	● 菊陽空港線開通予定				● 下原堀川線拡幅(目標) ● 南方大人足線拡幅(目標)		● 杉並木公園線(目標)	
	大津町	大津町	● 下大谷1号線拡幅(目標) ● 三吉原北出口線 開通予定(目標)								
ソフト施策	熊本県	熊本県	■ 通勤バス								
	合志市	合志市	■ 時差出勤の推奨								
	菊陽町	菊陽町	■ セミコン通勤バス								
	大津町	大津町	■ 通勤バス実証運行(肥後大津駅~本田技研工業間)				■ 効果検証→対策継続実施				

エリアWGの主な議論

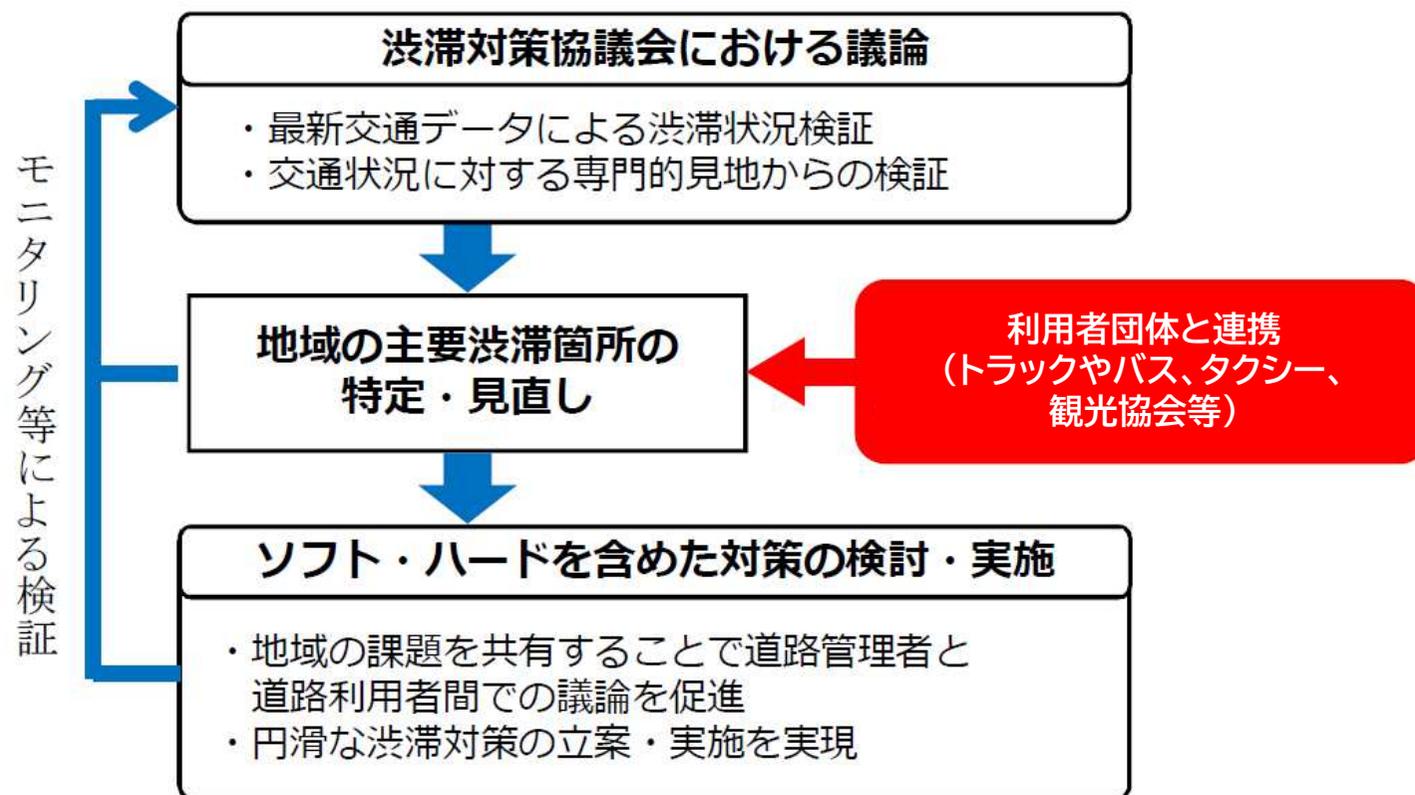
小項目	R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11~		備考
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 2px;">短期:3年程度 (JASMや企業進出が完了)</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 2px;">中長期:4年後~ (道路事業鉄道が徐々に概成)</div> </div>														対策時期未定
地域の交通課題	<p>交通量調査実施 (R5-R8) 継続実施で変化把握 (R8-R11)</p>														
将来交通 需要予測	<p>開発交通量予測 (R6-R8)</p>														
課題に対する 対策検討	<p>【短期】ソフト対策実施・支援 交差点改良等 (R6-R8)</p> <p>【中長期】対策検討 (R6-R11)</p> <p>継続実施 効果検証→対策 (R9-R11)</p> <p>【中長期】計画事業後の課題把握 新たな対策実施検討・実施 (R9-R11)</p>														

7. 官民連携による渋滞対策

(1) 取り組みの概要

○人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定したうえで、即効性のある渋滞対策を実施する。

[渋滞対策の流れ]



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>

今年度も引き続き、トラック・バス等事業者から見た渋滞箇所の対策を実施予定

7. 官民連携による渋滞対策

(2) 対策要望箇所

【トラック事業者からの対策要望箇所(令和7年5月)】

 :主要渋滞箇所または主要渋滞箇所を含む区間

都道府県	渋滞箇所	渋滞箇所
熊本県	国道3号 水道町交差点付近 令和7年度 ピンポイント渋滞対策検討箇所	国道57号 石坂交差点付近
	国道3号 一木交差点	国道266号 今吉野～上仲間付近
	国道3号 投刀塚南交差点～四方寄南交差点	県道14号 八代市(鏡町、千丁町、海士江町、大村町、大手町)
	国道3号 浄行寺交差点	県道251号 八代消防署前
	国道3号 宮原交差点付近	県道338号 高良交差点
	国道3号 松橋八代市間	国道3号 大窪2丁目交差点
	国道3号 舞尾交差点	国道57号 帯山4丁目交差点
	国道3号 山室交差点	国道501号 小島上町交差点
	国道3号 藤崎宮前交差点	県道42号 田中西町交差点
	国道57号 旧市民病院前付近 令和8年度以降 ピンポイント渋滞対策検討箇所	県道347号 岱明町野口付近
国道57号 県庁通り入口交差点 令和8年度以降 ピンポイント渋滞対策検討箇所	国道501号 船津交差点～船津橋付近	

【バス事業者からの対策要望箇所(令和7年5月)】

都道府県	渋滞箇所	渋滞箇所
熊本県	県道103号 八反田～保田窪付近	熊本市中央区坪井 通称：立町通り～浄行寺交差点付近
	県道28号 水道町～市役所付近	県道36号 自衛隊正門前～県庁通り入口交差点
	県道28号 田崎橋～田崎市場付近	国道57号 松原交差点～三角
	県道337号 黒髪六丁目小碓橋付近	国道266号 三角～松島付近
	県道231号 楠二丁目交差点(信号機2カ所)	国道3号 銀座橋際交差点～中央街交差点
	県道145号 渡鹿九丁目1-1(熊本星翔高校出入り口付近) JR 踏切上下線(渡鹿第5踏切)	国道57号・県道228号 上水前寺交差点付近
	県道36号 佐土原BS付近	県道228号 新外入口バス停付近
	国道57号 西原BS付近	国道266号 八王寺交差点付近(桜町バスターミナル方面)
	国道3号 四方寄町信号交差点付近	国道3号 北部まちづくりセンター交差点
	国道3号 大窪二丁目交差点付近	国道266号 鯉付近
		国道387号 大池農業公園入口バス停付近～黒石下バス停付近

7. 官民連携による渋滞対策

(2) 対策要望箇所

【バス事業者からの対策要望箇所(令和7年5月)】

 :主要渋滞箇所または主要渋滞箇所を含む区間

都道府県	渋滞箇所	渋滞箇所
熊本県	国道3号 投刀塚交差点付近	県道28号 九品寺交差点
	国道3号・県道28号 水道町交差点付近	県道28号 出水一丁目交差点
	国道3号 杉島交差点付近	県道104号 中ノ瀬橋際交差点
	国道3号 新松原交差点付近	県道104号 田迎小入口交差点
	県道103号 新南部入口バス停 上下付近	県道303号 京町本町交差点
	国道3号 浄行寺交差点～山室付近	県道316号 飯高山公園付近～弓削立体橋付近
	県道337号 浄行寺交差点～黒髪六丁目付近	産業道路 大江渡鹿交差点
	県道37号 薬園町交差点～室園交差点付近	自衛隊通り 健軍四角バス停付近
	国道266号 箸町橋～杉上今付近	県道1号 本妙寺入口～県道31号との交差点付近
	国道266号 田井島バス停付近	県道228号 京塚バス停～競輪場通り付近
	国道226号 真島橋付近	熊本市中央区帯山 通称女子大通り 帯山小学前～帯山中前交差点付近
	新外交差点 交差点を中心に全方向	武蔵中央通り～県道316号の交差点(ゆめタウン光の森付近)
	県道31号 熊本環状線入口～上熊本駅前付近	熊高正門通り 北水前寺踏切を渡る道路との交差点
	県道31号 県立体育館～壺井橋付近	長嶺四つ角 農免道路の長嶺四つ角バス停横のファミリーマートのある交差点
	県道103号 江津団地入口交差点付近	熊本市中央区帯山 通称女子大通り・鉄工団地通りとの交差点
	県道228号 ココイチ戸島店付近	国道266号 城南町阿高交差点付近
	国道57号 県庁通り入口交差点	県道228号 小峯墓地前交差点付近
国道57号 神水交差点		

令和8年度以降
ピンポイント渋滞対策検討箇所

【タクシー事業者からの対策要望箇所(令和6年5月)】

都道府県	渋滞箇所	渋滞箇所
熊本県	国道3号 水道町交差点付近	県道103号 ローソン長嶺西3丁目店辺り～長峰交差点(国体道路)
	国道3号 代継橋交差点付近	県道232号 新長嶺橋辺り～長嶺交差点(国体道路)
	国道57号 田井島交差点付近	産業道路 本荘(地域医療センター前)～九品寺交差点付近
	県道14号 鏡町鏡交差点付近	白山通り 九品寺六丁目交差点付近
	県道28号 白山三丁目交差点付近	県道316号 弓削立体橋付近
	県道103号 熊本県立大学交差点付近	県道337号 浄行寺交差点～黒髪二丁目付近

7. 官民連携による渋滞対策

(3) 今後、対策を実施する箇所：国道3号水道町(安政町)交差点

R7年度ピンポイント対策箇所

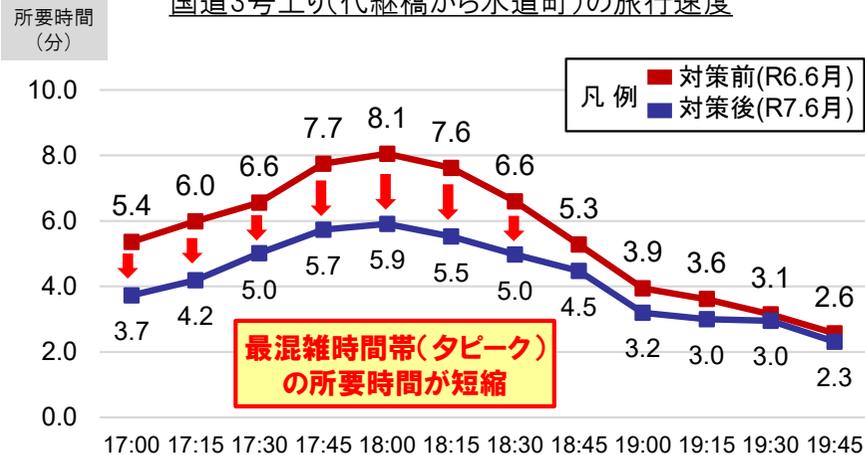
- 国道3号水道町交差点上りではタピーク時を中心に交通集中による渋滞が発生しており、R7.5月に対策完了。
- 水道町交差点に隣接する安政町交差点の直進車線の増設を実施することで、混雑緩和が期待できる。

《位置図》



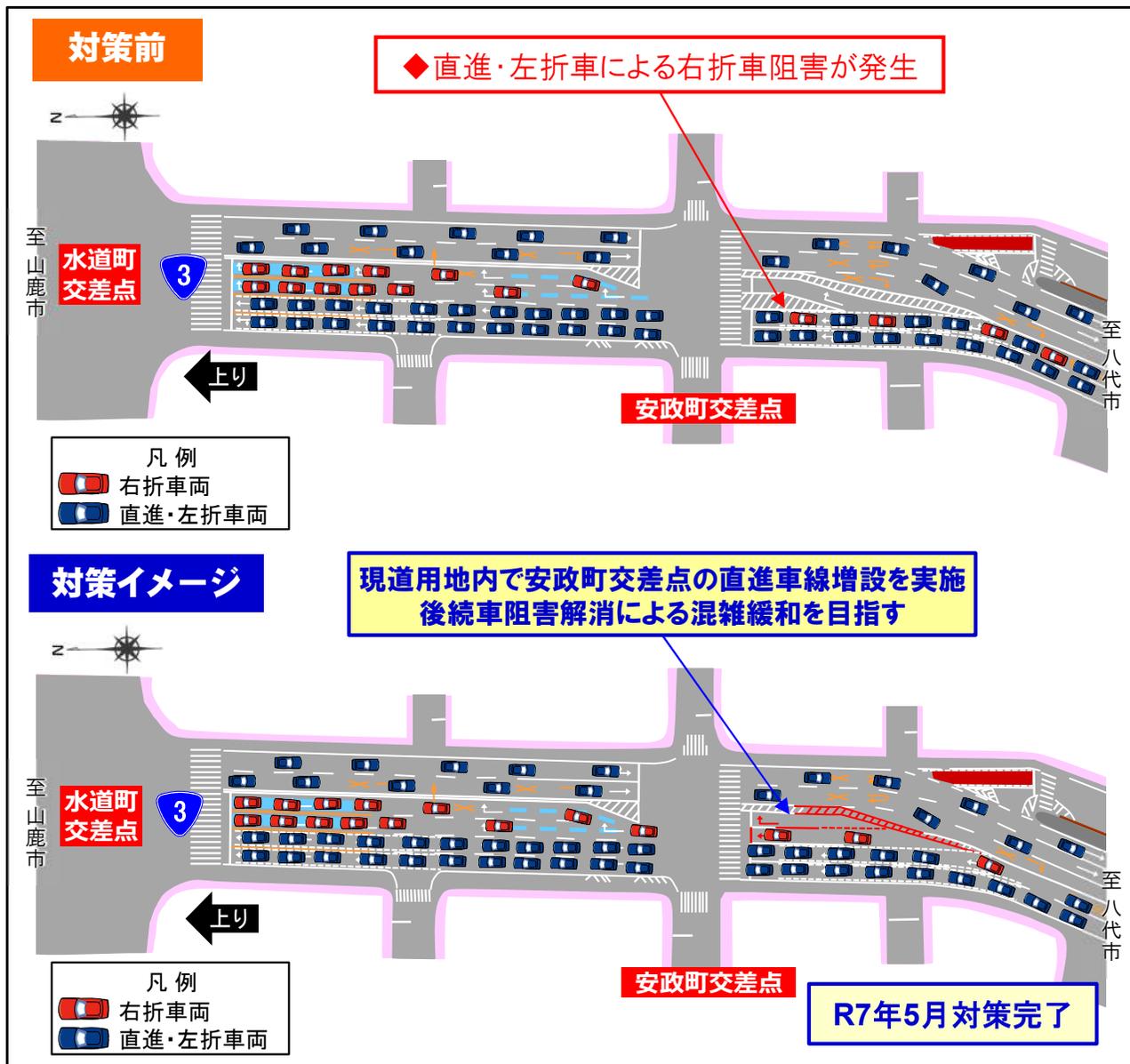
《対策効果(速報)》

国道3号上り(代継橋から水道町)の旅行速度



出典：ETC2.0プローブ情報 対策前：R6.6月平日、対策後：R7.6月平日(速報値)

《説明図》



7. 官民連携による渋滞対策

(3) 今後、対策を実施する箇所：国道57号県庁通り入口交差点

R8年度以降ピンポイント対策箇所

○国道57号県庁通り入口交差点上りにおいて、ピーク時間帯に交通集中により渋滞が発生している。
 ○県庁通り入口交差点上りの右折車線を延伸することで、混雑緩和が期待できる。

《広域図》

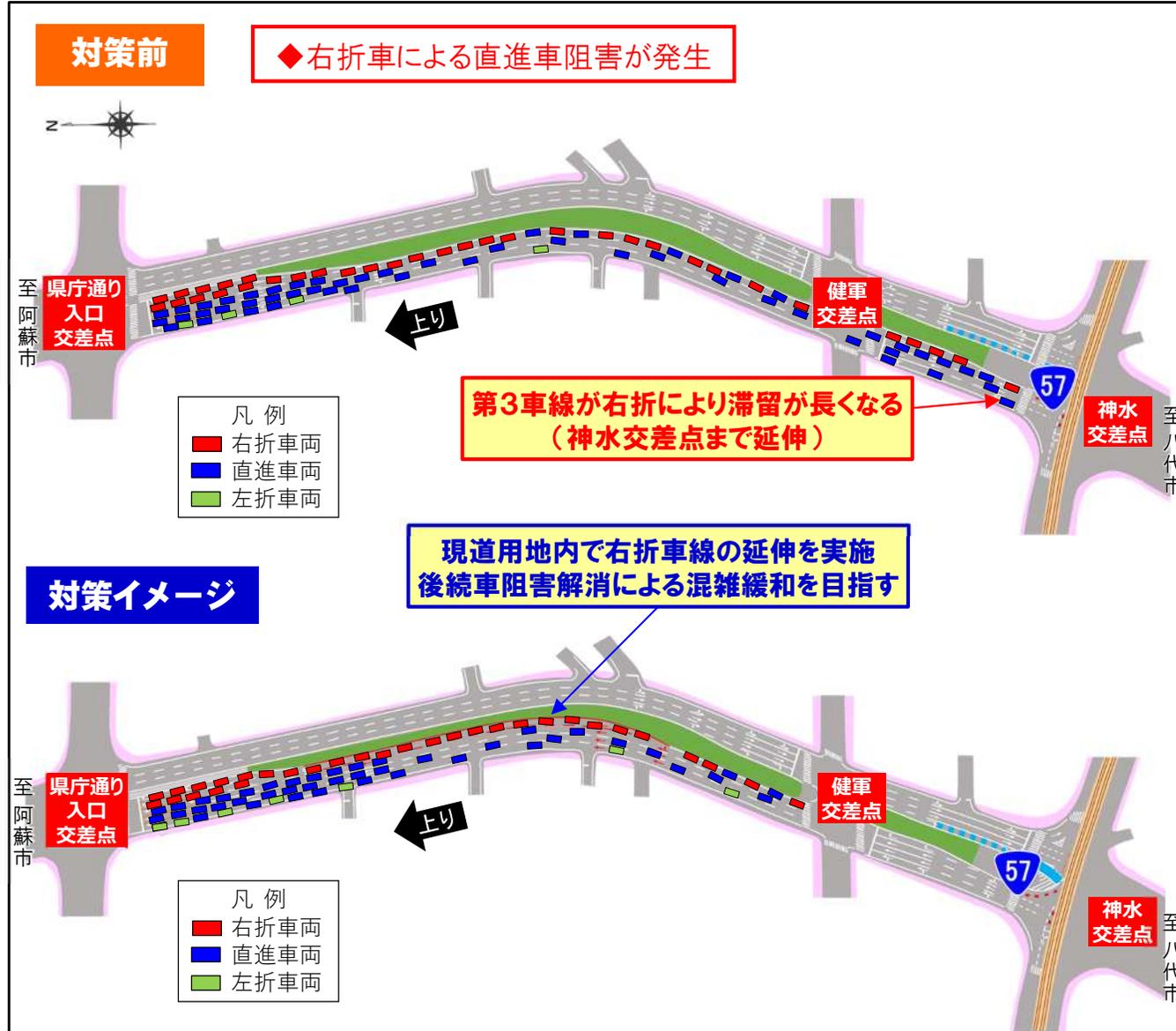


撮影日：R6.7.2(火)

《位置図》



《説明図》



8. 熊本県渋滞解消推進本部の取組み

(1) 熊本県渋滞解消推進本部

- 渋滞解消に向けた取組みを加速化していくために、短期・中期・長期のソフト、ハード対策を効率的かつ段階的に進めていく。
- 熊本都市圏における渋滞対策の着実な実施を確認するとともに、各施策の連携や前倒し、新たな対策などの実施方針を明らかにし、わかりやすく情報発信していく。

● 熊本県渋滞解消推進本部会議

日程	会議・内容
令和6年 6月5日	令和6年度第1回渋滞解消推進本部会議 渋滞解消に向けた取組を組織横断的に迅速かつ強力に進めていく
令和7年 3月14日	令和6年度第2回渋滞解消推進本部会議 今後取り組んでいく渋滞対策の方向性や目標とともに具体的な対策を示した
令和7年 7月14日	令和7年度第1回渋滞解消推進本部会議 セミコン周辺エリアを中心に対策の取組み状況を確認した

● 都市圏の周辺自治体とのトップ会談

日程	会議
令和6年7月18日	熊本市トップ会談
令和6年8月19日	熊本県・熊本市調整会議
令和6年9月11日	嘉島町トップ会談
令和6年9月11日	菊陽町トップ会談
令和6年10月3日	合志市トップ会談
令和6年10月9日	大津町トップ会談
令和6年10月9日	益城町トップ会談
令和6年12月26日	熊本県・熊本市調整会議

● 熊本都市圏の渋滞解消に向けた取組み

県市で取り組む **道路施策** ～車の『流れ』を良くする取組み～

加速化対策(短期): ~3年

交差点改良や信号制御の最適化 30箇所

市内) 主要渋滞箇所 8か所及びその周辺3か所 < 8/174(約5%) >
市外) 主要渋滞箇所 16か所及びその周辺3か所 < 16/52(約30%) >

■ 交差点改良や信号制御の最適化等の実施

<都市圏東部エリア> 14箇所: 熊本益城大津線など
<セミコン周辺エリア> 16箇所: 大津植木線など

■ バスベイの整備による交通の円滑化

・熊本菊陽線など(10箇所)

■ 道路ネットワーク整備の着実な推進

・セミコンテクノパーク周辺道路、熊本西環状道路(池上工区)、熊本高森線((都)益城中央線)、大津植木線(辻久保工区)など

抜本対策(中期): 4~10年

主要渋滞箇所226箇所のうち約80箇所の改善に向け取組みを強力に推進

■ 道路ネットワーク整備の着実な推進

・セミコンテクノパーク周辺道路、中九州横断道路、国道3号植木バイパス、熊本西環状道路(砂原工区)など

■ 交差点改良や信号制御の最適化等の実施

・熊本空港線 他

■ 車から自転車などへの転換

・自転車・歩行者空間の整備

抜本対策(長期): 11年~

広域道路ネットワークの構築

・熊本都市圏3連絡道路
・中九州横断道路、国道3号植木バイパスなど



県市で取り組む **公共交通施策** ～車から公共交通への『転換』を促す取組み～

加速化対策(短期): ~3年

年間利用者数

路線バス) 現状(2023年) 2,449万人/年→目標(2027年) 3,000万人/年
市電) 現状(2023年) 1,009万人/年→目標(2027年) 1,170万人/年

■ 公共交通の利便性向上及び利用促進

・利用促進キャンペーン、運転士不足対策 など

■ 公共交通の輸送力強化と基盤整備

・豊肥本線の増便・増結や駅施設の改良整備 など

抜本対策(中期): 4~10年

公共交通分担率を2倍にする

■ 公共交通の輸送力強化と基盤整備

・「交通連合」の実現、空港アクセス鉄道整備など

抜本対策(長期)

持続可能な公共交通の維持

県市で取り組む **その他施策**

～ピーク時の交通を『分散』する取組み～

加速化対策(短期): ~3年

・1年以内に1万人規模の取組み・時差出勤等に取り組む企業200社

■ 集中する“時間”の分散

・官公庁や民間企業の時差出勤・在宅勤務を推進
※実施企業の宣言や認定制度等

■ 集中する“場所”の分散

・既存道路ネットワークの利活用

※熊本県・熊本市調整会議資料を加工

8. 熊本県渋滞解消推進本部の取組み

(2) 加速化対策(短期) 交差点改良の取り組み状況

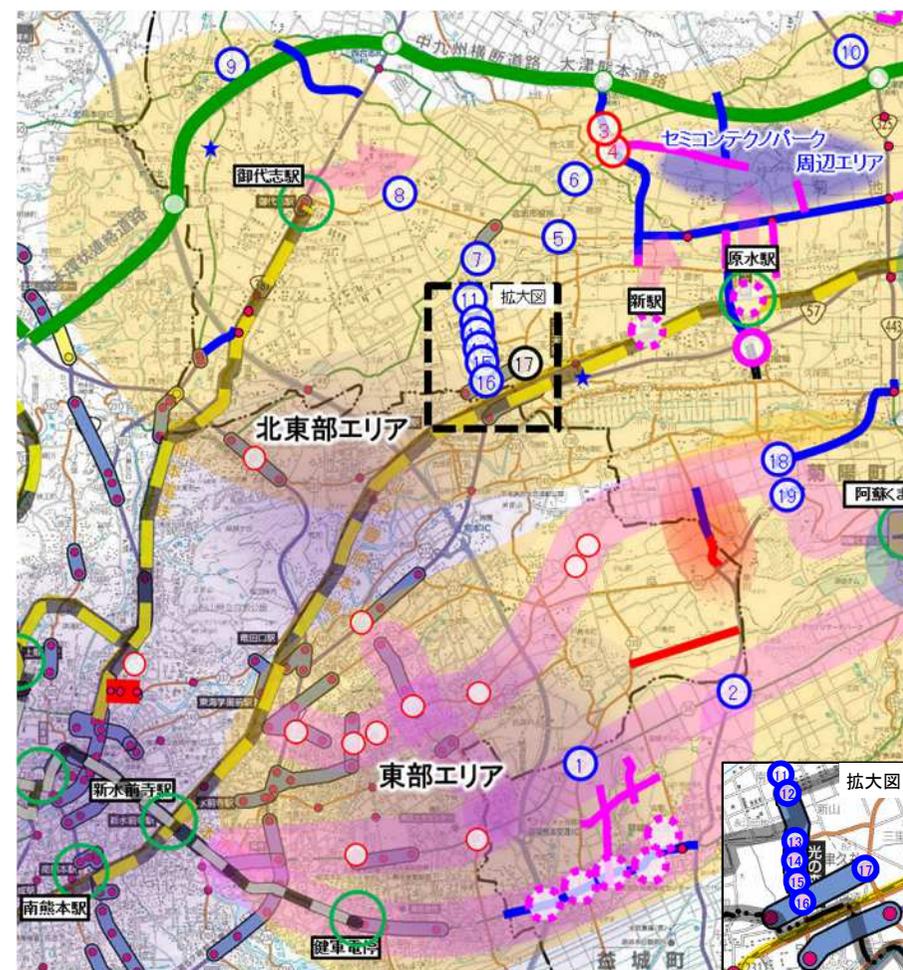
- 車の「流れ」を良くする短期的な取組みとして、3年以内に30箇所(県19箇所)の交差点改良等を実施する。
○交差点③、④について、年内に工事完了予定。

No	市町	路線名	取組箇所	対策内容	取組状況	備考	主要渋滞箇所
①	益城町	熊本益城大津線 (第二空港線)	安永交差点	右折レーンの増設	設計中	R7発注予定	○
②	益城町	熊本益城大津線 (第二空港線)	平田交差点	右折レーンの増設	設計中	R8発注予定	○
③	合志市	熊本大津線	仮)竹迫北交差点	右折レーン延伸	工事中	R7完了予定	
④	合志市	熊本大津線	仮)竹迫交差点	右折レーン延伸	工事中	R7完了予定	
⑤	合志市	辛川鹿本線	福原交差点	右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○
⑥	合志市	大津植木線	福原北交差点	右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○
⑦	合志市	熊本大津線	合志工業団地入口交差点	左折レーンの新設 右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○
⑧	合志市	大津西合志線	豊岡交差点	交差点マーク新設 右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○
⑨	合志市	大津植木線	野々島交差点	交差点コンパクト化 右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○
⑩	大津町	国道325号	護川小学校入口交差点	右折レーン延伸	設計中	R7発注予定	○
⑪	合志市	住吉熊本線	仮)合志北口交差点	右折レーン設置	設計中	R8発注予定	○
⑫	合志市	住吉熊本線	幾久富南交差点	右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○
⑬	菊陽町	住吉熊本線	新山2丁目	右折レーン延伸	設計中	R7発注予定	○
⑭	菊陽町	住吉熊本線	仮)菊陽町光の森7丁目北	右折レーン延伸	設計中	R7発注予定	○
⑮	菊陽町	住吉熊本線	仮)菊陽町光の森7丁目東	右折レーン延伸	設計中	R7発注予定	○
⑯	菊陽町	住吉熊本線	仮)菊陽町光の森7丁目南	右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○
⑰	菊陽町	辛川鹿本線	仮)菊陽町光の森7丁目	右折レーン延伸	完了	—	○
⑱	菊陽町	国道443号	菊陽町曲手	右折レーンの追加 右折レーン延伸	設計中	R7発注予定	○
⑲	菊陽町	国道443号	空港入口	右折レーン延伸	設計中	R8発注予定	○

位置図

対策箇所(県)

○(No.) : 工事完了 ○(No.) : 施工中 ○(No.) : 施工予定



8. 熊本県渋滞解消推進本部の取組み

(2) 加速化対策(短期) バスベイ整備の取り組み状況

○車の「流れ」を良くする短期的な取組みとして、3年以内に10箇所のバスベイの整備を実施する。



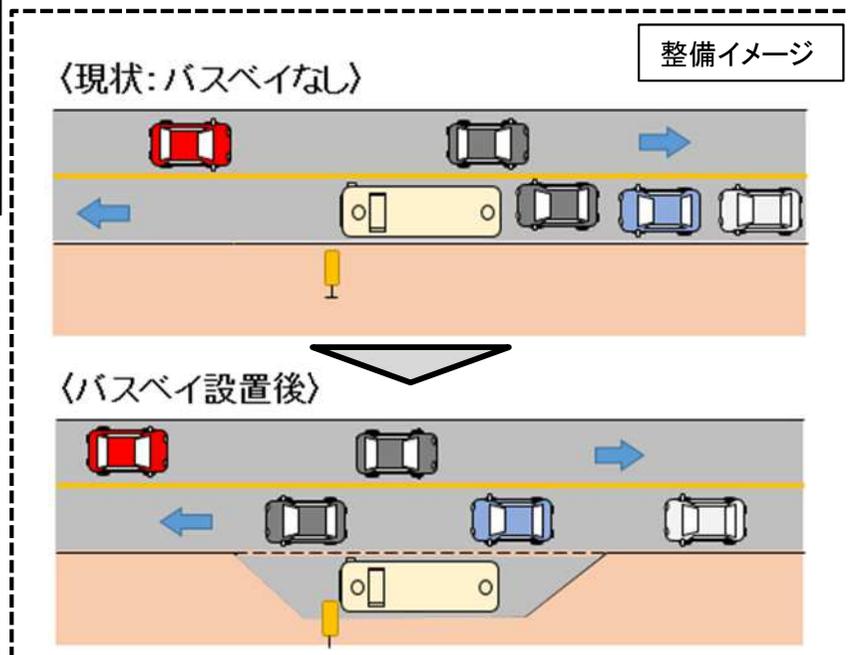
No	市町	路線名	取組箇所	取組状況	備考
①	合志市	(国)387号	再春医療センター前(上り)	工事中	R7完了予定
②	合志市	(国)387号	再春医療センター前(下り)	工事中	R7完了予定
③	合志市	(主)熊本大津線	合志南小前(下り)	設計中	R8発注予定
④	菊陽町	(一)辛川鹿本線	新成(上り)	設計中	R8発注予定
⑤	菊陽町	(一)辛川鹿本線	竹迫踏切(上り)	設計中	R8発注予定
⑥	菊陽町	(一)熊本菊陽線	頼山陽記念館前(上り)	設計中	R7発注予定
⑦	菊陽町	(一)熊本菊陽線	自動車学校阿蘇製菓前(上り)	設計中	R7発注予定
⑧	菊陽町	(一)熊本菊陽線	自動車学校阿蘇製菓前(下り)	設計中	R8発注予定
⑨	菊陽町	(一)熊本菊陽線	南方(上り)	設計中	R7発注予定
⑩	菊陽町	(一)熊本菊陽線	入道入口(上り)	設計中	R7発注予定



後続車滞留状況 (上り)

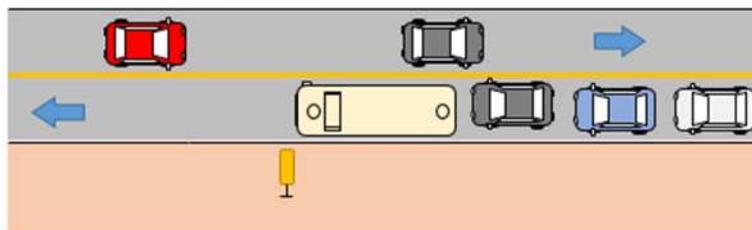


後続車滞留状況 (上り)

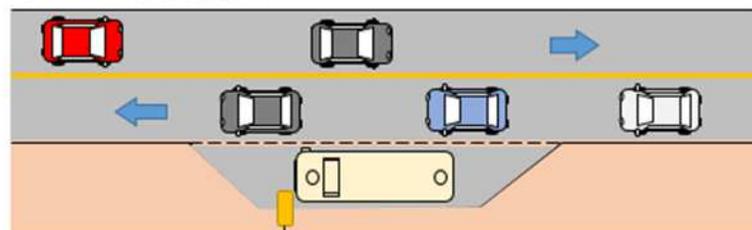


整備イメージ

〈現状:バスベイなし〉



〈バスベイ設置後〉



8. 熊本県渋滞解消推進本部の取組み

(2) 加速化対策(短・中期) 道路ネットワーク整備の取り組み状況

○主要渋滞箇所226箇所のうち約80箇所の改善に向けて、道路ネットワーク整備を推進。

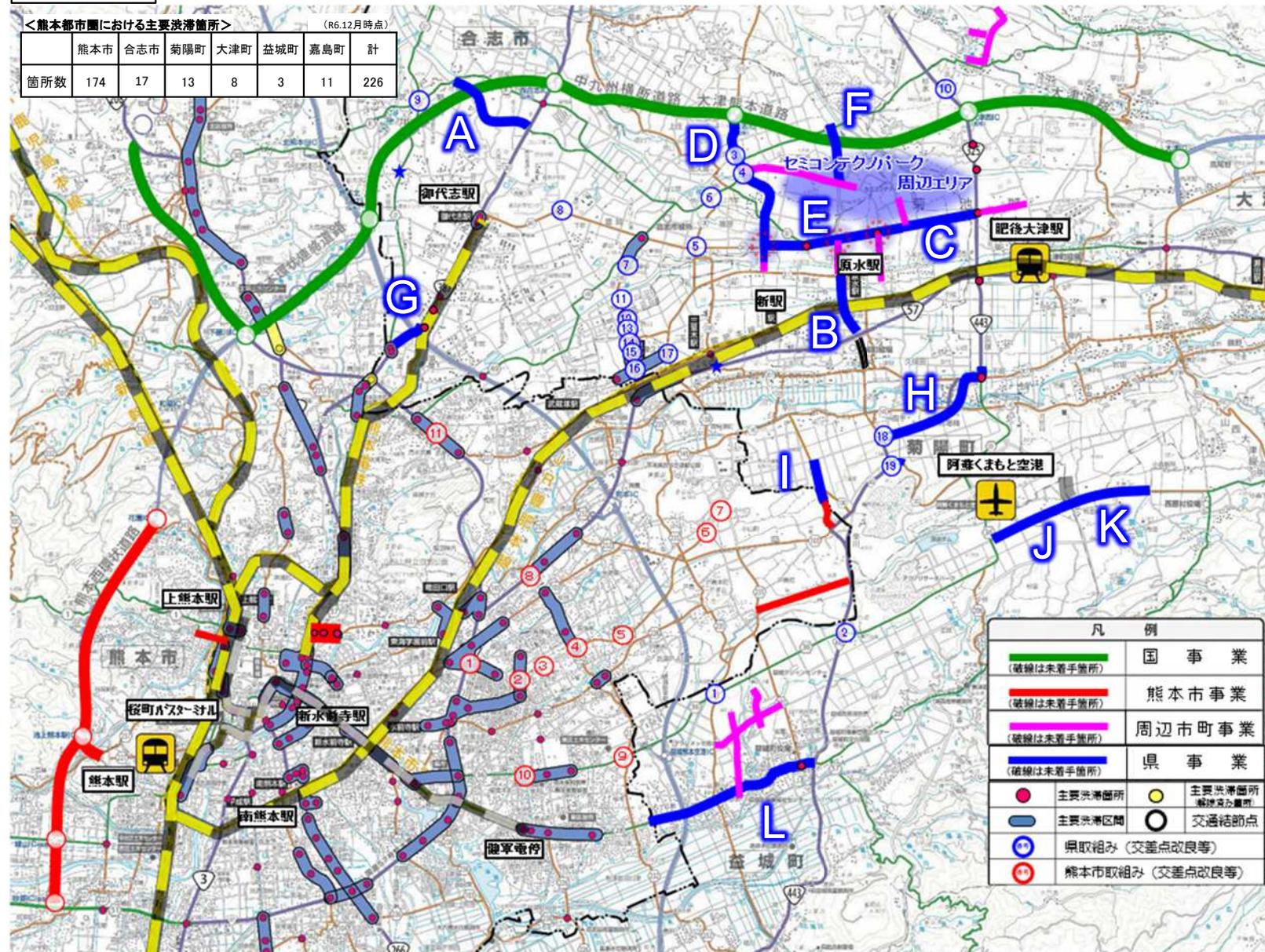
位置図

<熊本市圏における主要渋滞箇所> (R6.12月時点)

	熊本市	合志市	菊陽町	大津町	益城町	嘉島町	計
箇所数	174	17	13	8	3	11	226

【県事業一覧】

No	対策箇所	主要渋滞箇所の対策事業
A	大津植木線 (辻久保工区)	○
B	新山原水線 (原水2工区)	
C	大津植木線 (原水工区) 【多車線化】	○
D	大津植木線 (福原工区) 【合志ICアクセス道路】	
E	大津植木線 (原水2工区) 【立体交差化】	○
F	熊本大津線 (竹迫工区)	
G	国道387号 (須屋工区)	○
H	国道443号 (空港北拡幅)	○
I	辛川鹿本線 (辛川工区)	
J	堂園小森線 (小谷工区)	
K	堂園小森線 (布田拡幅)	
L	(都)益城中央線	○



8. 熊本県渋滞解消推進本部の取組み

(2) 加速化対策(短期) ソフト施策の取組み状況

- ピーク時の交通を「分散」する短期的な取組みとして、令和7年度は、時差出勤の県民運動化等を推進し、熊本都市圏を中心に官民含めて1万人規模で実施する予定。
- 更なる取組みの拡大を促すことを目的に、「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」を令和7年5月8日に創設。

●時差出勤の取組概要

〈時差出勤の推進〉

- ・熊本都市圏を中心に官民連携による時差出勤の取組みを進め、9月に**1万人規模で実施**。
- ・データを用いた効果測定を行い、**効果の見える化**を図り、時差出勤の定着を図る。

【オフピーク通勤】

7時30分～8時30分の朝ピーク時間帯を避けた通勤

- ・知事と大西熊本市長から経済界へ呼びかけを実施
(1月5日商工会議所・経済同友会 新年祝賀会)



1万人の

オフピーク通勤!!

みんなで取り組む“渋滞解消”

渋滞知らずで快適通勤!

柔軟な働き方で仕事も暮らしも充実!

●渋滞対策パートナー登録制度の概要

〈趣旨・目的〉

- ・官民が一体となった交通渋滞解消に向けた取組みの県民運動化に向け、「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」を5月8日に創設。
- ・通勤行動の変容や、公共交通機関の利用促進など、交通渋滞の解消を目的とした取組みを行う民間企業等に「渋滞対策パートナー」として登録いただくことで、取組みの拡大を図り、交通渋滞の解消を目指す。

〈制度概要〉

- ・交通渋滞の解消を目的とした主に次の取組みを実施する民間企業等を、県において「渋滞対策パートナー」として登録し、HP等において公表。

①交通量の分散に向けた取組み

- 時差出勤 等 ※交通量の分散は主に朝ピーク時間帯(7:30~8:30)を想定

②交通量の抑制に向けた取組み

- テレワークの推進、公共交通機関の利用促進、独自の通勤バス運行 等

③公共交通サービスの提供の取組み

- 鉄道、バス、シェアサイクルなどの公共交通サービス提供 等

〈募集期間〉(令和7年度)

- ・令和7年5月8日(木)～令和7年8月29日(金)

7月31日時点120事業者が申請(目標200社)

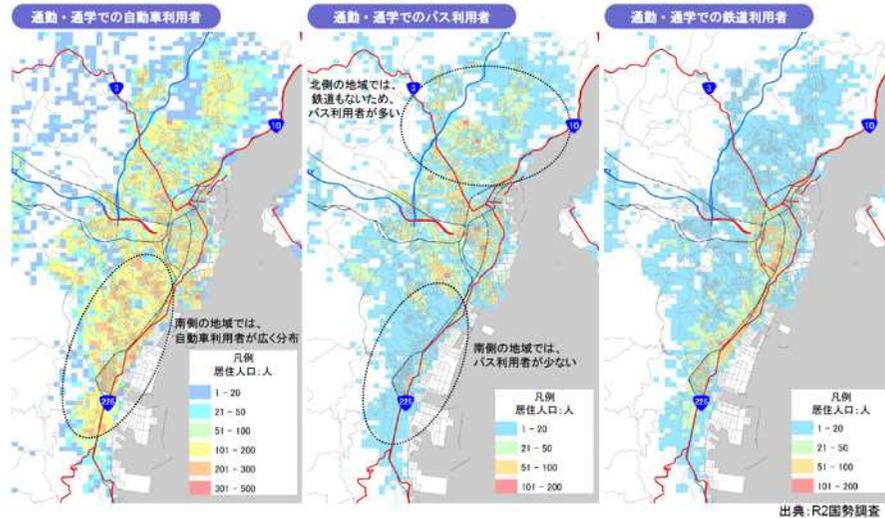


9. 1万人時差出勤に向けた交通状況の分析

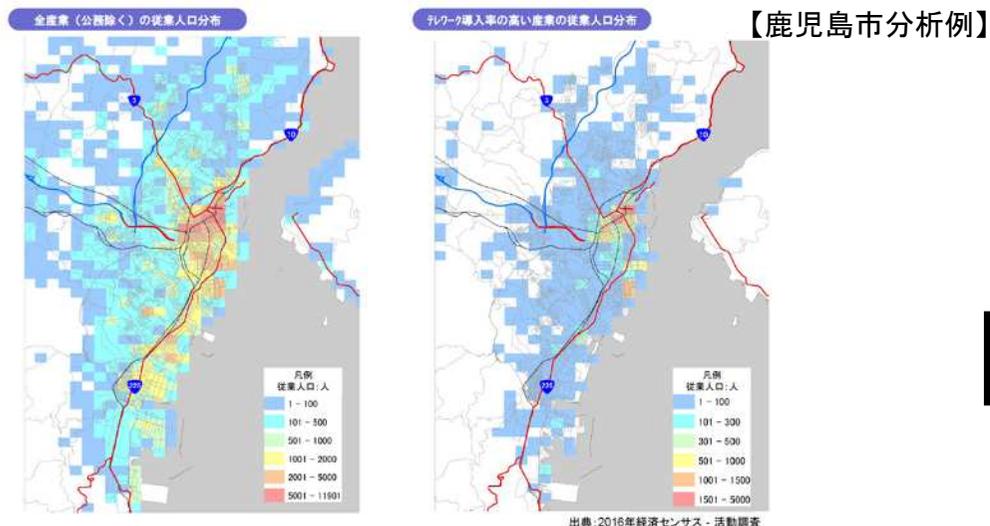
- 1万人時差出勤に向けた取り組みには、混雑箇所や混雑区間等の情報発信が欠かせないと考えられる。
- 現況の熊本都市圏の渋滞要因は何か分析を行い、時差出勤を推奨する時間帯の提示を行いたい。

- ① 自動車の発着が多い場所、ODの分析
- ② 渋滞している箇所(放射・環状道路)の把握・分析
- ③ 渋滞している時間帯(15分ピッチ)、方向を分析 ⇒ 時差出勤を推奨する時間帯を把握、提示

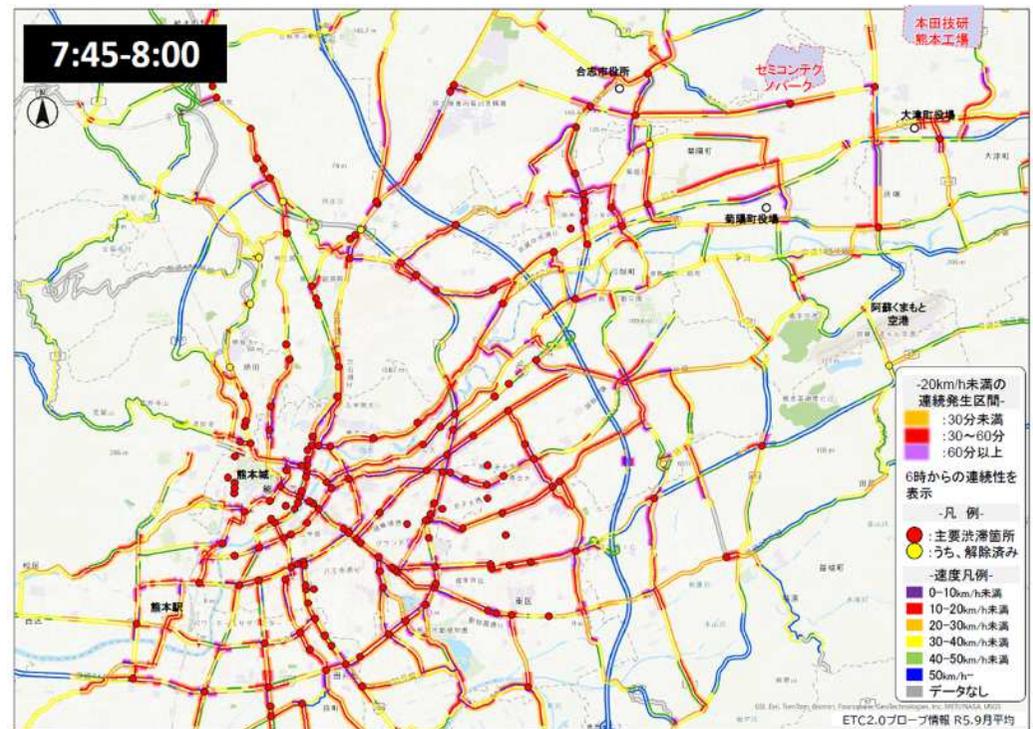
■ 自動車の発着が多い場所の分析イメージ【鹿児島市分析例】



■ 従業人口が多い(目的地となるエリア)の分析イメージ



■ 渋滞している箇所(放射・環状道路)や時間帯の分析例【熊本都市圏】

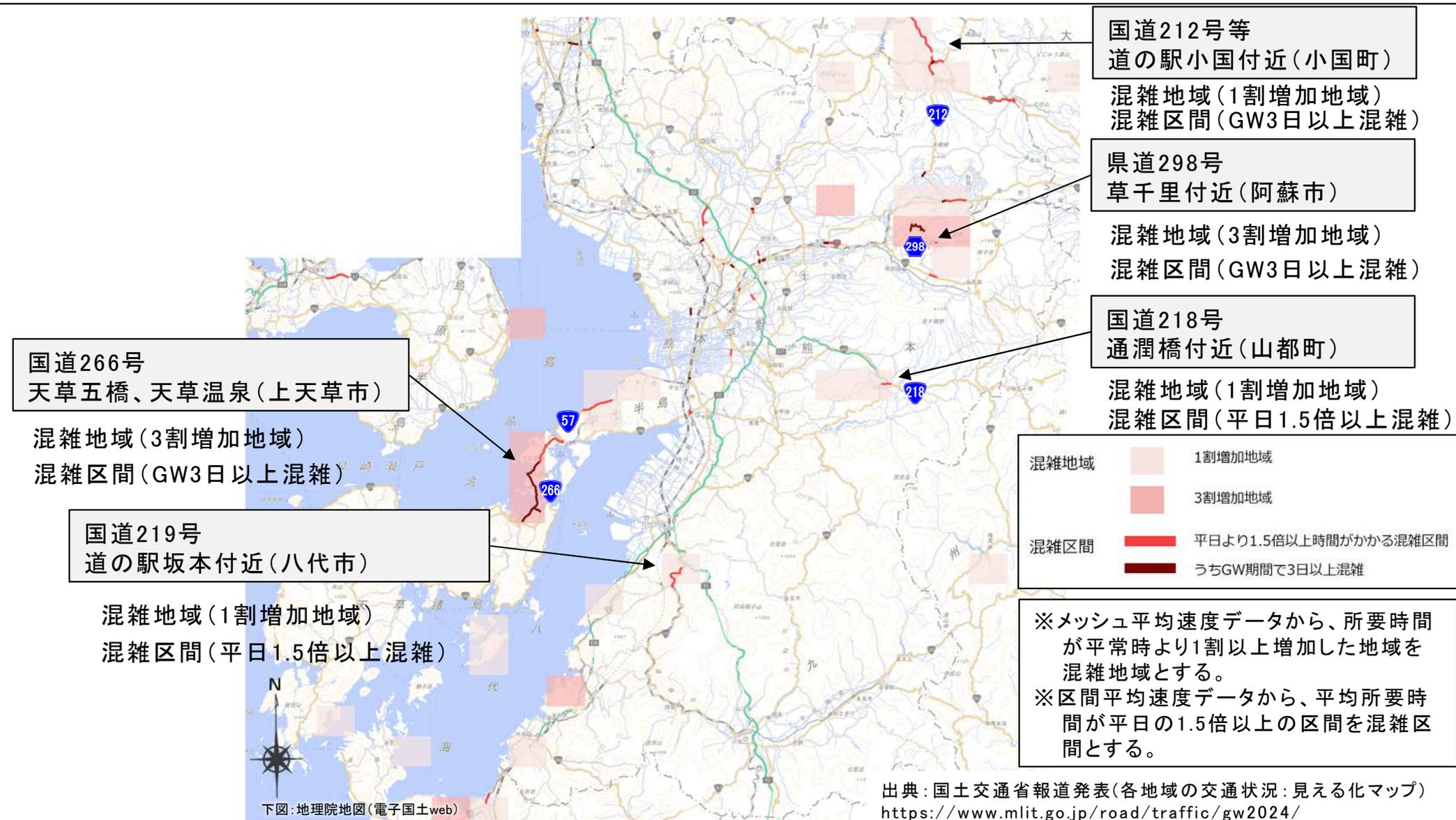


記載のような交通状況や流動の分析を行いながら、時差出勤推奨の時間帯等を把握、提示していく

10. 観光地における渋滞対策

(1) 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

- 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況について、ETC2.0プローブ情報を用いて分析した結果を本省にて公表した。(R6.7.10公表)
- 熊本県内における混雑状況は以下の通りであり、混雑地域と混雑区間が重複して特に混雑がみられるエリアを抜粋して掲載している。



10. 観光地における渋滞対策

(2) 国道266号 天草五橋、天草温泉(上天草市)

●対象エリア



●松島有料道路の交通量等

○松島有料道路の交通量(集計期間:R7.4.25~R7.5.6)

日平均利用台数(台/日)	令和7年度	令和6年度	R7/R6
天草方面車線	3,017	3,011	100%
熊本方面車線	3,339	3,319	101%
上下線計	6,356	6,330	100%

○松島有料道路のGWにおける交通集中発生状況

年度	回数	車線方向	最大渋滞長	発生日・時間
R7年度	3回	熊本	約3km	5/4(日)15:20~19:20,5/5(月)12:51~13:22,5/5(月)14:14~19:10
R6年度	3回	熊本	約3km	5/4(土)13:57~19:45,5/5(日)11:00~11:56,5/5(日)13:30~18:05
R5年度	1回	熊本	約3km	5/4(木)14:57~18:43
H30年度	4回	熊本	約4km	5/4(金)14:00~20:00,5/5(土)10:55~11:30,5/5(土)14:00~20:25,5/6(日)10:45~11:30

●迂回路マップ(県HP公表)



【渋滞要因の分析】

- ・天草地域は世界遺産の崎津集落等の観光施設が多くあり、観光目的の来訪者による渋滞が発生。大矢野～天草五橋付近の主要渋滞箇所では渋滞が発生していると考えられる。

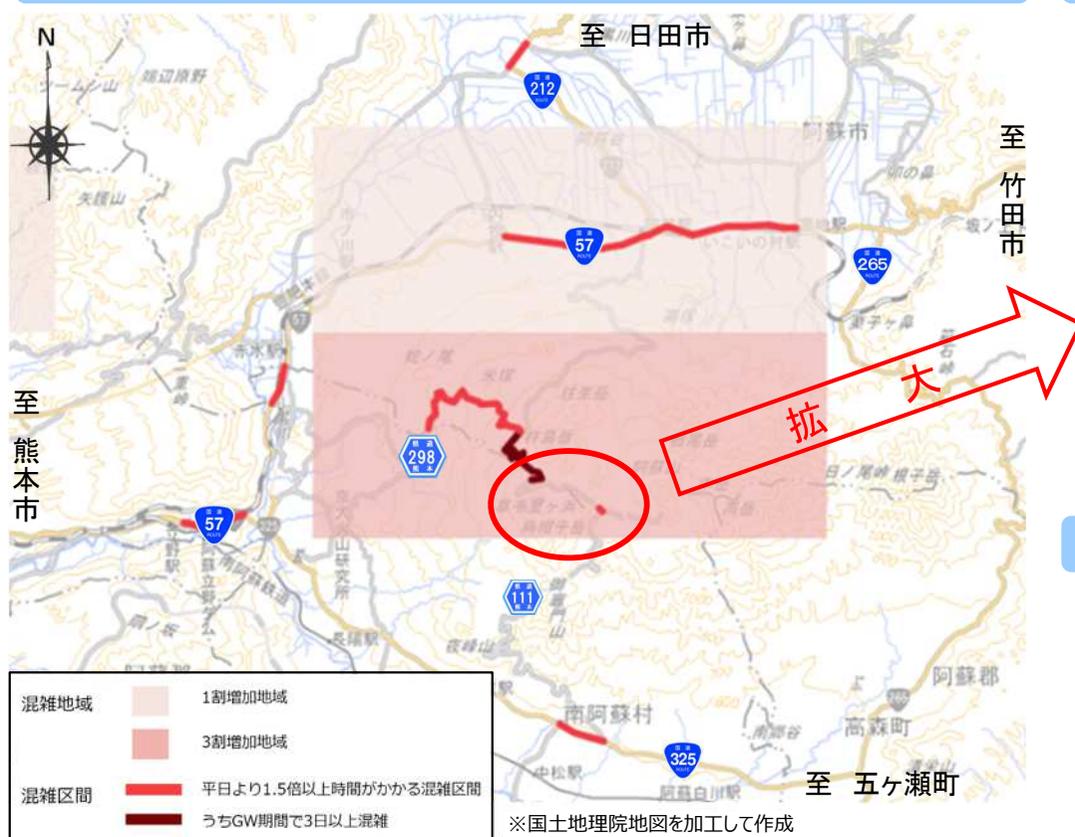
【対策の方向性】

- ・熊本天草幹線道路「大矢野道路」の事業を推進し、ダブルネットワーク構築を図る。
- ・引き続き、迂回路マップ等の経路変換の周知をし、交通分散を図る。

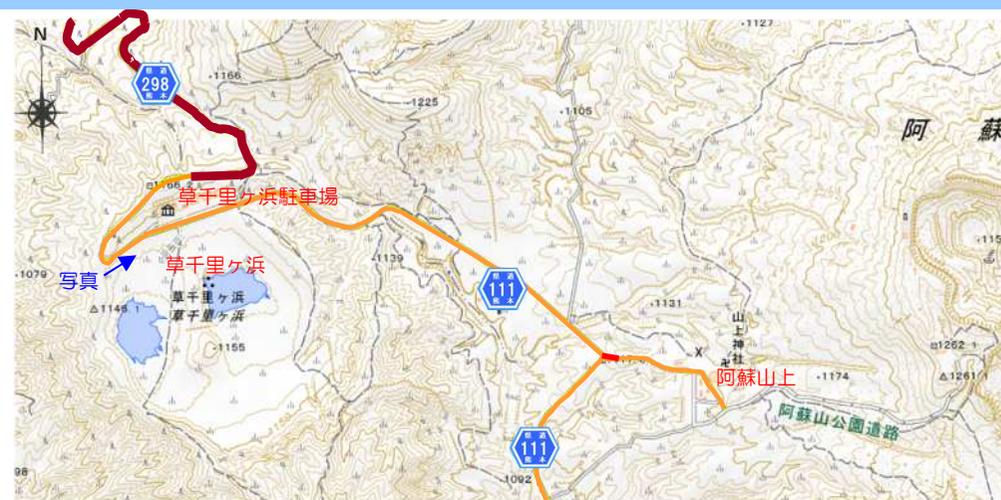
10. 観光地における渋滞対策

(3) 県道298号 草千里付近(阿蘇市)

●対象エリア



●草千里周辺状況



●対策内容



【渋滞要因の分析】

- ・県道298号(阿蘇公園下野線)は、草千里などの阿蘇噴火口周辺観光地へアクセス可能な県道である。要因としては、①インバウンド海外観光客の増加、②草千里ヶ浜と山上に向かう車両の混在、③草千里駐車場不足が考えられる。

【対策の方向性】

- ・山上に向かいたい車両が誤って草千里ヶ浜駐車場に紛れ込んでいる現状があるため、「路面標示」による誘導対策を実施済みである。今後、効果の検証を行っていく。
- ・その他、阿蘇市と連携して渋滞解消に向けた調整を行い、対策を検討していく。

10. 観光地における渋滞対策

(4) 国道218号 通潤橋付近(山都町)

●対象エリア



混雑地域	1割増加地域
	3割増加地域
混雑区間	平日より1.5倍以上時間がかかる混雑区間
	うちGW期間で3日以上混雑

●周辺状況



写真1 山都通潤橋IC



写真3 清和文楽館



写真2 通潤橋

通潤橋史料館入場者数の変化



出典：国土交通省HP 記者発表資料

【渋滞要因の分析】

- 周辺には、通潤橋や道の駅「通潤橋」などの観光施設が立地しており、アクセス道路である国道218号に観光交通が集中して渋滞が発生。
- また、令和6年2月に九州中央自動車道(山都中島西IC～山都通潤橋IC)が開通し、交通の集中が発生している。

【対策の方向性(案)】

- 宮崎方面に向かう車両分散のために、九州中央自動車道(矢部清和道路)の整備推進を図る。
- 大型連休等で観光渋滞の発生が予測される場合は、情報版表示等で周知を行う。

10. 観光地における渋滞対策

(5) 国道212号等 道の駅小国付近(小国町)

●対象エリア



混雑地域	1割増加地域
	3割増加地域
混雑区間	平日より1.5倍以上時間がかかる混雑区間
	うちGW期間で3日以上混雑

●小国町周辺観光地



写真1 鍋ヶ滝公園

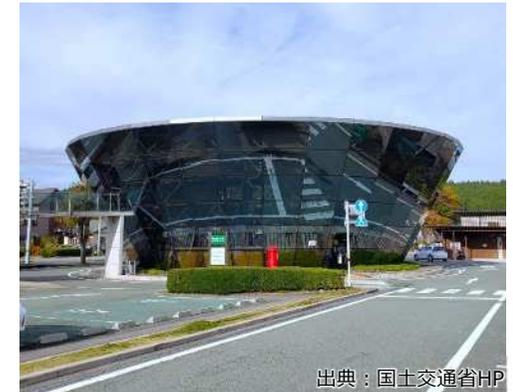


写真2 道の駅「小国」



←交通渋滞対策等が評価され、2022年「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選出。

【渋滞要因の分析】

- ・ 周辺には鍋ヶ滝、温泉、道の駅などの観光施設が立地しており、国道212号や国道387号に観光交通が集中して渋滞が発生

【対策の方向性(案)】

- ・ 鍋ヶ滝へのアクセス道路の整備として、国道387号から鍋ヶ滝までを結ぶ鍋ヶ滝線(仮)のバイパス工事を推進
- ・ ※鍋ヶ滝では、大型連休などの混雑が予想される日は、周辺道路の渋滞緩和のため、令和3年11月から「事前予約制入園」を導入

10. 観光地における渋滞対策

(6) 国道219号 道の駅坂本付近(八代市)

●対象エリア



混雑地域	1割増加地域
	3割増加地域
混雑区間	平日より1.5倍以上時間がかかる混雑区間
	うちGW期間で3日以上混雑

●周辺状況等

令和2年7月豪雨で被災した道の駅坂本の再建のため、令和9年7月の供用開始に向け、再整備に取り組んでいる。



資料1 道の駅坂本 完成予想図



←道の駅坂本周辺で開催された地域イベントの様子

【渋滞要因の分析】

- 道の駅「坂本」に隣接して、令和3年7月に「さかもと復興商店街」や「広域交流センター さかもと館」が整備され、被災事業者等の事業継続支援や住民の日常生活に必要なサービスを提供
- ゴールデンウィークには道の駅でイベントが開催され、観光客の立ち寄りによる渋滞が発生

【対策の方向性(案)】

- イベントによる突発的な渋滞のため経過観察

- 最新の交通データを収集・整理し、主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングを実施していく。
- 構築した検討体制により、モニタリング結果等を有効に活用し、地域毎の渋滞対策の検討を推進していく。

“交通渋滞対策協議会”による議論

- 最新の交通データによる渋滞状況の検証
- 地域の交通状況の変化等に対する専門的見地からの検証 等

“エリアワーキング”による議論

- 交通状況のモニタリング（主要渋滞箇所のフォローアップ）
- 地域の交通課題の共有
- ソフト・ハードを含めた具体的な対策の検討・調整 等

